

2015年愛知県最低生計費試算調査結果報告書

愛知県最低生計費試算調査プロジェクトチーム

事務局 愛労連（愛知県労働組合総連合）

〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町9-7 労働会館東館3階

電話 052-871-5433 FAX052-871-5618

発行：2017年3月31日

2015年愛知県最低生計費試算調査結果

— 目次 —

「最低生計費」試算調査の結果を受けて	4
はじめに	5
1. 調査の概要	5
2. 算定の対象となる世帯モデルと居住地域	6
(1) 対象となる世帯モデル	6
(2) 居住地域	7
3. 算定の方法	8
(1) 食料費	8
(2) 住居費	11
(3) 光熱・水道費	12
(4) 家具・家事用品費、被服及び履物費など	12
(5) 保健医療費	13
(6) 交通・通信費	13
(7) 教育費	15
(8) 教養娯楽費	16
(9) その他の消費支出	16
(10) 非消費支出	18
(11) 予備費	22
4. 最低生計費の試算	22
4-1. 若年単身世帯モデル	22
(1) 食料費の算定	22
(2) 住居費の算定	23
(3) 光熱・水道費の算定	23
(4) 家具・家事用品費の算定	23
(5) 被服及び履物費の算定	26
(6) 保健医療費の算定	28
(7) 交通・通信費の算定	28
(8) 教育費の算定	28
(9) 教養娯楽費の算定	28
(10) その他の消費支出の算定	29
(11) 非消費支出	31
(12) 予備費	32
総括表	33
4-2. 30代夫婦と未婚子2人世帯モデル	34
(1) 食料費の算定	34
(2) 住居費の算定	35
(3) 光熱・水道費の算定	35
(4) 家具・家事用品費の算定	35
(5) 被服及び履物費の算定	38
(6) 保健医療費の算定	41

(7) 交通・通信費の算定	41
(8) 教育費の算定	43
(9) 教養娯楽費の算定	44
(10) その他の消費支出の算定	45
(11) 非消費支出	46
(12) 予備費	47
総括表	47
4-3. 40代夫婦と未婚子2人世帯モデル	48
(1) 食料費の算定	48
(2) 住居費の算定	49
(3) 光熱・水道費の算定	49
(4) 家具・家事用品費の算定	49
(5) 被服及び履物費の算定	52
(6) 保健医療費の算定	55
(7) 交通・通信費の算定	55
(8) 教育費の算定	57
(9) 教養娯楽費の算定	57
(10) その他の消費支出の算定	58
(11) 非消費支出	60
(12) 予備費	60
総括表	61
4-4. 50代夫婦と未婚子2人世帯モデル	62
(1) 食料費の算定	62
(2) 住居費の算定	63
(3) 光熱・水道費の算定	63
(4) 家具・家事用品費の算定	63
(5) 被服及び履物費の算定	67
(6) 保健医療費の算定	68
(7) 交通・通信費の算定	69
(8) 教育費の算定	70
(9) 教養娯楽費の算定	71
(10) その他の消費支出の算定	72
(11) 非消費支出	74
(12) 予備費	74
総括表	75
おわりに—今回の試算結果をどうみるか	76
(1) 前回調査や他の調査との比較	76
(2) 生計費未満の層	78
(3) 生活保護費や標準生計費との比較	80
(4) 民事再生法最低生計費との比較	82
愛知県最低生計費試算結果 (20代・30代・40代・50代の各世帯モデル)	84
付属資料1 生活実態調査結果の概要	87
1. 若年単身世帯	87
2. あなた (30代) 夫婦と未婚子からなる世帯	90

3. あなた（40代）夫婦と未婚子からなる世帯.....	92
4. あなた（50代）夫婦と未婚子からなる世帯.....	95
付属資料2 価格調査結果について（参考として核家族世帯のみ掲載）	98
付属資料3 調査票	103
付属資料4 実施要綱	118

「最低生計費」試算調査の結果を受けて

若者が独り立ちするには年収 270 万円、月額 22 万 7 千円必要

愛労連は、5 年前（2010 年）に実施した「最低生計費試算調査」に改めてとりくみました。目的は、この間に变化した消費税増税、円高の進行などによる物価上昇が個々の生活にどのように影響しているかを明らかにして、春闘の賃金要求の根拠とするためです。2015 年 9 月におこなった「生活実態調査」及び「手持ち財調査」結果から、名古屋で若者が自立して生活するためには少なくとも年収で 270 万円、月額 22 万 7 千円以上（時間額 1,300 円）が必要と示されました（2016 年 1 月 27 日公表）。この生活は、45,000 円の家賃で食事は最低限の栄養を確保するため、1 日 3 食を 1200 円程度で過ごす質素なものです。増税と物価上昇を解消するために買い控えや節約を強いられ、さらに非消費支出にあたる税金や社会保険料の負担が生活を圧迫しています。若者が親から自立できない、結婚なんて考えられないという状況が結果からもみえてきました。

子育て世代は教育費が重くのしかかる

秋には新たに、子育て世代の 3 つの世帯（いずれも 4 人家族）について試算しました。その結果、30 代（夫婦と小学生・幼稚園児）で年収約 570 万円（税込み）、40 代（夫婦と小学生・中学生）で 660 万円（税込み）、50 代（夫婦と高校生・大学生）で 860 万円（税込み）必要なことが明らかになりました（2016 年 12 月 1 日公表）。子育て世代の特徴点として、教育費にかかる費用が子どもの成長とともに高額になっています。親の貧困が子どもに連鎖すると言われていた中で、教育費等の費用は賃金の引き上げでまかなうことが第一義的に必要ですが、義務教育の完全無償化や給付制奨学金などの公的支援も重要です。

労働者世帯の半数が何かを犠牲にして暮らしている ～生活レベル、奨学金、貯金、年金等～

しかし、正規労働者でも半数近くの世帯が私たちの試算した金額に達していません。また、4 割を超えたと言われる非正規労働者では全く手が届きません。足りない部分は、①生活のレベルを下げる。②奨学金を返せない、親が奨学金を借りる（3 ヶ月以上未納者 17 万人「2014 年度日本学生支援機構」）。③貯金できない（2 人以上世帯の 30.9%が貯蓄ゼロ。「金融広報委員会 2015 年 11 月」）。④年金が払えない（国民年金 29.9%が未納者「厚労省統計」）⑤2 人以上で支える（共働きや子どものアルバイト代も生活費に）を選択するなど、何かを犠牲にしなければ暮らしていけません。

賃金の底上げと社会保障をセットに改善が必要

愛労連は、誰でもどこでも普通に暮らすには「時給 1,300 円、月額 22 万 7 千円以上」必要と打ち出し、すべての賃金要求の根拠として、組織内外に広く宣伝し、関係機関に賃金引き上げと最低賃金の改善を要求します。賃金の底上げと同時に教育費の無償化や医療・介護、保育、住宅問題など社会保障をセットで充実させることも必要です。安倍政権が最賃 1,000 円を掲げ、同一労働同一賃金を検討している状況を活用して、「今すぐ最賃 1,000 円」の決断を強く迫り、全国一律最低賃金制度実現へのステップとすることを重視します。さらに、労働者だけでなく、中小企業の経営者などにも共同を広げ、中小企業支援の拡充も国に求めています。賃金の大幅引き上げ・下請け単価切り下げ反対、仕事おこしなど、地域経済のあり方を問うとりくみを組織の総力をあげて奮闘する決意です。

2016 年 12 月 2 日
愛知県労働組合総連合
事務局長 知崎 広二

はじめに

アベノミクス「三本の矢」が効果を上げたのか否かの検証もなされぬまま、2016年6月2日の閣議で、「新・三本の矢」を含む「経済財政運営と改革の基本方針2016～600兆円経済への道筋～」が決定された。そこでは、個人消費を喚起するために取り組む課題の一つとして、「賃金・可処分所得の引上げ等」があげられ、「最低賃金については、年率3%程度を目途として、名目GDPの成長率にも配慮しつつ引き上げていく。これにより、全国加重平均が1000円となることを目指す」（23頁）とされている。しかし、最低賃金引き上げ額の根拠はまったく示されておらず、「3%程度を上回る」（3頁）名目GDPの成長率に「配慮」しているだけである。事実、2016年度の地域別最低賃金は、政府の意向に沿うよう、中央最低賃金審議会が出した目安額（全国平均で3%相当の24円引き上げ）に貼り付く形で改定結果がまとまった。全国平均で時給823円（25円増）となったが、目指す1,000円には遠く及ばず、600兆円経済への道筋が見えたとは到底言えない。

最低賃金は、生活保護基準や公的年金・医療保険などとともに、憲法25条で保障された労働者・国民の「健康で文化的な最低限度の生活」を支える重要な社会制度の一つである。この最低賃金を決定する際に最も重視されなければならないのは、労働者の最低生計費である。さらに、生活保護基準、最低保障年金、課税限度額、保険料の減免や就学援助制度などの目安となるのが、国民の最低生計費である。この最低生計費は、労働者・国民の生活実態をふまえて算定されねばならず、そのためには綿密な調査が欠かせない。愛労連は、2010年に初めて愛知県の最低生計費試算調査に取り組み、その結果を、金澤誠一（佛敎大学教授監修・愛知県最低生計費試算運動推進委員会『愛知県最低生計費試算調査結果報告書』（2011年））として刊行した。

その後、5年が経過し、状況が変化する中で、2015年に再度、愛知県で健康で文化的な暮らしを送るには、どれだけ費用がかかるのかを明らかにするために、プロジェクトチームを組織して最低生計費試算調査を実施した。試算とその結果のとりまとめに際しては、中澤秀一（静岡県立大学短期大学部准教授）と愛知労働問題研究所の協力を得た。今回の調査では、とくに前回の集計数518を大きく上回ることを目標として取り組み、調査票999部を回収することができた。調査に協力していただいた組合員・回答者のみなさんに、紙面を借りて心より御礼を申し上げたい。

愛知県を初め全国各地で実施された今回の最低生計費試算調査結果を、①最低賃金額引き上げの強い根拠とするだけでなく、②春闘の賃金討議の素材として（特に各年代で具体的にどのくらい生活費が必要なかを明らかにできる）、③自治体における公契約運動推進の際の賃金設定の基礎となる考え方を示すものなどとして、有効に活用していただくことを強く望むものである。

1. 調査の概要

最低生計費試算調査の目的は、生活実態調査や手持ち財調査等を実施し、それらの調査結果と他の統計資料を組み合わせ、若年単身世帯をはじめとした世帯モデルごとに、生活に必要な費目を積み上げた、「健康で文化的な最低限度の生活」を送るための最低生計費を算出することである。

今回実施された調査は、以下の3つの調査である（各調査結果の概要は、付属資料を参照）。

- ①生活実態調査：調査対象者とその世帯の大まかな生活実態を把握し、最低生計費を試算する基礎資料とした。調査項目数48。調査時期は2015年9月～2016年1月。
- ②手持ち財調査：生活実態調査の際に、調査対象世帯が持っている物とその数量をすべて記入してもらい、最低限度の生活を営むための必需品を決める際の基礎資料とした。調査項目数は19分類計330品目。
- ③価格（市場）調査：最低生計費の試算対象となる世帯モデルの居住地（名古屋市）において、家賃や手持ち財調査で設定した必需品などの価格調査を実施した。主な調査時期は

2015年12月と2016年6月。

これらの3調査に統計資料を利用した食料費、光熱・水道費、通信費、教育費などの試算結果を組み合わせ、最低生計費の試算を行った。試算にあたっては、後述のように対象となる世帯モデル（若年単身世帯モデルおよび夫婦と未婚子2人からなる世帯モデル）を設定した。

2015年9月から生活実態調査と手持ち財調査票（アンケート票）の配布開始。2016年1月末日で999部を回収（配布数4,000部：回収率24.9%）。このうち、試算対象となる若年単身者（20歳未満+20歳代+30歳代）の回答数は221部（うち実際の分析対象としたのは、男性121と女性96の計217部）、あなた（30代）夫婦と未婚子からなる世帯（以下、30代世帯と略）の回答数は101部、あなた（40代）夫婦と未婚子からなる世帯（以下、40代世帯と略）の回答数は80部、あなた（50代）夫婦と未婚子からなる世帯（以下、50代世帯と略）の回答数は69部であった。なお、夫婦の世代は、回答者（夫または妻）の年齢で区別している。

2. 算定の対象となる世帯モデルと居住地域

最低生計費の試算対象となる世帯モデルと居住地域を設定する際には、①生活実態調査結果をできるだけ反映すること、②世帯モデルごとの条件をできるだけそろえること、③過去や他地域の調査で設定された世帯モデルを参考にすること、④地域（愛知県や名古屋市など）における家族の就労生活状況をできるだけ反映すること、⑤試算が複雑になりすぎないようにすること、以上の諸点を考慮した。

（1）対象となる世帯モデル

1）若年単身世帯モデル（25歳男性および25歳女性の単身者）

最低賃金額引き上げの強い根拠として最低生計費を試算するという観点からは、若年単身世帯のモデル設定が重要である。生活実態調査の回答者（独居、男性121人と女性96人の計217人）の年代をみると、最も多いのが20歳代（164人、75.6%）で、ついで30歳代（51人、23.5%）であった。また、2010年に実施した愛知県最低生計費試算調査（以下、2010年調査と略）では、若年単身世帯モデルとして25歳男性が設定されていた。これらのことをふまえ、今回の算定対象となる若年単身世帯モデルを、大学を卒業後就職して勤続年数3年の「25歳男性」および「25歳女性」とした。

2）夫婦と未婚子2人からなる世帯モデル

生活実態調査結果の世帯構成を回答者（30代以上）の年代別にみると、最も多い世帯構成は、30代の「あなた夫婦と未婚子」（30代世帯、101世帯）、次いで40代の「あなた夫婦と未婚子」（40代世帯、80世帯）、50代の「あなた夫婦と未婚子」（50代世帯、69世帯）となっている。さらに、2010年調査の世帯モデル（30代夫婦のみ世帯、30代夫婦と未婚子1人世帯、40代夫婦と未婚子2人世帯）も考慮して、夫婦（30代夫婦・40代夫婦・50代夫婦）と未婚子2人からなる3つの世帯モデルを設定した。

夫婦の就労状況についていえば、分析対象である回答者（30代世帯～50代世帯の夫または妻）のほとんどは「正規職員・従業員」であるが、配偶者（夫または妻）の就労状況がわからない。そこで、2012年の総務省「就業構造基本調査」（5年に1回の調査、愛知県分）より、性別・年齢別（25～34歳、35～44歳、45～54歳）の雇用形態をみると、男性では「正規の職員・従業員」が72～77%、女性では「非正規の職員・従業員」と「無業者」の計が60～71%であることから、夫は正規従業員、妻は無職ないしパートタイマー（非正規従業員）で夫の扶養家族になっているものとした。以下、夫婦と未婚子2人からなる3つの世帯モデルの家族構成である。

①30代夫婦と未婚子2人世帯モデル（30代夫婦、小学生と幼稚園児の4人家族）

夫は30代で正規従業員として勤務、妻は30代で無職ないしパートタイマーとして勤務（夫の扶養家族）、子どもは小学生（名古屋市立小学校）と幼稚園児（名古屋市内の私立幼稚園）と想定する。子どもについては、30代世帯の生活実態調査結果によれば、平均世帯人員は3.9人、未婚の子が2名いる世帯（60）が最も多いこと、さらに、未就学児のいる世帯（77）が最多、次いで小学生のいる世帯（48）となっていることを考慮した。なお、食料費などを試算する際の子どもの年齢と性は、2010年調査の世帯モデルと推定エネルギー必要量の年齢区分（後掲表2）を考慮して、小学3・4年生女性（8～9歳）、幼稚園児男性（3～5歳）とした。

未就学児を私立幼稚園児としたのは、名古屋市で3歳以上の教育・保育事業利用状況をみると、私立幼稚園が50%、公立幼稚園が6.3%、民間保育所が23.7%、公立保育所が16.2%となっていること（ただし、保育所利用が増加し、私立幼稚園利用は減少傾向。名古屋市『平成25(2013)年度名古屋市子ども・子育て家庭意識・生活実態調査報告書（保護者調査）』2015年3月より）、また、保育園児の場合には保育料等の試算が複雑となるからである。

②40代夫婦と未婚子2人世帯モデル（40代夫婦、中学生と小学生の4人家族）

夫は40代で正規従業員として勤務、妻は40代で無職ないしパートタイマーとして勤務（夫の扶養家族）、子どもは中学生（名古屋市立中学校）と小学生（名古屋市立小学校）と想定する。子どもについては、40代世帯の生活実態調査結果によれば、平均世帯人員は4.1人、未婚の子が2名いる世帯（43）が最も多いこと、さらに、小学生のいる世帯（42）が最多、次いで中学生のいる世帯（29）となっていることを考慮した。なお、食料費などを試算する際の子どもの年齢と性は、2010年調査の世帯モデルと推定エネルギー必要量の年齢区分（後掲表2）を考慮して、中学1～3年生男性（12～14歳）、小学3・4年生女性（8～9歳）とした。

③50代夫婦と未婚子2人世帯モデル（50代夫婦、大学生と高校生の4人家族）

夫は50代で正規従業員として勤務、妻は50代で無職ないしパートタイマーとして勤務（夫の扶養家族）、子どもは大学生（名古屋市内の私立大学昼間部、家族と同居）と高校生（名古屋市内の公立全日制高等学校）と想定する。子どもについては、50代世帯の生活実態調査結果によれば、平均世帯人員は3.7人、未婚の子が1名いる世帯（34）が最も多く、次いで2名の世帯（24）となっていること、また、未婚子の状況については、その他（内容不明）が34世帯で最多、次いで大学生のいる世帯（22）、高校生のいる世帯（12）となっていることを考慮した。なお、食料費などを試算する際の子どもの年齢と性は、首都圏調査（2008年）の世帯モデルと推定エネルギー必要量の年齢区分（後掲表2）を考慮して、大学生男性（18～21歳）、高校1～3年生女性（15～17歳）とした。

高校を名古屋市内の公立としたのは、愛知県内高校生の公私比率をみると、公立（国立・県立・市立）の学校に通う高校生が69.7%で、私立のそれは30.3%であること（愛知県教育委員会『平成27(2015)年度 あいちの教育統計』2016年より）を考慮したからである。大学生（名古屋市内の私立大学に自宅から通う）の場合では、生活実態調査結果から「地元の私立大学・専門学校」に通う者が比較的多いこと、出身高校が愛知県の大学入学者数の中で、私立大学の入学者比率は76.9%、そのうち愛知県にある大学（学部）の入学者比率が62.1%と多数を占めていること（文部科学省「平成27(2015)年度 学校基本調査」）から、名古屋市内の私立大学に通うもの（したがって自宅通学）とした。

（2）居住地域

上記4つの世帯モデルの居住地域として、名古屋市中川区（最寄り駅は地下鉄高畑駅または八田駅）を想定した。名古屋市とした理由は、生活実態調査結果で市町村別に回答者の居住地域をみると、若年単身者（20代と30代）の6割以上が名古屋市であったこと、30代～50代世帯でも名古屋市が比較的多かった（21～22%）ことによる。また、中川区に設定したのは、公共交通機関が使いやすい地区である

こと（後述するように、単身者と夫は、地下鉄を利用して名古屋駅周辺にある勤務先に通勤しているものと想定）、家賃が比較的低廉な地区であることが、主な理由である。

3. 算定の方法

今回の最低生計費試算調査は、^{かねざわ}金澤誠一氏（佛教大学）の監修のもとで行われた「首都圏最低生計費試算調査」（2008年4月～6月実施、2039ケース集約）・「東北地方最低生計費試算調査」（2009年5月～6月実施、1,615ケース集約）・「愛知県最低生計費試算調査」（2010年5月～6月実施、518ケース集約）などの調査方法を、若干の修正を加えながらも基本的には踏襲して実施されたものである。調査方法を大幅に変えてしまうと、従前の調査との比較が困難となり、労働運動がかねてより求めている全国一律最低賃金の実現に結びつかなくなるからである。従前の調査同様に、以下の点に留意して算定を行った。なお、対象となる世帯モデルの生計費を試算する場合、各モデルの条件（たとえば、構成員の性や年齢）が類似しているならば試算結果もほぼ同じになる。したがって、「4. 最低生計費の試算」における叙述の重複をできるだけ避けるため、算定の方法だけでなく、類似の項目に関する具体的な試算結果もここで説明した。

（1）食料費

食料費については、総務省「家計調査 2015 年」（品目分類、全国、二人以上世帯の年間収入が最も低い第 I 五分位階層）の各費目の購入数量及び 100g 当たりの平均価格から、4 つの食品群の食品ごとに各構成品目の加重平均によって消費単価を計算した（表 1、ただし、嗜好品については、100kcal 当たりの価格で算出）¹。

表 1 4 つの食品群別食品と嗜好品の消費単価

食品群	第 1 群	乳・乳製品	25.03 円
		卵	29.32 円
	第 2 群	魚介・肉	161.46 円
		豆・豆製品	23.63 円
	第 3 群	野菜・海藻	42.05 円
		いも類	32.07 円
		果物	44.19 円
	第 4 群	穀類	46.43 円
		砂糖	20.54 円
		油脂	47.96 円
嗜好品（飲料・酒類）		74.16 円	

注) 4 つの食品群は 100 g 当たり、嗜好品は 100kcal 当たりの消費単価である。

次に、香川芳子監修『食品成分表 2015 資料編』（女子栄養大学出版部、2015 年）にもとづき、試算対象世帯モデルに対応する年齢層と性別に 1 日当たりと 1 カ月（30 日）当たりの推定エネルギー必要量（カロリー）を求め（表 2）、「4 つの食品群の年齢別・性別・身体活動レベル別食品構成（1 人 1 日当たりの重量＝g）」（香川芳子・女子栄養大学教授案）にもとづいて必要な栄養を満たすように、食料費を

¹ 年間収入階層が高くなるほど、より高級な食材を使ったり贅沢品を食べたりするために、消費単価が高くなると思われる。食料費の最低限を、最も安価に必要な栄養を摂取できるところで決めるべきとするならば、年間収入の最も低い第 I 五分位階層により消費単価を算出することが妥当であろう。

試算した。すなわち、年齢別・性別・食品群別の食品構成量（身体活動レベルⅡの重量）に表1の消費単価を掛けて、1日当たりの推定エネルギー必要量の95%を摂取するためにかかる金額を計算した（表3）。

表2 年齢別・性別の推定エネルギー必要量

	1日当たり必要量	30日当たり必要量
3～5歳男性	1,300 kcal	39,000 kcal
8～9歳女性	1,700 kcal	51,000 kcal
12～14歳男性	2,600 kcal	78,000 kcal
15～17歳女性	2,300 kcal	69,000 kcal
18～29歳男性	2,650 kcal	79,500 kcal
18～29歳女性	1,950 kcal	58,500 kcal
30～49歳男性	2,650 kcal	79,500 kcal
30～49歳女性	2,000 kcal	60,000 kcal
50～69歳男性	2,450 kcal	73,500 kcal
50～69歳女性	1,900 kcal	57,000 kcal

注) エネルギー必要量は、身体活動レベルⅡ（ふつう）の数値である。

表3 1日当たりのエネルギー必要量を摂取するのにかかる金額（年齢・性・食品構成別）

		年齢	3～5	8～9	12～14	15～17	18～29		30～49		50～69	
		性	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
第一群	乳・乳製品	重量 (g)	250	330	400	330	300	250	250	250	250	250
		金額 (円)	62.59	82.61	100.14	82.61	75.10	62.59	62.59	62.59	62.59	62.59
	卵	重量 (g)	30	50	50	50	50	50	50	50	50	50
		金額 (円)	8.80	14.66	14.66	14.66	14.66	14.66	14.66	14.66	14.66	14.66
第二群	魚介・肉	重量 (g)	60	80	160	120	140	100	140	100	140	100
		金額 (円)	96.87	129.17	258.33	193.75	226.04	161.46	226.04	161.46	226.04	161.46
	豆・豆製品	重量 (g)	60	80	100	80	80	80	80	80	80	80
		金額 (円)	14.18	18.90	23.63	18.90	18.90	18.90	18.90	18.90	18.90	18.90
第三群	野菜・海藻	重量 (g)	240	300	350	350	350	350	350	350	350	350
		金額 (円)	100.93	126.16	147.18	147.18	147.18	147.18	147.18	147.18	147.18	147.18
	いも類	重量 (g)	30	60	100	100	100	100	100	100	100	100
		金額 (円)	9.62	19.24	32.07	32.07	32.07	32.07	32.07	32.07	32.07	32.07
	果物	重量 (g)	150	200	200	200	200	200	200	200	200	200
		金額 (円)	66.29	88.38	88.38	88.38	88.38	88.38	88.38	88.38	88.38	88.38
第四群	穀類	重量 (g)	170	220	330	320	400	260	400	270	370	260
		金額 (円)	78.93	102.14	153.21	148.57	185.71	120.71	185.71	125.35	171.78	120.71
	砂糖	重量 (g)	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10
		金額 (円)	1.03	2.05	2.05	2.05	2.05	2.05	2.05	2.05	2.05	2.05
	油脂	重量 (g)	10	15	25	25	30	20	30	20	25	15
		金額 (円)	4.80	7.19	11.99	11.99	14.39	9.59	14.39	9.59	11.99	7.19
合計金額(円)			444.02	590.51	831.65	740.18	804.5	657.6	791.98	662.25	775.65	655.21

注1) 香川芳子監修『食品成分表2015 資料編』（女子栄養大学出版社、2015年）をもとに作成。

- 2) 推定エネルギー必要量(身体活動レベルⅡ)の95%で構成。
 3) 端数処理の関係で金額の末尾の数値は試算により異なる場合があるし、各金額の計と合計額は必ずしも一致しない。

上記表3の各合計金額から、香川氏の試算にもとづきエネルギー必要量の10%を嗜好品でまかなうようにして、各年齢別・性別に1日のエネルギー必要量の金額を算定しなおすと、表4のようになる。

表4 嗜好品を加えた1日のエネルギー必要量と金額(年齢別・性別)

	エネルギー必要量の90%		嗜好品(エネルギー必要量の10%)		合計(100%)	
	量(kcal)	金額(円)	量(kcal)	金額(円)	量(kcal)	金額(円)
3～5歳男性	1,170	420.65	130	96.41	1,300	517.06
8～9歳女性	1,530	559.43	170	126.08	1,700	685.51
12～14歳男性	2,340	787.88	260	192.82	2,600	980.70
15～17歳女性	2,070	701.22	230	170.57	2,300	871.79
18～29歳男性	2,385	762.16	265	196.53	2,650	958.69
18～29歳女性	1,755	622.99	195	144.62	1,950	767.61
30～49歳男性	2,385	750.30	265	196.53	2,650	946.83
30～49歳女性	1,800	627.39	200	148.32	2,000	775.72
50～69歳男性	2,205	734.83	245	181.70	2,450	916.53
50～69歳女性	1,710	620.72	190	140.91	1,900	761.63

上記表4に示した合計金額は、各人がすべて家で食事をした場合の1日の食料費を意味する。しかし、実際には、食事の一部に外食(会食や学校給食など)が含まれているし、食べ残しもあるので、このことを考慮しなければならない。そこで、朝食・昼食・夕食について、生活実態調査の結果、それぞれどこでどのような食事の仕方をしているのかにもとづいて食料費を計算した。昼食に自宅から弁当を持参する場合は家で食事をしたものとし、外食(職場の食堂利用や弁当購入などを含む)については、コンビニ弁当を購入するものとしてエネルギー量と費用を設定した(表5)。また、仕事の帰りや休日のお酒や会食については、その典型的な内容とエネルギー量を設定し(表6)、生活実態調査の結果から、その回数と費用にもとづいて算定した。給食についても、幼稚園・小学校・中学校における給食のエネルギー量と費用を調べて計算した(表5)。

なお、家での食事の場合、食べ残しの廃棄率を5%と想定した。こうして、最終的に1カ月(30日分)の食料費を求めた。

表5 コンビニ弁当および各種給食のエネルギー量と金額

	エネルギー量(1食)	金額(1食又は月額)	備考
コンビニ弁当	730kcal	500円前後	金額は、生活実態調査結果を加味してモデルごとに設定。ただし、大学生の昼食は、学生食堂を利用するものとした。
幼稚園給食	500kcal	月額4,000円	名古屋市内の私立幼稚園の場合、年間実施日数180日
小学校給食	640kcal	月額3,800円	名古屋市立小学校の場合、2015年度実施日数187日
中学校給食	820kcal	280円	名古屋市立中学校のスクールランチの場合、2015年度実施日数182日

- 注 1) 幼稚園給食のエネルギー量は、文部省体育局長通達「幼稚園における給食の実施について」(1961年3月31日)より。給食費は、私立幼稚園2カ所の調査から、月額4,950円と約4,000円(1食270円で年間約180日実施)のうち、低い方を採用した。
- 2) 小学校および中学校給食の実施回数とエネルギー量は、愛知県教育委員会『学校給食の現況 27(2015).5.1 現在』より、費用は名古屋市ホームページによる。

表6 会食(外食)の内容と1回のエネルギー量(若年単身者・夫婦・子ども)

	内容 ()内の数値は各品目のエネルギー量(kcal)	エネルギー量(計)
若年単身者・夫	枝豆(100)、手羽先から揚げ5本(626)、どて煮(410)、刺身(118)、ビール(中ジョッキ2杯:160×2)	1,574kcal
妻	ペペロンチーノ(520)、コンソメスープ(30)、サラダ(95)、レアチーズケーキ(258)、グラスワイン(131)	1,034kcal
大学生(18~21歳)	枝豆(100)、手羽先から揚げ5本(626)、どて煮(410)、刺身(118)、ノンアルコールビール(中ジョッキ2杯:45×2)	1,344kcal
小学生~高校生	ハンバーグステーキランチ(712)、レモンティー(140)	852kcal
幼児	キッズカレープレート(600)、オレンジジュース(102)	702kcal

(2) 住居費

住居費について、生活実態調査によれば、若年単身者では、「マンション・アパート借家」に住んでいるという回答が88%であったこと、30代~50代世帯の場合、「持家」(一戸建て、マンション)の回答が7割~9割を占めるが、その費用算出条件の多様さからこれまで試算がなされていないこと、また、公営賃貸住宅も少ないことから、民間借家を想定して試算した。居住面積については、国土交通省「住生活基本計画(全国計画)」(2011年3月15日閣議決定、計画期間は2010年度から2020年度)による「最低居住面積水準」にもとづき、若年単身世帯モデル25㎡、「30代夫婦と未婚子2人世帯モデル」(以下、30代世帯モデルと略記する場合あり)42.5㎡、「40代夫婦と未婚子2人世帯モデル」(以下、40代世帯モデルと略記する場合あり)47.5㎡、「50代夫婦と未婚子2人世帯モデル」(以下、50代世帯モデルと略記する場合あり)50㎡とした。

家賃については、若年単身世帯モデルの場合、名古屋市郊外での民間賃貸アパートについて住宅情報誌およびインターネットを用いて市場調査を行った。その結果、25㎡の民間賃貸住宅(間取り1DKまたは1K)では、家賃が最低で4.5万円、最高が5.8万円であった。

30代~50代世帯モデルの場合は、名古屋市郊外(中川区の地下鉄高畑駅と八田駅から徒歩20分以内、築34年以下)にある民間賃貸住宅の家賃をインターネットの「不動産・住宅サイト」により調査したところ、下記のとおりであった。「築34年以下」としたのは、建築基準法による現在の耐震基準が1981年6月1日に導入されたことを考慮したためである。

42.5㎡~45㎡の民間賃貸アパート・マンション(間取り2LDK・3DKで13件該当)では、家賃の最低が4.8万円(築28年)、最高が8.2万円(築17年)で、大半は5万円台~6万円台であった。

47.5㎡~50㎡の民間賃貸アパート・マンション(間取り3DKで10件該当)では、家賃の最低が4.3万円(築31年)、最高が6.5万円(築32年)で、半数は5万円台であった。

50㎡~55㎡の民間賃貸アパート・マンション(間取り3DKで30件該当)では、家賃の最低が5万円(築30年)、最高が8万円(築28年)で、大半は5万円台~6万円台であった。

以上の結果をもとに生活実態調査結果も考慮して家賃を設定した。また、更新期間や更新料についても、生活実態調査にもとづき算定した。なお、共益費(管理費)は、「(9)その他の消費支出」の「4)交際費・その他」に計上した。

(3) 光熱・水道費

光熱・水道費については、総務省「平成 26(2014)年全国消費実態調査」(5年に1回の調査)を用い、2015年10月時点における「名古屋市消費者物価指数」を考慮して算定する。若年単身世帯モデルでは、「平成 26 年全国消費実態調査」(単身世帯のうち勤労者世帯)の「男女、地域別 1 世帯当たり 1 カ月間の収入と支出」より、光熱・水道費(30歳未満、東海地方の平均月額)は、男性が 8,093 円、女性が 7,059 円であった。

30代～50代世帯モデルの場合には、「平成 26 年全国消費実態調査」(二人以上世帯のうち勤労者世帯)より、世帯類型別・年間収入階級別の 1 世帯当たり 1 カ月間の光熱・水道費(全国)および名古屋市の同じ世帯類型別 1 世帯当たり 1 カ月間の当該支出額を用いて年収別に推計した(表 7)。

表 7 1 世帯当たり 1 か月間の光熱・水道費の推計

全国(夫婦と子供が 2 人の勤労者世帯)			
世帯の年間収入階級	平均	500 万円以上 600 万円未満	600 万円以上 800 万円未満
光熱・水道費(円)	21,070	20,173	20,615
名古屋市(夫婦と子供が 2 人の勤労者世帯)			
世帯の年間収入階級	平均	500 万円以上 600 万円未満(推計)	600 万円以上 800 万円未満(推計)
光熱・水道費(円)	22,418	21,464	21,934
物価上昇率を加えた光熱・水道費(円)		19,961	20,399

注) 世帯の年間収入階級は、妻や高校生・大学生がパートやアルバイトで就労している場合も考慮し、非消費支出を算定する際に設定した夫の年収より多い階級、つまり、30代と 40代世帯モデルは 500～600 万円未満、50代世帯モデルは 600～800 万円未満層で光熱・水道費を推計した。なお、2014 年(年平均指数=1)に比べた光熱・水道費の物価指数を 0.93 として計算した。

(4) 家具・家事用品費、被服及び履物費など

家具・家事用品、被服及び履物、教育娯楽耐久財、書籍・他の刊行物、教養娯楽用品、理美容用品、身の回り用品などは、手持ち財調査にもとづいて、原則 7 割以上の保有率の物を最低限必要な必需品と考え、それぞれの費目ごとに積み上げて算定した。7 割以上を原則とする(いいかえれば、7 割未満でも必需品とする場合がある)のは、以下の理由による。手持ち財によっては、代替品が多く、保有率が 7 割に達しない場合がある。例えば、ストーブの場合、電気ストーブ・石油ストーブ・ガスストーブに保有が分散し、いずれも 7 割に達しないが、これらを合計すると 7 割を超えている。あるいは電気ポットの保有率は 7 割に達しないが、「やかん」を合わせると 10 割に達している。このような場合には、その中の最も保有率の高いもの、あるいは合意形成会議での聞き取りなどにより特定したものを必需品としている。さらに、本箱・本棚、目覚まし時計、砂糖入れ、小学生用のランドセルやヘルメットなどで、保有率が 7 割に達しない場合でも、当該世帯モデルで当然保有していると考えられるものは、合意形成会議の検討を経て、必需品とした。

手持ち財の使用年数については、国税庁「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」の別表(耐用年数表)およびクリーニング事故賠償問題協議会「クリーニング事故賠償基準」(2015年4月1日改訂、10月1日施行、以下、「基準」と略記)の「平均使用年数」を参考にした。なお、「平均使用年数」は、同じ品目でも品種や用途等が異なる場合、原則として長い年数を、素材が異なる場合、「その他」の年数を用いた。

手持ち財のうち、被服・電化製品・食糧雑貨等の主な購入先について、生活実態調査に基づき想定した。

これによれば、世帯類型により多少の違いは認められるが、最も多いのが、「大手スーパー・量販店」(29.0%～86.3%)、次いで「専門店」(0.9%～41.9%)であった。したがって、名古屋市内にある4つの「大手スーパー・量販店」で2015年12月14～18日と2016年6月14～16日および7月1日に価格調査を実施した。

価格調査は、各必需品についてその店の最低価格、最多・標準価格、最高価格を調べた(同種の品目について複数の店舗で価格を調査した場合は、それらの平均価格を用いた)。当該品目が調査対象の店で販売されていない場合は、ネット通販等で価格を調査した。被服・履物・自転車など大人用と子ども(幼児と小学生)用で異なる品目については、子ども用品の価格も調べた。

被服・履物・身の回り用品のうち、礼服・喪服一式・背広・オーバーコート・ジャケット・アンサンブル・ワンピース・靴・ブーツ・ネクタイ・財布・腕時計・イヤリング・ピアスなどの外出用品目(「4. 最低生計費の試算」の各表で※の付いた品目)の価格については、「人前に出て恥をかかないように」最低価格を避けて、最多・標準価格を、それ以外の品目については、最低価格を用いて試算した。日刊新聞については、愛知県地域で購読世帯が過半を占める中日新聞の価格を、書籍については、統計資料に掲載されている平均価格を用いた。なお、年1回、クリーニングに出す被服を、男性用の背広・オーバーコート、女性用のアンサンブル・ワンピース・オーバーコートとし、各1着の料金を1,050円(消費税抜き、インターネットによる調査)とした。

手持ち財の数量(消費量)については、原則として、少ないほうから数えて合計3割の人が保有する数を算定基準とした²。ただし、30代～50代世帯の人数(3人～6人)は、当該世帯モデルの人数(4人)より少ない場合も含まれているため、この算定基準では数量が過少となることがある(たとえば、4人分の敷き布団が必要なのに3人分と算定されてしまう)。したがって、明らかに数量が過少な品目については、世帯モデルに照らして修正した。

また、手持ち財の品目によっては、大人用と子ども用で価格にかなり差がある。しかし、手持ち財調査では、大人用と子ども用に区別して数量を調べていないので、当該品目の数について、世帯モデルの家族構成も考慮しつつ、大人と子ども(幼児と小学生)の人数を案分比例してそれぞれの数量を求めた(整数にならない場合は、原則として、大人用の数を切り捨て、子ども用の数を切り上げた)。

(5) 保健医療費

保健医療費については、生活実態調査で医療費(病院での窓口負担や医薬品の購入費、月額)を、手持ち財調査で体重計や救急箱などの「保健医療用品」の保有の有無・数量を尋ねており、その結果を用いる。

(6) 交通・通信費

交通費のうち、自宅から勤務先までの費用は通勤手段によって大きな違いが生ずる。生活実態調査結果で主な通勤手段をみると、若年単身者の場合、最も多かったのは公共交通機関の32.7%で、自転車は30.0%、自家用車は27.6%、バイクは2.3%にとどまった。30代～50代世帯では、自家用車とバイクの利用が5割～6割と多数を占めるが、名古屋市に居住する回答者では、40代世帯を除き、公共交通機関の利用が最も多い。よって、世帯モデルの単身者と夫の**通勤手段は公共交通機関**、勤務先は名古屋駅周辺にあるものとし、通勤のための交通費は、地下鉄2区間(高畑または八田駅から名古屋駅)の通勤定期代(3カ月定期26,710円、1カ月当たり8,903円)とした³。なお、世帯モデルの妻がパートタイマー

² 30代～50代世帯(回答者)のほとんどが「正規職員・従業員」であり、非正規従業員に比べて平均収入が高いため、手持ち財の数量も多いと思われる。このことを修正するために、「下から3割」の数量を算定基準とした。また、貧困率の指標の一つである相対的貧困率も等価可処分所得の中央値の半分を貧困線としており、この点からも「下から3割」を算定基準とすることに妥当性がある。なお、回答者の多数が非正規従業員の場合には、「下から3割」でなく、たとえば、平均値や最頻値などを基準に算定すべきと考える。

³ 今回の試算でも、これまでと同様に通勤費用を全額本人負担と想定している。地下鉄定期券の期間は6カ月・3カ月・1カ月の3種類であるが、本人負担であることを考慮して3カ月定期とした。しかし、実際は、勤務先から「通勤手当」

として勤務している場合の通勤手段は、徒歩ないし自転車とした。

他方、自家用車を「生活の必需品」とする回答は、若年単身者で 45.2%と半数に満たなかったので、**若年単身世帯モデルでは、移動手段として自家用車もしくはバイクが必需品ではないと判断し、代りに、駅までの通勤手段や普段の買い物に利用するものとして自転車**を所有させることにした。

30代～50代世帯では、自家用車を「生活の必需品」とする回答が8割～9割であるため、自動車を必需品とした。自動車の種類と保有率を年代別にみると、30代で軽自動車(660cc以下)の保有率が44.6%、小型自動車(660超2000cc以下)22.8%、普通自動車(2000cc超)62.4%、40代で軽自動車の保有率が39.5%、小型自動車27.2%、普通自動車65.4%、50代で軽自動車の保有率が53.6%、小型自動車31.9%、普通自動車46.4%であるが、当該世帯モデルの状況を考慮して、**30代世帯モデルは軽自動車(乗用車)1台、40代世帯モデルは普通自動車(乗用車)1台、50代世帯モデルは普通自動車(乗用車)1台の保有とする⁴。**

自動車関係費の試算に際しては、**中古乗用車**を取得するものとし、購入時点の**使用済み年数は7年、購入後の使用年数を6年**(ただし、購入後3回目の車検直前に手放す)、軽乗用車は660ccクラス、普通乗用車は2000ccクラスとした。「使用済み年数を7年、使用年数を6年」としたのは、一般社団法人自動車検査登録情報協会「車種別の平均使用年数推移表」と軽自動車検査協会「軽自動車の平均使用年数推移表」によれば、普通乗用車の平均使用年数が12.53年(2015年3月末)、軽乗用車の平均使用年数が14.03年(2015年)であること、乗用車の場合、新車登録から初回車検の有効期間が3年間、2回目以降の車検有効期間が2年間であることを考慮したためである。

中古乗用車の取得価格については、インターネットのWebサイト(2カ所)で上記の条件を満たすとされる名古屋市内で購入できる車の販売価格を調べた。中古車の価格は時季により多少異なる。たとえば、2・3月は新年度を控え需要が増加して価格が上昇、6月は夏のボーナス支給前で需要が減少し価格も低下する。また、価格調査の時期も2016年6月であったこと、これらを考慮して、低い方から数えて概ね3割程度の価格で設定した。

自動車を購入すれば、消費税をはじめ取得税、重量税や自動車税・軽自動車税、自賠責保険料がかかるし、車検料金などの整備費用も必要となる。整備費用については、Webサイト(4カ所)や自動車整備工場(2社)に対する価格調査等にもとづき算定した。自動車保険(任意保険)についても、契約内容を想定して、Webサイトの調査結果にもとづき設定した。さらに、賃貸住宅に居住して自家用車を保有する場合、通常駐車場代がかかる。生活実態調査によれば、30代～50代世帯で駐車場代を答えているものは計31世帯で、その**1カ所当たりの平均駐車場代は月額4,813円**であった。加えて、ガソリン代についても、生活実態調査結果をもとに自家用車1台当たりの平均月額を求めた(世帯モデルごとの自動車関係費の詳しい内容は、「4. 最低生計費の試算」の(7)交通・通信費の算定を参照)。

子どもの通学(園)手段と費用については、以下のように想定した。

- ・幼稚園児：親が徒歩ないし自転車で送る。
- ・小・中学生：徒歩
- ・高校生：名古屋市営地下鉄を利用。通学費は、2区間(3km超～7kmまで)の3カ月通学定期代として13,770円(1カ月4,590円、年間55,080円)とした⁵。
- ・大学生：名古屋市営地下鉄を利用。通学費は、高校に比べて大学の数が少ないので、少し遠くまでいくことを考慮して、5区間(15km超)の3カ月通学定期代として18,050円(1カ月6,017円、年間

が支給される労働者もいる。その場合は、通勤のための交通費の本人負担がないことになる。

⁴ 一般社団法人自動車検査登録情報協会「都市別の自家用乗用車の普及状況表(平成27(2015)年3月末現在)」によれば、名古屋市の1世帯当たり自家用乗用車保有台数は0.966である

⁵ 文部科学省「平成26(2014)年度子供の学習費調査」(隔年調査)によれば、高校生(全日制、公立)の通学費(支出者平均額)は年額55,000円である。

72,200 円) とした⁶。

買い物など通勤・通学以外の交通費については、各世帯モデルが自動車や自転車を保有していること、夫・大学生・高校生は定期券を使っていること、保護者が同伴する幼児は、地下鉄乗車料金は無料であることから、ここではとくに計上しないこととした。

通信費については、(3) 光熱・水道費と同様に、総務省「平成 26(2014)年全国消費実態調査」を用い、2015 年 10 月時点における「名古屋市消費者物価指数」を考慮して算定する。若年単身世帯モデルでは、「平成 26 年全国消費実態調査」(単身世帯のうち勤労者世帯)の「男女、地域別 1 世帯当たり 1 カ月間の収入と支出」より、通信費(30 歳未満、東海地方の平均月額)は、男性が 9,302 円、女性が 9,113 円であった。

30 代～50 代世帯モデルの場合、「平成 26 年全国消費実態調査」(二人以上世帯のうち勤労者世帯)より、世帯類型別・年間収入階級別の 1 世帯当たり 1 カ月間の通信費(全国)および名古屋市の同じ世帯類型別 1 世帯当たり 1 カ月間の当該支出額を用いて年収別に推計した(表 8)。

表 8 1 世帯当たり 1 か月間の通信費の推計

全国(夫婦と子供が 2 人の勤労者世帯)			
世帯の年間収入階級	平均	500 万円以上 600 万円未満	600 万円以上 800 万円未満
通信費(円)	18,992	18,292	18,775
名古屋市(夫婦と子供が 2 人の勤労者世帯)			
世帯の年間収入階級	平均	500 万円以上 600 万円未満(推計)	600 万円以上 800 万円未満(推計)
通信費(円)	18,163	17,494	17,955
物価上昇率を加えた通信費(円)		17,668	18,135

注) 世帯の年間収入階級については、前掲表 7 と同じ。通信費はスマートフォンや電話機などの機器代を含む。なお、2014 年(年平均指数=1)に比した通信費の物価指数を 1.01 として計算した。

(7) 教育費

子どもの教育を以下のように試算した(若年単身世帯モデルは該当しない)。まず、幼稚園児から高校生の教育費については、文部科学省「平成 26(2014)年度子供の学習費調査」(隔年調査)にもとづき算定する。学年(年齢)別学習費支出状況の結果から、次の条件を満たす「支出者平均額」(各経費を支出した者の平均額)を積算して求めた。①支出率(各経費を支出した者の比率)が原則 7 割以上(例外 65% 超)の費目を算定する。②制服を除き、対象学年層(年齢層)のうち過半数の年齢区分で支出率が原則 7 割未満(例外 65% 以下)の費目は算定から外す(たとえば、3～5 歳であれば 2 つ以上の年齢区分で原則 7 割以上の支出率でなければ算定から外す。小学 3・4 年であれば両学年とも原則 7 割以上の支出率でなければ算定から外す)。③「給食費」・「通学費」・「スポーツ・レクリエーション活動」・「教養・その他」費目は、支出率が原則 7 割以上であっても、食費や交通費あるいは教養娯楽費などで算定するので、教育費から外す。④「通学用品費」・家庭内学習費の「物品費」なども、身の回り用品や家具・家事用品費などと重複する場合には、算定から外す。

大学生の教育費は、日本学生支援機構『平成 26(2014)年度学生生活調査』(隔年調査)を用いる。ただ

⁶ 日本学生支援機構『平成 26(2014)年度学生生活調査』(隔年調査)によれば、私立大学生(昼間部、自宅)の通学費は年額 102,400 円である。

し、この調査では、入学金（料）が除外されているので、文部科学省「平成 26(2014)年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額の調査結果について」より、授業料に対する入学料の比率を求めて（30.2%÷4年＝7.55%/年）、それに対応する金額を入学金として加算した。また、通学費は自宅通学を想定しており、交通費として算定するので教育費から外した。

なお、文部科学省「子供の学習費調査」では各費目の細かな内訳の支出率や金額が不明のため、教育費の推計は概算とならざるを得ない。よって、その推計に際しては、物価指数を加味して調整せずに 2014 年度調査の費用をそのまま計上している。

（８）教養娯楽費

教養娯楽費として、教育娯楽耐久財、教養娯楽用品、教養娯楽サービスなどの費用、NHK 受信料、インターネット接続料を計上する。

教育娯楽耐久財、書籍・他の刊行物、教養娯楽用品の費用は、（４）で述べた方法により、教養娯楽サービス費については、生活実態調査の結果をふまえ、合意形成会議での検討を経て、日帰り行楽の回数と費用、一泊以上の旅行の回数と費用、休日（余暇）の過ごし方にもとづいて算定した。

NHK 受信料は、月額 **1,310 円**（地上契約、消費税込）、インターネット接続料（接続機器を含む）は、月額 **3,000 円** とした。

（９）その他の消費支出

その他の消費支出として、理美容用品と理美容サービス費、身の回り用品費、交際費・その他、自由裁量費を計上する。

１）理美容用品費

ヘアドライヤー・歯ブラシ・石鹸・化粧品などの理美容用品費については、（４）で述べた方法により算定した。

２）理美容サービス費

理髪料など理美容サービス費については、名古屋市内の理容店および美容院組合に所属している理美容店の価格調査、各世代への聞き取り調査、Web サイトに提供されている理美容利用に関する調査をふまえ、合意形成会議を経て、以下のように利用頻度と価格を算定した。

《男性》若年単身者・30代以上・大学生：2カ月に1回の利用、1回 4,000 円

中学生：2カ月に1回の利用、1回 2,000 円

幼 児：2カ月に1回の利用、1回 1,000 円

《女性》若年単身者・30代以上：3カ月に1回の利用、1回 10,000 円

高校生：2カ月に1回の利用、1回 4,000 円

小学生：3カ月に1回の利用、1回 2,000 円

３）身の回り用品費

傘・かばん・財布・時計などの身の回り用品費については、（４）で述べた方法により算定した。

４）交際費・その他

交際費・その他については、生活実態調査結果をふまえ、合意形成会議を経て、各世帯で以下のように算定した。

①親戚や友人の結婚式・お葬式・法事への参加回数と費用

生活実態調査結果をみると、若年単身者の場合、「親せきや友人の結婚式やお葬式・法事に参加して

いますか」との問いに対し、最も多いのが「ほとんど参加」の65%で、これに「最近はほとんど呼ばれることがない」および「他の費目を節約して参加」が12%と続いていた。その回数(2015年)は、最も多いのが1回で24.9%、次いで0回の23.5%、2回の23.0%、3回の15.2%となっている。この結果から、以下のように想定した(30代~50代世帯についての説明は省略)。

- ・若年単身世帯モデル(結婚式1回、葬式・法事1回の年間計2回、1回の費用2万円で計4万円)
- ・30代世帯モデル(結婚式1回、葬式・法事2回の年間計3回、1回の費用1.2万円で計3.6万円)
- ・40代世帯モデル(結婚式1回、葬式・法事2回の年間計3回、1回の費用1.7万円で計5.1万円)
- ・50代世帯モデル(結婚式と葬式・法事で年間計3回、1回の費用2万円で計6万円)

②親戚やお世話になった人などへのお中元やお歳暮の軒数と費用

生活実態調査結果によれば、若年単身者の場合、お中元やお歳暮について、最も多い回答は「贈らない」の70.5%で、これに「経済的に無理」の12.4%、「贈ってくれる人だけに贈っている」の5.5%と続いていた。このことから、以下のように、若年単身者の場合には、お中元やお歳暮を贈る習慣がないものと判断した(30代~50代世帯についての説明は省略)。

- ・若年単身と30代世帯モデル(贈らない)
- ・40代世帯モデル(年間4軒、1軒の費用2,500円で計1万円)
- ・50代世帯モデル(年間6軒、1軒の費用3,000円で計1.8万円)

③家族・親戚などへのお見舞金・せん別・お年玉の回数と費用

生活実態調査の「お見舞金、せん別、お年玉をさしあげていますか」という問いに対して、若年単身者では、最も多い回答が「機会があればあげている」で45.6%、次いで「最近ではあげない」の20.3%、「あげない」の17.1%となっている。この結果から、以下のように想定した(30代~50代世帯についての説明は省略)。

- ・若年単身世帯モデル(年間4回、1回の費用=3,000円で計1.2万円)
- ・30代世帯モデル(年間5回、1回の費用=4,000円で計2万円)
- ・40代世帯モデル(年間6回、1回の費用=5,000円で計3万円)
- ・50代世帯モデル(年間7回、1回の費用=6,000円で計4.2万円)

④住宅関係費として共益費(管理費)を算定した。

生活実態調査結果によると、若年単身者では、共益費(月額)が2,000円~5,000円に分布し、最も多かったのが3,000円であった。よって、若年単身世帯モデルの共益費を月額3,000円とした。

30代~50代世帯モデルの場合、住居費と同様に、名古屋市郊外(中川区の地下鉄高畑駅と八田駅から徒歩20分以内、築34年以下)にある民間賃貸住宅の管理費(月額)をインターネットの「不動産・住宅サイト」により調査したところ、下記のとおりであった。

42.5㎡~45㎡の民間賃貸アパート・マンション(間取り2LDK・3DK、11件で金額が記載)では、管理費の最低が2,000円、最高が8,000円で、過半(6件)が3,000円であった。

47.5㎡~50㎡の民間賃貸アパート・マンション(間取り3DK、8件で金額が記載)では、管理費の最低が1,000円、最高が4,000円で、過半(5件)が2,000円ないし3,000円であった。

50㎡~55㎡の民間賃貸アパート・マンション(間取り3DK、25件で金額が記載)では、管理費の最低が2,000円、最高が4,500円で、過半(16件)が3,000円であった。

他方、生活実態調査結果では、名古屋市居住者で共益費を回答した者が少なく(30代世帯で4人、40代と50代世帯では各2人)、金額もばらついているため、上記の調査結果をもとに、30代~50代世帯モデルも共益費(管理費)を月額3,000円と設定した。

⑤忘年会や新年会、歓送迎会への参加回数と費用

忘・新年会や歓送迎会(昨年)について、生活実態調査結果をみると、若年単身者では、年3回が27.6%で最も多く、これに5回以上が27.2%、4回が24.9%と続いていた。この結果から、以下のように判断した(30代~50代世帯についての説明は省略)。

- ・若年単身世帯モデル（年間4回、1回3,500円の費用で計1.4万円）
- ・30代世帯モデル（年間6回、1回4,000円の費用で計2.4万円）
- ・40代世帯モデル（年間6回、1回5,000円の費用で計3万円）
- ・50代世帯モデル（年間6回、1回6,000円の費用で計3.6万円）

⑥若年単身者と夫の労働組合費（月額）として所得（所定内給与：月額）の1%を目安に、若年単身世帯モデル**2,100円**、30代世帯モデル**2,900円**、40代世帯モデル**3,400円**、50代世帯モデル**3,700円**と算定した。妻・高校生・大学生は労働組合に加入していないと想定した。

⑦町内会・自治会費については、生活実態調査結果から、参加率が高いのは40代世帯（76.3%）と50代世帯（73.9%）で、その会費は、名古屋市内での聞き取り調査から、40代と50代世帯モデルで**年額3,000円（月額250円）**とした。30代世帯では、参加率が59.4%であること、若年単身者の場合、近所つきあいの程度について、生活実態調査では「あいさつ程度」が62.2%で最も多く、次いで「ほとんど顔を合わせない」が29.0%で、事前に行った聞き取りでも自治会費を払っているものは少数であることから、加入していなものととして算定しなかった。

⑧その他会費として、若年単身者および30代～50代世帯モデルの夫婦それぞれ**年間3,000円**。

5) 自由裁量費

自由裁量費（＝こづかい）については、これまでの算定では計上しなかった教養娯楽費としての切り花代やオーディオ関係など、また、飲食費としての喫茶店でのコーヒー代などを、こづかいとして一括してここに計上した。これは、手持ち財調査では保有率が分散していて7割には満たないが、個々人の趣味など、価値の多様性を考慮したものである。その額として、若年単身者・夫婦と高校生・大学生は1人1日**200円**で月**6,000円**、幼稚園児・小学生・中学生は1人1日**100円**で月**3,000円**とする⁷。

(10) 非消費支出

以下に述べる非消費支出の算定方法は、30代～50代世帯モデルの場合である。若年単身世帯モデルにおける非消費支出の算定方法は、「4. 最低生計費の試算」の「4-1. 若年単身世帯モデル」を参照していただきたい⁸。

1) 夫の収入

各世帯モデルの非消費支出（社会保険料と税額）を算出するには、それぞれの夫の収入がわかっているなければならない（夫以外の家族構成員は、夫の扶養家族）。年代別の夫（正規従業員）の収入は、2015年の厚生労働省『賃金構造基本統計調査』（愛知県分）より、企業規模別（5～9人、10～99人、100～999人）、年齢別（30～34歳、35～39歳、40～44歳、45～49歳、50～54歳、55～59歳）の一般労働者（男）の所定内給与額（2015年6月分）と賞与その他特別給与額（原則2014年1月～12月分）の単純平均を用いる。生活実態調査結果から、回答者（30代～50代世帯）の勤務先は、公務が45～47%、1,000人以上規模（民間企業）が7～14%、1,000人未満規模（民間企業）が35～38%であることを考慮した。また、加重平均を用いた場合、企業規模が大きいほど労働者数も多くなり、給与額が高くなるため、単純平均値を求めた。各年代別の夫の月収・一時金・年収（2015年の収入＝月収×12カ月＋一時金）は、以下の通りである。

30代の夫：月収（所定内給与額）**29万円**、一時金（賞与その他特別給与額）**64万円**、**年収412万円**

⁷ 参考までに、金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世論調査〔二人以上世帯調査〕（平成27(2015)年）」（各種分類別データ）の「こどものこづかい額」（1人1カ月、全国平均）をあげておくと、「小学校入学以前のお子さん」（1,784円）、「小学3・4年」（1,145円）、「中学生」（2,448円）、「高校生」（5,509円）、「大学生等」（23,181円）である。

⁸ 非消費支出の算定方法は、各世帯モデルで同じでなければならないが、今回の試算では、若年単身世帯モデルの試算を先行したことにより、所得税の計算方法に関して、若年単身世帯と30代～50代世帯モデルで若干異なっている。しかし、そのことによる若年単身世帯モデルの所得税額の差は月847円であり（試算結果よりも847円増える）、生計費に大きな影響はない。

40代の夫：月収（所定内給与額）34万円、一時金（賞与その他特別給与額）80万円、**年収488万円**
50代の夫：月収（所定内給与額）37万円、一時金（賞与その他特別給与額）86万円、**年収530万円**
以上の夫の収入をもとに、社会保険料と税額を算定する。

2) 社会保険料（年金・健康・雇用保険料）

夫以外の家族構成員は夫の扶養家族であるから、社会保険料負担が生じるのは夫と20歳以上の大学生（国民年金保険）である。

①年金（厚生年金と国民年金）保険料

厚生年金保険料額表（2015年9月分～2016年8月分適用）より、厚生年金保険料率は17.828%（うち労働者負担分＝8.914%）⁹で、各世帯モデルの標準報酬月額と労働者負担分の保険料（年）は下記の通りである。なお、一時金（ボーナス）の保険料は、一時金額（1,000円未満切り捨て）に保険料率を乗じた額である。また、大学生の場合、20歳になると、国民年金保険料の納入義務が生じる（ここでは、学生納付特例制度を利用しないものとし、大学生は20歳または21歳とする）。2015年度国民年金保険料は月額15,590円である。

30代世帯モデル：標準報酬月額300,000円、保険料（年）＝26,742円×12カ月＝320,904円、
一時金分の保険料（年）57,050円、計377,954円

40代世帯モデル：標準報酬月額340,000円、保険料（年）30,307.6円×12カ月＝363,691円、
一時金分の保険料（年）71,312円、計435,003円

50代世帯モデル：標準報酬月額380,000円、保険料（年）33,873.2円×12カ月＝406,478円、
一時金分の保険料（年）76,660円、

大学生の国民年金保険料（年）＝15,590円×12カ月＝187,080円、計670,218円

②健康保険料

全国健康保険協会（協会けんぽ）の健康保険料額表（愛知県、2012年3月分～適用）により、健康保険料率は9.97%（うち労働者負担分＝4.985%）と11.55%（40歳以上65歳未満は介護保険料を含む、労働者負担分＝5.775%）¹⁰で、各世帯モデルの標準報酬月額と労働者負担分の保険料（年）は下記の通りである。なお、一時金（ボーナス）の保険料は、一時金額（1,000円未満切り捨て）に保険料率を乗じた額である。

30代世帯モデル：標準報酬月額300,000円、保険料（年）＝14,955円×12カ月＝179,460円、
一時金分の保険料（年）31,904円、計211,364円

40代世帯モデル：標準報酬月額340,000円、保険料（年）＝19,635円×12カ月＝235,620円、
一時金分の保険料（年）46,200円、計281,820円

50代世帯モデル：標準報酬月額380,000円、保険料（年）21,945円×12カ月＝263,340円、
一時金分の保険料（年）49,665円、計313,005円

③雇用保険料

2015年度の雇用保険料率は1.35%（うち労働者負担分＝0.5%）で、保険料は賃金総額（年収）に保険料率を乗じた額である。よって、各世帯モデルの労働者負担分の保険料は下記の通りである。

30代世帯モデル：保険料（年）20,600円、

40代世帯モデル：保険料（年）24,400円、

⁹ 厚生年金保険料率は、2015年8月分まで17.474%で、9月分から17.828%に変更されているが、ここでは後者の料率で計算した。

¹⁰ 健康保険料率（介護保険料を含む）は、2015年4月分までは11.69%で、5月分から11.55%に変更されているが、ここでは後者の料率で計算した。

50 代世帯モデル：保険料（年）26,500 円、

④社会保険料の合計額（年）は、下記の通りとなる。

30 代世帯モデル：609,918 円、40 代世帯モデル：741,223 円、

50 代世帯モデル：1,009,723 円（大学生の国民年金保険料を含む）

3) 税（所得税・住民税）額

夫以外の世帯構成員は夫の扶養家族であるから、税（所得税と住民税）負担が生じるのは夫のみである。

①所得税

所得税額は、夫の年収（給与）から給与所得金額を計算し、そこから社会保険料控除・配偶者控除（38 万円）・扶養控除（38 万円、特定扶養親族は 63 万円）・基礎控除（38 万円）を差し引いた金額に税率（5%～45%）を乗じた額から一定額（0 円～4,796,000 円）を差し引いた額である。ここでは、社会保険料控除・配偶者控除・扶養控除・基礎控除以外に所得控除はなく、寄附金等の税額控除もないものとし、妻・高校生・大学生は、それぞれ控除対象配偶者・控除対象扶養親族（16 歳以上）・特定扶養親族（19 歳以上 23 歳未満）に該当するものとする。なお、復興特別所得税額として、基準所得額（ここでは所得税額）に 2.1%の税率を乗じた額が加算される（復興特別所得税は、2013 年 1 月 1 日～2037 年 12 月 31 日の 25 年間課税、税額の計算方法は、国税庁の Web サイトによる）。各世帯モデルの所得税額と復興特別所得税額は下記の通りである。

30 代世帯モデル：夫の年収 4,120,000 円の場合、給与所得金額は 2,756,000 円、

所得控除額＝社会保険料（609,918 円）＋ 配偶者控除（380,000 円）

＋基礎控除（380,000 円）＝1,369,918 円、

給与所得金額 2,756,000 円－所得控除額 1,369,918 円＝1,386,082 円≒1,386,000 円

所得税額＝1,386,000 円×税率 0.05＝69,300 円

復興特別所得税額＝所得税額 69,300 円×0.021＝1,455.3 円≒1,455 円、計 70,755 円

40 代世帯モデル：夫の年収 4,880,000 円の場合、給与所得金額は 3,364,000 円、

所得控除額＝社会保険料（741,223 円）＋ 配偶者控除（380,000 円）

＋基礎控除（380,000 円）＝1,501,223 円、

給与所得金額 3,364,000 円－所得控除額 1,501,223 円＝1,862,777 円≒1,862,000 円

所得税額＝1,862,000 円×税率 0.05＝93,100 円

復興特別所得税額＝所得税額 93,100 円×0.021＝1,955.1 円≒1,955 円、計 95,055 円

50 代世帯モデル：夫の年収 5,300,000 円の場合、給与所得金額は 3,700,000 円、

所得控除額＝社会保険料（1,009,723 円）＋ 配偶者控除（380,000 円）

＋扶養控除（380,000 円＋630,000 円）＋基礎控除（380,000 円）＝2,779,723 円、

給与所得金額 3,700,000 円－所得控除額 2,779,723 円＝920,277 円≒920,000 円

所得税額＝920,000 円×税率 0.05＝46,000 円

復興特別所得税額＝所得税額 46,000 円×0.021＝966 円、計 46,966 円

②住民税（市民税と県民税）

市民税と県民税は、均等割と所得割からなる。均等割額は所得にかかわらず一定額が課税され、名古屋市の市民税額は 3,300 円、愛知県の県民税額は 2,000 円である。

所得割額（2015 年度）は、前年中（2014 年 1 月～12 月）の夫の年収（給与）から給与所得金額を計算し、そこから社会保険料（前年分）控除・配偶者控除（33 万円）・扶養控除（33 万円、特定扶養親族は 45 万円）・基礎控除（33 万円）を差し引いた金額に税率（市民税 5.7%、県民税 4%）を乗じた額から調整控除額を差し引いた額である。所得税額の算定と同様に、上記以外に所得控除はなく、寄附金等の税額控除もないものとし、妻・高校生・大学生は、それぞれ控除対象配偶者・

控除対象扶養親族(16歳以上)・特定扶養親族(19歳以上23歳未満)に該当するものとする。なお、夫の前年の収入と社会保険料(前年分)は、2015年と同額として算定する¹¹(税額の計算方法は、名古屋市のWebサイトによる)。各世帯モデルの住民税額は下記の通りである。

30代世帯モデル：夫の年収4,120,000円の場合、給与所得金額は2,756,000円、
所得控除額＝社会保険料(609,918円)＋配偶者控除(330,000円)
＋基礎控除(330,000円)＝1,269,918円、
給与所得金額2,756,000円－所得控除額1,269,918円＝1,486,082円≒1,486,000円
課税所得金額(1,486,000円)が200万円以下で、所得税と市民税・県民税の人的控除
の差額が76万円－66万円＝10万円であるから、
市民税の調整控除額＝100,000円×0.03＝3,000円、
県民税の調整控除額＝100,000円×0.02＝2,000円となる。よって、
市民税の所得割額＝1,486,000円×0.057－調整控除額3,000円＝81,702円≒81,700円
県民税の所得割額＝1,486,000円×0.04－調整控除額2,000円＝57,440円≒57,400円
均等割額(市民税＋県民税)5,300円、計144,400円

40代世帯モデル：夫の年収4,880,000円の場合、給与所得金額は3,364,000円、
所得控除額＝社会保険料(741,223円)＋配偶者控除(330,000円)
＋基礎控除(330,000円)＝1,401,223円、
給与所得金額3,364,000円－所得控除額1,401,223円＝1,962,777円≒1,962,000円
課税所得金額(1,962,000円)が200万円以下で、所得税と市民税・県民税の人的控除
の差額が76万円－66万円＝10万円であるから、上記30代と同様に、市民税の調整
控除額3,000円、県民税の調整控除額2,000円となる。よって、
市民税の所得割額＝1,962,000円×0.057－調整控除額3,000円＝108,834円
≒108,800円
県民税の所得割額＝1,962,000円×0.04－調整控除額2,000円＝76,480円≒76,400円
均等割額(市民税＋県民税)5,300円、計190,500円

50代世帯モデル：夫の年収5,300,000円の場合、給与所得金額は3,700,000円、
所得控除額＝社会保険料(1,009,723円)＋配偶者控除(330,000円)
＋扶養控除(330,000円＋450,000円)＋基礎控除(330,000円)＝2,449,723円、
給与所得金額3,700,000円－所得控除額2,449,723円＝1,250,277円≒1,250,000円
課税所得金額(1,250,000円)が200万円以下で、所得税と市民税・県民税の人的控除
の差額が177万円－144万円＝33万円であるから、
市民税の調整控除額＝330,000円×0.03＝9,900円、
県民税の調整控除額＝330,000円×0.02＝6,600円となる。よって、
市民税の所得割額＝1,250,000円×0.057－調整控除額9,900円＝61,350円≒61,300円
県民税の所得割額＝1,250,000円×0.04－調整控除額6,600円＝43,400円
均等割額(市民税＋県民税)5,300円、計110,000円

③税(所得税と住民税)の合計額(年)は、下記の通りとなる。

30代世帯モデル：215,155円、40代世帯モデル：285,555円、50代世帯モデル：156,966円

¹¹ 脚注の9と10にあるように、厚生年金保険料率や健康保険料率は2015年と2014年では異なる。したがって、夫の2014年の収入が2015年と同額としても、2014年の社会保険料は2015年よりもいくらか低いはずである。しかし、その計算はあまりに煩雑になるし、ここでは住民税の概算額がわかればよいので、2014年の社会保険料も2015年と同額とした。

(11) 予備費

予備費として、消費支出の 1 割を計上する。これは、個々人の多様性を考慮したものである。たとえば、エネルギー消費量は、同じ年齢層でも身長や体重によって違いが生じるし、消費支出の内容や額も、心身の健康状態や障害の有無・程度により異なるからである。

4. 最低生計費の試算

4-1. 若年単身世帯モデル

(1) 食料費の算定

若年単身世帯モデルの設定で述べたように、男性と女性の年齢を 25 歳として食料費を算定する。「3. 算定の方法」の(1)の表4より、1 カ月、すべて家で食事(弁当持参を含む)したと仮定すると、男性で 958.69 円×30 日≒28,761 円、女性で 767.61 円×30 日≒23,028 円の食費となる。

若年単身者の食生活について、生活実態調査から以下のような結果が得られた。まず朝食については、「家でしっかり食べる」が最も多く 38.7%であり、次いで「家で牛乳やコーヒーなどで済ます」および「通勤途上および職場でパンやそばなどを食べる」の 16.6%、「朝食はとらない」の 16.1%であった。この結果から、**朝食は家で食べる**ものとした。

昼食については、「家から弁当持参」の 30.9%が最も多く、次いで「弁当やパンなどを買って食べる」の 29.5%、「職場の給食を食べる」の 17.1%と続いていた。昼食については、男女でライフスタイルが異なるので、男女別に分析すると以下のような結果が得られた。男性では「弁当やパンなどを買って食べる」=35.0%、「家から弁当持参」=23.3%、「職場外の食堂や喫茶店、出前等を利用する」=15.0%と、お金を払って買う派が多く、女性では「家から弁当持参」=40.6%、「職場の給食を食べる」=24.0%、「弁当やパンなどを買って食べる」=22.9%と、弁当持参が多いことが分かった。よって、**男性についてはコンビニなどで「弁当やパンなどを買う」ものとし、女性については半分を弁当持参の日、もう半分を「弁当やパンなどを買う」日とすることにした**。なお、「弁当やパンなどを買う」費用については、調査結果の平均は 661 円であった。ここでは、**1 食の弁当代を 500 円**とした。

夕食については、「家で一人で食べる」が 78.8%にのぼり、次いで「食堂などを利用する」15.7%であった。**基本的には、夕食は家で食べる**ものとした。

仕事の後や休日にお酒やお茶を飲んだり会食したり(以下、会食)する回数は、生活実態調査では、最も多いのが「月に 1~2 回程度」で 35.5%、次いで「月に 3~4 回程度」の 29.0%「ほとんどない」の 16.1%と続いていた。会食についても、男女別に分析してみると、男性は「月に 1~2 回程度」=41.2%、「月に 3~4 回程度」=26.1%「ほとんどない」=17.6%であり、女性は「月に 3~4 回程度」=33.3%、「月に 1~2 回程度」=29.2%、「週に 1~2 回程度」=22.9%であった。このことから友人などとの**会食を、男性は月 2 回、女性は月 3 回**とした。その費用の平均額は 4,269 円であったが、全体の分布状況から判断して**1 回 2,500 円**とした。会食の内容とエネルギー量は「3. 算定の方法」の(1)の表6による。

以上に述べた朝食・昼食・夕食の取り方と外食(コンビニ弁当・会食)のエネルギー量・回数・費用をもとに、1 カ月の食料費を男女別に算出した。

①25 歳男性

家での食事	61,752 kcal	22,340 円 (958.69 円×61,752 kcal÷2,650kcal)
昼食(外食)	14,600 kcal	10,000 円 (1 食 730 kcal で 500 円、20 食分)
会食(2 回)	3,148 kcal	5,000 円 (1 回 1,574 kcal で 2,500 円)
廃棄分(5%)	3,088 kcal	1,117 円 (958.69 円×3,088kcal÷2,650kcal)

合計 **82,588 kcal 38,457 円**

注 1) 「家での食事」のエネルギー量は、1カ月のエネルギー必要量（25歳男性は79,500kcal）から昼食（外食や給食）と会食分を減じたもの。以下、同様。

2) 廃棄分（5%）は、「家での食事」のエネルギー量の5%のこと。以下、同様。

3) ()内の食料費の計算方法は、数値が異なるだけだから、以下では省略。

②25歳女性

家での食事	46,478 kcal	18,296 円
昼食（外食）	7,300 kcal	5,000 円
会食（3回）	4,722 kcal	7,500 円
廃棄分（5%）	2,324 kcal	915 円
合計	60,824 kcal	31,711 円

（2）住居費の算定

「3. 算定の方法」の（2）で述べたように、民間賃貸住宅（25㎡、間取り1DKまたは1K）では、家賃が最低で4.5万円、最高が5.8万円であった。生活実態調査では、若年単身者の場合、家賃で最も多かったのが5万円台で34.9%、次いで4万円台の26.1%、6万円台の11.9%などと続いていた（平均＝約49,000円）。これらの事実から、**家賃は調査したなかで最低価格であった45,000円**とした。

また、更新期間については、生活実態調査によると、「無回答」が95.4%に及んだ。このことから、更新料はないものとした。

家賃	月	45,000 円
更新料		0 円
合計		45,000 円

（3）光熱・水道費の算定

光熱・水道費は、「3. 算定の方法」の（3）で述べた平均月額に物価指数（0.928¹²）を乗じて、男女別に下記のように推計した。

①男性：8,093 円×0.928≒**7,510 円**

②女性：7,059 円×0.928≒**6,551 円**

（4）家具・家事用品費の算定

家具・家事用品費については、「3. 算定の方法」の（4）で述べた方法にもとづいて、品目・価格・使用年数・消費量等を算定した。

設備機器・家事用耐久財および冷暖房機器

品目	価格	使用年数	消費量	月価格
電子・ガスレンジ	9,980	6	1	139
自動炊飯器	7,980	6	1	111
電気冷蔵庫	20,800	6	1	289
電気掃除機	4,980	6	1	69
電気洗濯機	24,800	6	1	344

¹² 端数処理の仕方の違いで、30代～50代世帯モデルの物価指数とはいくらか異なる。

電気ポット	2,980	6	1	41
扇風機	2,480	6	1	34
小計				1,027

注1) 価格は消費税抜きで、単位は円。

2) 各品目の月価格の合計金額と小計の金額は、端数処理のため必ずしも一致しない。以下同様。

居間・寝室用家具および室内装備品、寝具類

品目	価格	使用年数	消費量	月価格
シングルベッド	7,399	8	1	77
カラーボックス (ラック)	1,380	3	1	38
座り机 (ちゃぶ台)	1,980	8	1	21
カーテン	2,980	3	1	83
敷き布団	4,320	4	1	90
掛け布団	3,813	4	1	79
タオルケット	2,980	2	1	124
毛布	2,252	3	1	63
シーツ	1,613	2	1	67
まくら	677	3	1	18
布団カバー	1,940	2	1	80
まくらカバー	350	2	1	15
小計				755

家事雑貨 (①男性)

品目	価格	使用年数	消費量	月価格
ごはん茶碗	193	2	2	16
どんぶり	431	2	2	36
コーヒー (ティー) カップ	203	2	2	17
盛り皿・盛りばち (洋)	433	2	4	72
コップ	128	2	3	16
スプーン	125	5	2	4
フォーク	94	5	2	3
タッパー	243	5	4	16
中なべ	952	5	1	16
フライパン	658	5	1	11
水切りかご・ざる	598	4	1	13
ボール	598	5	1	10
包丁・ナイフ	1,543	5	1	26
まな板	825	5	1	14
たわし	138	1	1	12
しゃもじ	248	5	1	4
フライ返し	193	5	1	3
はし・菜ばし	145	5	3	7
物干しざお	598	5	1	10

ポリバケツ・ゴミ入れ	1,480	5	1	25
くずかご	448	5	1	8
洗濯用バケツ・かご	674	5	1	11
タオル	290	1	6	145
バスタオル	648	1	3	162
電球 (LED、60形)	2,180	8	2	45
蛍光灯	980	3	2	54
ドライバー	198	15	1	1
バスマット	677	2	1	28
小計				785

家事雑貨 (②女性)

品目	価格	使用年数	消費量	月価格
ごはん茶碗	193	2	2	16
どんぶり	431	2	2	36
コーヒー (ティー) カップ	203	2	2	17
盛り皿・盛りばち (洋)	433	2	5	90
コップ	128	2	3	16
スプーン	125	5	3	6
フォーク	94	5	2	3
水筒	1,149	5	1	19
弁当箱 (ランチャー)	1,226	5	1	20
タッパー	243	5	5	20
中なべ	952	5	1	16
フライパン	658	5	1	11
水切りかご・ざる	598	4	1	13
ボール	598	5	1	10
包丁・ナイフ	1,543	5	1	26
まな板	825	5	1	14
たわし	138	1	1	12
しゃもじ	248	5	1	4
フライ返し	193	5	1	3
はし・菜ばし	145	5	3	7
物干しざお	598	5	1	10
ポリバケツ・ゴミ入れ	1,480	5	1	25
くずかご	448	5	1	8
洗濯用バケツ・かご	674	5	1	11
タオル	290	1	8	193
バスタオル	648	1	3	162
電球 (LED、60形)	2,180	8	2	45
蛍光灯	980	3	2	54
ドライバー	198	15	1	1
バスマット	677	2	1	28

小 計				896
-----	--	--	--	-----

家事用消耗品

品目	価格	使用年数	消費量	月価格
ポリ袋 (10袋)	102	-	月5袋	51
ラップ	98	-	月1箱	98
ティッシュペーパー (5箱)	198	-	月1箱	40
トイレトペーパー (12R)	291	-	月3個	73
台所洗剤	93	-	月1本	93
トイレ用洗剤	171	-	月0.5本	86
洗濯用洗剤	214	-	月1本	214
小 計				655

合計 ①男性=3,222円 (消費税込 **3,480円**) ②女性=3,333円 (消費税込 **3,600円**)

(5) 被服及び履物費の算定

被服及び履物費については、「3. 算定の方法」の(4)で述べた方法にもとづいて、品目・価格・使用年数・消費量等を算定した。

被服・履物 (①男性)

品目	価格	使用年数	消費量	月価格
背広※	11,862	4	3	741
オーバーコート※	15,102	4	1	315
ジャケット (替上着) ※	6,990	4	2	291
替えズボン (ジーンズ含む)	2,030	4	5	211
半ズボン	1,998	2	2	167
パーカー	2,505	2	2	209
ワイシャツ	1,945	2	5	405
長袖シャツ	1,965	2	4	328
半袖シャツ	2,399	2	4	400
ポロシャツ	2,465	2	3	308
セーター	1,980	2	2	165
シャツ (合・冬)	1,990	1	4	663
シャツ (夏)	1,000	1	4	333
Tシャツ	917	2	5	191
ジャージ	4,850	2	2	404
パンツ・ブリーフ	990	1	7	578
サンダル	1,620	2	1	68
靴※	5,106	2	3	638
運動靴・スニーカー	2,850	2	2	238
靴下	315	2	10	131
手袋	1,310	1	2	218
ネクタイ※	1,422	2	4	237

マフラー	1,191	2	2	99
バンド・ベルト	1,371	2	2	114
小計				7,452

注)品目名に※印のついた物は、標準価格で算定した。以下同様。

被服・履物 (②女性)

品目	価格	使用年数	消費量	月価格
ワンピース※	6,900	4	3	431
オーバーコート※	15,000	4	1	313
ジャケット※	9,900	4	2	413
スカート	1,000	3	4	111
ブラウス	1,490	3	5	207
Tシャツ・ポロシャツ	980	2	10	408
長袖・半袖シャツ	1,980	2	5	413
セーター・カーディガン	1,980	2	5	413
スリッパ・キャミソール	1,200	2	5	250
パンティー	1,390	1	7	811
ブラジャー	3,140	2	6	785
シャツ (肌着)	1,200	1	5	500
パジャマ (夏)	1,780	2	2	148
パジャマ (冬)	2,450	2	2	204
ジャージ	3,600	2	2	300
スリッパ	398	2	2	33
サンダル	1,999	2	2	167
靴・ブーツ※	5,896	2	2	491
運動靴・スニーカー	3,440	2	2	287
パンティストッキング	500	1	4	167
ソックス	333	2	10	139
手袋	700	1	2	117
ベルト	1,495	2	2	125
エプロン	1,200	1	2	200
小計				7,433

クリーニング代

①男性

背広 (3)・オーバーコート (1) の計 4 着分のクリーニング代 (1 着 1,050 円) を想定した。

$$1,050 \text{ 円} \times 4 \div 12 = \text{月額 } 350 \text{ 円}$$

②女性

ワンピース (3)・オーバーコート (1) の計 4 着分のクリーニング代 1 着 1,050 円) を想定した。

$$1,050 \text{ 円} \times 4 \div 12 = \text{月額 } 350 \text{ 円}$$

合計 ①男性 : 7,802 円 (消費税込 8,426 円) ②女性 : 7,783 円 (消費税込 8,406 円)

(6) 保健医療費の算定

保健医療費の算定は、生活実態調査で医療費（窓口負担や医薬品購入額の合計）を聞いており、回答者の平均月額を用いた。

合計 ①男性：2,186円 ②女性：5,016円

(7) 交通・通信費の算定

交通費の算定は、「3. 算定の方法」の(6)で述べたように、若年単身者の通勤は市営地下鉄を利用するものとし、通勤のための交通費（全額本人負担と想定）を、地下鉄2区間の通勤定期代（1カ月当たり8,903円）とした。

また、自転車1台の所有を想定したので、使用年数2年、価格は17,800円（価格調査による）として、その費用を月に742円（消費税込801円）と算定した。

通信費は、「3. 算定の方法」の(6)で述べた平均月額に物価指数（1.006¹³）を乗じて、男女別に下記のように推計した。

①男性：9,302円×1.006≒9,358円 ②女性：9,113円×1.006≒9,168円
合計 ①男性：19,062円 ②女性：18,872円

(8) 教育費の算定

該当せず

(9) 教養娯楽費の算定

生活実態調査では、教養娯楽用耐久財及び書籍・他の刊行物のうち、水着の保有率は7割に届かなかったが（男性＝49%、女性＝63%）、休日や余暇の過ごし方のなかに「スポーツなど体力づくり」をしているという回答が38件あったので、水着を所有させた。他方、書籍類や新聞等は保有率が低い（新聞＝9%、文庫本＝42%）ので、所有を想定しなかった。

教養娯楽用耐久財・教養娯楽用品等

品目	価格	使用年数	消費量	月価格
カラーテレビ（32型）	39,800	5	1	663
ノートパソコン	59,800	4	1	1,246
インターネット接続料 （接続機器を含む）	-	-	-	3,000
USB（16GB）	1,380	2	1	58
水着（①男性）	1,580	2	1	66
水着（②女性）	1,980	2	1	83
小計（①男性）				5,033
小計（②女性）				5,050

消費税込み①男性：5,435円、②女性：5,454円

教養娯楽サービス費の算定は、下記の通り。

¹³ 端数処理の仕方の違いで、30代～50代世帯モデルの物価指数とはいくらか異なる。

・日帰り行楽について

生活実態調査結果によると、月に1回が最も多く35%であった。そのほかには、0回が29%、2回が21.2%と続いた。7割以上が「行く」派であった。ここでは、年4回、1回の費用を5,000円とした（平均額は約8,000円）。

・一泊以上の旅行について

生活実態調査結果では、年に2回の24%が最も多かった。次いで3回が21.2%であった。この結果から、年2回、1回の費用を20,000円とした（平均額約34,000円）。

・休日（余暇）の過ごし方について

生活実態調査結果（3つまでの回答）によると、最も多いのが「自宅で休養」の165件、次いで「友人・知人との交際」の122件、「ショッピング」の83件、「日帰りの行楽」の65件、「スポーツなど体力づくり」の38件、「持ち帰り残業」の30件などと続いていた。これらのことから、上記の行楽や旅行を除いて、恋人や友人などと一緒にショッピングや映画・観劇・音楽・絵画などの鑑賞、スポーツを月3回、1回の費用を2,000円とした。

小計 (5,000円×4+20,000円×2)÷12+2,000円×3=月額11,000円

NHK受信料=月額1,310円

合計 ①男性：17,343円（消費税込17,745円） ②女性：17,360円（消費税込17,764円）

(10) その他の消費支出の算定

1) 理美容用品費

①男性

品目	価格	使用年数	消費量	月価格
ヘアドライヤー	2,280	6	1	32
歯ブラシ	99	-	月1本	99
カミソリ	429	1	1	36
化粧石鹸（洗顔用石鹸）	377	-	月1個	377
シャンプー	298	-	月1本	298
リンス・コンディショナー	298	-	月0.5本	149
ボディーシャンプー	173	-	月1本	173
歯磨き	142	-	月1本	142
小計				1,306

消費税込1,411円

②女性

品目	価格	使用年数	消費量	月価格
ヘアドライヤー	2,280	6	1	32
歯ブラシ	99	-	月1本	99
カミソリ	429	1	1	36
ヘアブラシ	539	3	1	15
化粧石鹸（洗顔用石鹸）	377	-	月1個	377
シャンプー	298	-	月1本	298

リンス・コンディショナー	298	-	月 0.5 本	149
ボディーシャンプー	173	-	月 1 本	173
歯磨き	142	-	月 1 本	142
化粧水	572	-	月 1 本	572
乳液	550	-	月 1 本	550
ファンデーション	1,200	-	月 1 本	1200
口紅	690	-	月 1 本	690
小 計				4,333

消費税込 **4,680 円**

2) 理美容サービス費

「3. 算定の方法」の(9)の2)より、下記のように算定した。

①男性：2,000 円 (消費税込 **2,160 円**)

②女性：3,333 円 (消費税込 **3,600 円**)

3) 身の回り用品費

身の回り用品 (①男性)

品目	価格	使用年数	消費量	月価格
傘	795	2	1	33
旅行用かばん・スーツケース	8,424	5	1	140
ショルダーバッグ (男性)	3,440	5	1	57
リュックサック・デイバッグ	3,383	5	1	56
財布	3,440	5	1	57
腕時計 (男性用)	3,909	10	1	33
ハンカチ	432	1	3	108
帽子	1,515	1	2	253
小 計				737

消費税込 **796 円**

身の回り用品 (②女性)

品目	価格	使用年数	消費量	月価格
傘	750	2	1	31
旅行用かばん・スーツケース	4,880	5	1	81
ショルダーバッグ (女性)	2,540	5	2	85
ハンドバッグ	3,900	5	2	130
リュックサック・デイバッグ	4,190	5	1	70
財布	3,700	5	1	62
腕時計 (女性用)	3,500	10	1	29
イヤリング・ピアス※	1,250	10	4	42
ハンカチ	432	1	5	180
帽子	2,200	1	2	367
小 計				1077

消費税込 **1,163 円**

4) 交際費・その他

「3. 算定の方法」の(9)の4)で計算したように、下記の通りである。

①結婚式やお葬式・法事

年2回(結婚式=1回、葬式・法事=1回)参加、1回の費用20,000円として計40,000円

②お中元やお歳暮

贈らないと想定した。

③見舞金、せん別、お年玉

年間4回、1回の費用=3,000円として計12,000円

④賃貸住宅の共益費(管理費)は、月3,000円とした(年間36,000円)

⑤忘年会や新年会、歓送迎会

年間4回、1回3,500円として計14,000円

⑥労働組合費は、月2,100円を想定(年間25,200円)

⑦町内会・自治会費:加入していないと想定した。

⑧その他会費として、年間3,000円を想定

小計(40,000円+12,000円+36,000円+14,000円+25,200円+3,000円)÷12カ月=10,850円(月額)

5) 自由裁量費

「3. 算定の方法」の(9)の5)で述べたように、若年単身者は6,000円(月額)である。

合計 ①男性:1,411円+2,160円+796円+10,850円+6,000円=21,217円(消費税込)

②女性:4,680円+3,600円+1,163円+10,850円+6,000円=26,293円(消費税込)

(11) 非消費支出

若年単身世帯モデルの非消費支出を計算するには、若年単身者の収入がわかっている必要はない。このモデルとして、大学を卒業後就職して勤続年数3年の「25歳男性」および「25歳女性」を設定したので、この労働者に支払われる賃金を月額21万円、年間一時金(賞与)を24万円、年収を276万円と想定した。なお、愛知県経営者協会・名古屋商工会議所が2015年9月に公表した「平成27年度愛知のモデル賃金等調査結果について」によると、上記の想定に近い(総合職・大学卒・事務・技術部門・勤続3年)25歳のモデル賃金(所定労働時間内月例賃金)は、月額221,877円であった。以上をもとに社会保険料と税額を算定する。

1) 社会保険料(年金・健康・雇用保険料)

①厚生年金保険料

標準報酬月額が210,000円で、厚生年金保険料率が17.828%(うち労働者負担分=8.914%)であるから、本人負担分の保険料(月額)は19,611円となる。

②健康保険料

標準報酬月額が210,000円で、全国健康保険協会(協会けんぽ、愛知県)の保険料率が9.97%(うち労働者負担分=4.985%)であるから、本人負担分の保険料(月額)10,967円となる。

③雇用保険料

月収は210,000円で、雇用保険料率は1.35%(うち労働者負担分=0.5%)であるから、本人負担分の保険料(月額)は1,050円となる。

④社会保険料の合計(月額)は、下記の通りとなる。

1カ月の給与に対する社会保険料の本人負担は、19,611円+10,967円+1,050円=31,628円で、

この12カ月分は379,536円である。これに一時金（ボーナス）240,000円の社会保険料本人負担分34,558円を加えると、年間**414,094円**となる（月当たり**34,508円**）。

2) 税（所得税・住民税）額

①所得税

4月分の給与を210,000円とすると、国税庁『平成27年4月以降分 源泉徴収税額表』より、所得税（月）額は3,980円となる。これに一時金240,000円対する所得税の平均月額699円を加算すると、所得税の平均月額は**4,679円**である。

②住民税（市民税と県民税）

名古屋市の市民税均等割額（年額）は3,300円、愛知県の県民税均等割額（年額）は2,000円で、それぞれの所得割額の税率は、市民税が5.7%、県民税が4%である。

住民税の課税所得金額は以下のように求める。

給与所得金額＝2,760,000円×0.7－180,000円＝1,752,000円

給与所得金額－所得控除額（社会保険料控除＋基礎控除）

＝1,752,000円－（414,094円＋330,000円）＝1,007,906円（課税所得金額）

市民税と県民税の所得割額（年額）は、この課税所得金額に各税率を乗じた額から調整控除額を差し引き、100円未満を切り捨てた額である。

市民税＝1,007,906円×0.057－1,500円（調整控除額）≒55,900円

県民税＝1,007,906円×0.04－1,000円（調整控除額）≒39,300円

したがって、住民税額（年額）は、3,300円＋2,000円＋55,900円＋39,300円＝100,500円となり、1カ月当たりでは**8,375円**である。

③税（所得税と住民税）の合計（月額）は、下記の通りとなる。

4,679円＋8,375円＝**13,054円**

非消費支出の合計（月額）＝34,508円＋13,054円＝**47,562円**

(12) 予備費

「3. 算定の方法」の(11)で述べたように、予備費は、消費支出の1割である。

総括表

最低生計費試算結果（若年単身世帯モデル：25歳男性・25歳女性） 月額（円）

地域	愛知県 名古屋市		愛知県 名古屋市	新潟県 新潟市	静岡県 静岡市	北海道 札幌市
調査年	2015年調査		2010年調査	2015年調査	2015年調査	2016年調査
	25歳男性	25歳女性	25歳男性			
居住面積（賃貸）	1K・25㎡					
A 消費支出（1～10）	163,083	163,213	167,180	177,018	181,897	163,805
1 食料	38,457	31,711	40,995	39,597	40,253	39,991
2 住居	45,000	45,000	47,000	38,000	38,000	32,000
3 光熱・水道	7,510	6,551	7,837	11,064	7,559	10,206
4 家具・家事用品	3,480	3,600	3,849	3,765	3,883	4,071
5 被服・履物	8,426	8,406	4,763	6,951	7,521	5,828
6 保健医療	2,186	5,016	2,465	4,188	3,255	4,558
7 交通・通信	19,062	18,872	18,635	40,335	43,356	16,660
8 教育	—	—	—	—	—	—
9 教養娯楽	17,745	17,764	17,262	14,970	18,408	30,068
10 その他	21,217	26,293	24,378	18,148	19,662	20,423
B 非消費支出	47,562	47,562	39,046	47,287	46,662	44,878
C 予備費	16,300	16,300	17,000	17,700	18,100	16,300
最低生計費（税抜き）A+C	179,383	179,513	184,184	194,718	199,997	180,105
D 同上（税込み）A+B+C	226,945	227,075	223,230	242,005	246,659	224,983
同上（税込み）年額 D×12	2,723,340	2,724,900	2,678,760	2,904,060	2,959,908	2,699,796
必要最低賃金額（173.8時間換算）	1,306円	1,307円	1,284円	1,392円	1,419円	1,295円
同上（150時間換算）	1,513円	1,514円	1,488円	1,613円	1,644円	1,500円

注1) 予備費＝消費支出×10%（愛知県2015年調査は100円未満切り捨て。各試算で端数処理が異なる）。

2) 非消費支出は、社会保険料（厚生年金＋協会けんぽ＋雇用保険）と税額（所得税＋住民税）の合計である。

3) 勤務先から「通勤手当」が支給される場合は、交通・通信費から月額通勤手当分（愛知県2015年調査では、通勤定期代1カ月分の8,903円）を差し引くことになり、愛知県2015年調査の最低生計費（税抜き）は、男性＝169,580円、女性＝169,710円に減少する。

4) 必要最低賃金額は、中央最低賃金審議会が用いている月173.8時間労働と全労連がめざす年間1,800時間（月150時間労働）の場合とを比較している。

4-2. 30代夫婦と未婚子二世帯モデル

(1) 食料費の算定

30代世帯モデル（30代の夫婦・小学生と幼稚園児の4人家族）の設定で述べたように、小学生は8～9歳（女性）、幼稚園児は3～5歳（男性）として算定する。

「3. 算定の方法」の（1）の表4より、すべて家で食事した（弁当持参を含む）と仮定すれば、家族4人の1カ月の食費は（946.83円＋775.72円＋685.51円＋517.06円）×30日＝87,754円となる。

30代世帯の生活実態調査によると、朝食は「家でしっかり食べる」（80.2%）が最も多く、次いで「家で牛乳やコーヒーなどで済ます」（8.9%）であり、夕食についても「家で家族と食べる」（90.1%）、「家で一人で食べる」（6.9%）という結果であったので、家族4人とも朝食と夕食は家で食べるものとした。

昼食については、「家から弁当持参」（39.6%）が最も多く、次いで「職場の給食を食べる」（26.7%）、「弁当やパンなどを買って職場で食べる」（15.8%）と続いていた。つまり、弁当持参派が約4割と外食派が約6割である。したがって、夫については、弁当持参と外食を半々とし、妻については、専業主婦またはパートという設定から家で食べる（弁当持参を含む）ものとした。小学生と幼稚園児については、名古屋市立の小学校および市内の私立幼稚園に通っているという設定から、給食実施日の昼食は学校ないし園で給食とし、それ以外は家で食べるものとした。

昼食の外食は、コンビニ弁当を購入するものとし（「3. 算定の方法」の（1）の表5）、生活実態調査結果の外食（昼食）代の平均は1食約525円であったこと、若年単身世帯モデルの昼食代を1食500円としたことを考慮して、1食の費用を500円とした。小学校と幼稚園の給食のエネルギー量と費用は表5の通りとする。

仕事の後や休日にお酒やお茶を飲んだり会食したり（以下、会食）する回数について、生活実態調査結果では、回答の多い順に、「月に1～2回程度」（47.5%）、「ほとんどない」（36.6%）、「月に3～4回程度」（11.9%）、「週に1～2回程度」（4%）となっており、会食1回の平均費用は約4,386円（最頻値は5,000円）であった。月に1回以上の回答が6割を超えるが、ほとんど会食しない回答も約4割あることから、夫と妻それぞれ月に1回の会食をするものとし、1回の費用を、夫は3,500円、妻は2,500円とした。小学生と幼稚園児の会食は、月に1回で費用は1,000円とした。会食の内容とエネルギー量は「3. 算定の方法」の（1）の表6による。

以上に述べた朝食・昼食・夕食の取り方と外食（コンビニ弁当・学校および園給食・会食）のエネルギー量・回数・費用をもとに、各家族構成員の1カ月の食料費を算出した。

①夫（30代男性）

家での食事	70,626 kcal	25,234 円	(946.83 円×70,626kcal÷2,650kcal)
昼食（外食）	7,300 kcal	5,000 円	(1食730 kcalで500円、10食分)
会食（1回）	1,574 kcal	3,500 円	
廃棄分（5%）	3,531 kcal	1,262 円	(946.83 円×3,531kcal÷2,650kcal)
合計	83,031 kcal	34,996 円	

注1) 「家での食事」のエネルギー量は、1カ月のエネルギー必要量（30代男性は79,500kcal）から昼食（外食や給食）と会食分を減じたもの。以下、②～④まで同様。

2) 廃棄分（5%）は、「家での食事」のエネルギー量の5%のこと。以下、②～④まで同様。

3) () 内の食料費の計算方法は、数値が異なるだけで②～④まで同様のため、以下では省略。

②妻（30代女性）

家での食事	58,966 kcal	22,871 円	
会食（1回）	1,034 kcal	2,500 円	

廃棄分 (5%)	2,948 kcal	1,144 円
合計	62,948 kcal	26,515 円

③小学性 (8~9 歳女性)

家での食事	40,175 kcal	16,200 円
昼食 (給食)	9,973 kcal	3,800 円
会食 (1 回)	852 kcal	1,000 円
廃棄分 (5%)	2,009 kcal	810 円
合計	53,009 kcal	21,810 円

㊤小学校給食

年間 187 日
 月額 3,800 円、1 食 640kcal
 年間 $640 \times 187 = 119,680 \text{kcal}$
 月平均 $119,680 \div 12 \approx 9,973 \text{kcal}$

④幼稚園児 (3~5 歳男性)

家での食事	30,798 kcal	12,250 円
昼食 (給食)	7,500 kcal	4,000 円
会食 (1 回)	702 kcal	1,000 円
廃棄分 (5%)	1,540 kcal	613 円
合計	40,540 kcal	17,863 円

㊤幼稚園給食

年間 180 日
 月額 4,000 円、1 食 500kcal
 年間 $500 \times 180 = 90,000 \text{kcal}$
 月平均 $90,000 \div 12 \approx 7,500 \text{kcal}$

1 カ月の食料費 (4 人計) 101,184 円

(2) 住居費の算定

「3. 算定の方法」の(2)で述べたように、民間賃貸住宅(42.5~45 m²、間取り 2LDK・3DK)の家賃の大半は月額 5 万円台~6 万円台で、最低が築 28 年で 4.8 万円、最高が築 17 年で 8.2 万円であった。他方、生活実態調査(名古屋市在住の 30 代世帯)で家賃を回答した者は 23 人おり、金額は最高の 10 万円から最低の 2.1 万円までバラついている(平均は約 6.5 万円)。更新料の回答者は 8 人で、金額は 0 円から 2.1 万円とこちらも大きくバラついている。以上の点から、ここでは、築年数も考慮して、家賃(2LDK で 45 m²、築 30 年)を月額 **52,000 円**と想定し、若年単身世帯モデルと同様に更新料はないものとした。

家賃	月	52,000 円 (共益費は、「交際費・その他」の項目で計上)
更新料		0 円
合計		52,000 円

(3) 光熱・水道費の算定

30 代核家族の光熱・水道費は、「3. 算定の方法」の(3)の表 7 より、月額 **19,961 円**と推計した。

(4) 家具・家事用品費の算定

家具・家事用品費については、「3. 算定の方法」の(4)で述べた方法にもとづいて、品目・価格・使用年数・消費量等を算定した。

設備機器・家事用耐久財および冷暖房機器

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
温水洗浄便座	39,800	6	1	553	
電子・ガスレンジ	19,800	6	1	275	
自動炊飯器	12,800	6	1	178	5.5 合、IH
電気冷蔵庫	178,000	6	1	2,472	500L

電気掃除機	18,000	6	1	250	
電気洗濯機	36,800	6	1	511	全自動 7 kg
ガステーブル	22,800	6	1	317	2 口
トースター	4,480	6	1	62	
電気アイロン	1,980	6	1	28	
電気ポット	2,680	6	1	37	ケトル、1L
ホットプレート	8,980	6	1	125	
ルームエアコン	69,800	6	2	1,939	木造 6 畳まで 2.2KW
ホットカーペット	3,990	6	1	55	
扇風機	4,980	6	1	69	45W 位
小 計				6,871	

注 1) 価格は消費税抜きで、単位は円。

2) 各品目の月価格の合計金額と小計の金額は、端数処理のため必ずしも一致しない。以下同様。

居間・寝室用家具および室内装備品、寝具類

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
整理ダンス (作り付け除く)	14,630	15	1	81	4 段チェスト (83×41×88)
洋服ダンス (作り付け除く)	18,800	15	1	104	
カラーボックス (ラック)	1,380	3	2	77	3 段タイプ
ソファ	27,592	8	1	287	
腰掛机・学習机 (椅子含む)	46,112	15	1	256	小学・中学・高校
本箱・本棚	3,685	15	1	20	44×30×94
食器戸棚	29,800	15	1	166	
洋式食卓セット (椅子含む)	49,800	15	1	277	4 人掛け
掛 (柱) 時計	1,289	8	1	13	
目覚まし時計	928	8	1	10	
蛍光灯の傘 (照明器具)	16,800	8	3	525	1 灯、LED
カーテン	2,980	3	4	331	
敷き布団	4,320	4	4	360	シングル。調査結果では、消費量は 2 だが、4 とした。
掛け布団	3,813	4	4	318	シングル。調査結果では、消費量は 3 だが、4 とした。
タオルケット	1,931	2	4	322	調査結果では、消費量は 3 だが、4 とした。
毛布	2,252	3	4	250	同上
シーツ	1,613	2	4	269	同上
まくら	677	3	4	75	同上
布団カバー	1,940	2	4	323	同上
まくらカバー	350	2	4	58	同上
小 計				4,123	

家事雑貨

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
----	----	------	-----	-----	-------------

ごはん茶わん	193	2	4	32	
湯飲み茶碗	276	2	4	46	
どんぶり	431	2	3	54	
コーヒー（ティー）カップ	203	2	4	34	マグカップタイプ
吸い物わん	221	2	4	37	
盛り皿・盛りばち（洋）	433	2	4	72	
スープ皿	384	2	3	48	
パン・ケーキ皿	137	2	4	23	
グラタン皿	357	2	2	30	
小皿（和皿）	251	2	4	42	
コップ	128	2	6	32	ガラス製
スプーン	125	5	6	13	
フォーク	94	5	5	8	
ナイフ	270	5	2	9	
水筒	1,149	5	3	57	
きゅうす	1,029	2	1	43	
砂糖入れ	874	5	1	15	2個セット
しょうゆ差し	399	5	1	7	
弁当箱（ランチャー）	1,226	5	4	82	調査結果では消費量は2だが、4とした。
タッパー	243	5	5	20	
盆	1,254	5	1	21	
大なべ	1,380	5	1	23	20～22 cm
中なべ	952	5	1	16	両手持ち蓋あり
小なべ	864	5	1	14	16～18 cm
フライパン	658	5	2	22	
やかん	1,475	5	1	25	2.5L
米びつ（ハイザー）	656	5	1	11	10 kg～12 kg
水切りかご・ざる	598	4	1	12	直径 21 センチ
ボール	598	5	2	20	
台所用はかり	1,009	5	1	17	
包丁・ナイフ	1,543	5	2	51	包丁
まな板	825	5	1	14	
たわし	138	1	1	12	スポンジタイプ
おろし器	445	5	1	7	
はし・菜ばし	145	5	4	10	はし。調査結果では、消費量は3だが、4とした。
しゃもじ	248	5	1	4	
ふきん	398	1	4	44	3枚入り
フライ返し	193	5	1	3	
泡立て器	237	5	1	4	
物干しざお	598	5	2	20	2.2m～4m に伸縮
ポリバケツ・ゴミ入れ	1,480	5	2	49	ポリバケツ形
くずかご	448	5	2	15	

洗濯用バケツ・かご	674	5	1	11	
タオル	290	1	10	242	
バスタオル	648	1	5	270	
電球（非LED）	180	1	3	23	60W 最低値は2個入り
蛍光灯（非LED）	580	3	3	24	30形と32形の2本セット
裁縫箱	3,140	5	1	52	
裁ちばさみ	1,750	5	1	29	
アイロン台	853	5	1	14	
ドライバー	198	15	1	1	セット
空気入れ	963	5	1	16	
鉢・プランタン	260	5	2	9	
懐中電灯	460	5	1	8	
バスマット	677	2	1	28	
洗面器	294	5	1	5	
小計				1,848	

家事用消耗品

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考（容量・規格等）
ポリ袋	127	-	月2袋	25	45L×10（可燃・不燃用）
ラップ	98	-	月1箱	98	
ティッシュペーパー（箱）	198	-	月2箱	79	5箱
トイレトペーパー	291	-	月4個	97	12ロール
台所洗剤	93	-	月1本	93	
トイレ用洗剤	171	-	月1本	171	
洗濯用洗剤	214	-	月1本	214	
漂白剤	137	-	月1本	137	600ml
小計				915	

合計 13,757 円（消費税込 14,858 円）

（５）被服及び履物費の算定

被服及び履物費については、「3. 算定の方法」の（４）で述べた方法にもとづいて、品目・価格・使用年数・消費量等を算定した。

被服・履物（男性）

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考（容量・規格等）
背広※	11,862	4	2	494	夏物除く
礼服※	22,800	5	1	380	
ジャケット（替上着）※	16,395	4	2	683	ダウンジャケット（スーツにも対応）
替ズボン（ジーンズ含む）	2,030	4	4	163	大人用2、幼児用2
ズボン・Gパン（幼児用）	1,880				
半ズボン	2,485	2	3	177	大人用1、幼児用2
ショートパンツ（幼児用）	880				

パーカー	2,505	2	2	199	大人用 1、幼児用 1
同上 (幼児用)	2,280				
ワイシャツ	1,945	2	3	243	
長袖シャツ	1,965	2	3	246	
半袖シャツ	2,185	2	3	273	
ポロシャツ	2,465	2	3	308	
セーター・カーディガン	2,975	3	2	138	大人用 1、幼児用 1
同上 (幼児用)	1,990				
シャツ (合・冬)	990	1	4	213	肌着 (ヒートテック)、大人用 2、幼児用 2、幼児用の価格は 2 枚セット、
同上 (幼児用)	580				
シャツ (夏)	990	1	4	213	肌着、大人用 2、幼児用 2、幼児用の価格は 2 枚セット
同上 (幼児用)	580				
Tシャツ	917	2	5	149	大人用 2、幼児用 3
同上 (幼児用)	580				
ジャージ	4,850	2	1	202	大人用
トレーナー	3,465	2	2	198	大人用 1、幼児用 1
同上 (幼児用)	1,280				
パンツ・ブリーフ	990	1	10	513	調査結果では消費量は 5 だが、50 代にそろえて 10 とした。
パンツ (幼児用)	480				
スリッパ	448	1	1	37	
サンダル	1,620	2	1	68	
靴※	9,296	2	2	775	
運動靴・スニーカー	2,850	2	2	215	大人用 1、幼児用 1(19cm)
同上 (幼児用)	2,300				
靴下	315	2	7	72	大人用 3、幼児用 4、幼児用の価格は 3 足セット
同上 (幼児用)	580				
手袋	1,310	1	2	218	調査結果では、消費量は 1 だが、2 とした。
ネクタイ※	3,045	2	3	381	
マフラー	1,191	2	2	99	
バンド・ベルト	1,371	2	2	114	
小 計				6,770	

注) 品目名に※印のついた物は、標準価格で算定した。以下同様。

被服・履物 (女性)

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
アンサンブル※	43,000	5	2	1,433	礼服も兼ねる
ワンピース※	6,900	4	2	288	冬物
オーバーコート※	15,000	4	2	625	
ジャケット※	9,900	4	2	413	スーツのような形
スカート	1,000	3	5	132	調査結果では消費量は 3 だが、50 代にそろえて 5 とした (大人 3、小学生 2)。
同上 (小学生用)	880				

スラックス	2,445	4	5	231	ジーンズ含む。調査結果では消費量は2だが、50代にそろえて5とした（大人用3、小学生用2）。
ズボン・Gパン（小学生用）	1,880				
ジャンパー	5,404	4	2	159	ジャケットブルゾン、大人用1、小学生用1
同上（小学生用）	2,232				
ブラウス	1,490	3	3	124	
Tシャツ・ポロシャツ	980	2	5	154	Tシャツ、大人用2、小学生用3
同上（小学生用）	580				
長袖・半袖シャツ	1,980	2	5	413	
セーター・カーディガン	1,980	3	4	210	大人用2、小学生用2
同上（小学生用）	1,800				
スリッパ・キャミソール	1,200	2	4	200	
パンティー	1,390	1	10	679	調査結果では消費量は5だが、50代にそろえて10とした。
パンツ（小学生用）	480				
ブラジャー	3,140	2	5	654	
シャツ（肌着）	1,200	1	4	248	大人用2、小学生用2、小学生用の価格は2枚セット
同上（小学生用）	580				
パジャマ（夏）	2,390	2	2	178	大人用1、小学生用1
同上（小学生用）	1,880				
パジャマ（冬）	2,450	2	2	196	大人用1、小学生用1
同上（小学生用）	2,262				
ジャージ	3,880	2	1	162	小学生用1
スリッパ	398	1	1	33	
サンダル	2,900	2	1	121	
靴・ブーツ※	5,896	2	3	737	ロングブーツ。調査結果では2だが、3とした。
運動靴・スニーカー	3,440	2	2	223	大人用1、小学生用（22cm）1
同上（小学生用）	1,900				
パンティストッキング	500	1	3	125	
ソックス	333	2	7	74	大人用3、小学生用4、小学生用の価格は3足セット
同上（小学生用）	580				
手袋	700	1	2	117	調査結果では、消費量は1だが、2とした。
ベルト	1,495	2	2	125	
エプロン	1,200	1	2	200	
小計				8,253	

クリーニング代

背広（2）・アンサンブル（2）・ワンピース（2）・オーバーコート（女性用、2）の計8着分のクリーニング代（1着1,050円）を想定した。

1,050円×8着÷12カ月＝月額700円

合計 15,723円（消費税込16,981円）

(6) 保健医療費の算定

生活実態調査の結果によれば、30代世帯の平均医療費は月額**9,522円**であった。

保健医療用品

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
体重計	1,179	6	1	16	
救急箱・救急セット	2,950	5	1	49	ケース(1,350)+薬(約1,600)
小計				66	

消費税込で**71円**

合計 9,522円+71円=**9,593円**(消費税込)

(7) 交通・通信費の算定

交通費の算定は、「3. 算定の方法」の(6)で述べたように、夫の通勤は市営地下鉄を利用するものとし、通勤のための交通費(全額本人負担と想定)を、地下鉄2区間の通勤定期代(1カ月当たり**8,903円**)とした。

また、30代世帯モデルでは軽自動車1台(660ccクラス、使用済み年数を7年、使用年数を6年)の所有を想定したので、その費用を下記のように算定した。

自動車関係費：軽乗用車(30代世帯モデル)

費目	金額(円)	備考	6年間の金額(円)	1カ月当たりの額(円)
車両価格(車検基本料込み)	400,000		400,000	5,556
税・保険料(①～⑥)の計	123,685		542,110	7,529
①消費税(8%、取得時)	32,000		32,000	—
②取得税(2%、取得時)	8,000		8,000	—
③軽自動車税(毎年)	7,200		43,200	—
④重量税(1年分)	3,300	2年分6,600円の1/2	19,800	—
⑤自賠責保険料(1年分)	13,185	2年分26,370円の1/2	79,110	—
⑥任意保険料(年額)	60,000	夫婦2名を対象	360,000	—
整備費用(⑦～⑪)の計			267,502	3,715
⑦車検(2年ごと)	13,000	6年間で2回	26,000	—
⑧上記の消費税(8%)	1,040	同上	2,080	—
⑨印紙代	1,100	同上	2,200	—
⑩部品・消耗品の交換費用	*詳細は下表を参照		219,650	—
⑪上記の消費税(8%)			17,572	—
駐車場代(月額)	4,813		—	4,813
ガソリン代(月額)	9,796		—	9,796
合計				31,409

注1) 7年落ち(2009年に初回登録、7万km走行)の中古軽乗用車(660cc)を購入後6年使用する(車検直前に手放す)。

2) Webサイトで条件に合った中古車は19台で、価格(消費税と車検基本料金込み)の最低が28.3万円、最高が89万円、平均が55万円、安い方から3割程度の価格は約40万円(消費税抜き)。2016年6月調査。

3) 消費税率は8%で不変とした。

4) 任意保険の契約内容は、対人賠償無制限、対物賠償無制限、免責金額＝車対車免ゼロ、搭乗者傷害＝1,000 万円で 16 等級とした。

5) 車検と印紙代については、Web サイトで調べた最低価格を採用した。2016 年 6 月調査。

6) ガソリン代については、生活実態調査（30 代世帯）より、自家用車を保有している世帯（バイクを保有している世帯を除く、集計数 70）の自家用車 1 台当たりの月平均額を求めた。

部品・消耗品の交換費用

費 目	交換時期	部品代 (円)	工賃 (円)	交換回 数/6 年	6 年間の金 額 (円)
エンジンオイル	10,000 km ごと	2,000	1,000	8	24,000
オイルフィルター	10,000 km ごと	2,000	1,000	8	24,000
バッテリー交換	4 年間に 1 回	6,000	1,000	2	14,000
冷却水交換	10 万km ごと	3,250	2,100	1	5,350
スパークプラグ	5 万km ごと	2,300	4,000	2	12,600
ヘッドライトバルブ	切れたら	2,000	1,000	1	3,000
タイヤ交換	4 万km ごと	24,000	8,000	2	64,000
ブレーキフルード	車検時	2,000	2,500	2	9,000
フロントブレーキパッド	40,000 km ごと	7,000	5,000	2	24,000
リアブレーキシュー	40,000 km ごと	4,000	9,100	2	26,200
ワイパーブレードラバー	年 1 回	2,000	700	5	13,500
合 計					219,650

注 1) 部品・消耗品の交換費用については、整備工場 2 社に問い合わせ設定した。2016 年 6 月調査。

2) 部品交換時に 12 カ月点検を含むものとした。

3) 購入後 6 年間の走行距離を 85,668km とし、以下のようにして算定した。

上表(自動車関係費)の月額平均ガソリン代(9,796 円)を 2015 年 10 月時点のガソリン価格(123.5 円/ℓ)で除したものに、燃費(軽乗用車:15km/ℓ)を乗じ、それを 12 倍することによって 1 年間の走行距離(14,278km)を算定し、これを 6 倍した。

1 カ月分の自動車関係費 31,409 円 (消費税込)

さらに、移動手段(交通用具)として自転車とヘルメットがある。

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
自転車(大人用)	17,800	2	2	1287	調査結果では消費量は 1 だが、40 代以上とそろえて 2 とした。
同上(小学生用)	13,076				
ヘルメット	2,569	3	1	71	小学生用、使用年数は、スポーツ器具とみなして 3 年
小 計				1,358	

消費税込 1,467 円

30 代世帯モデルの通信費は、「3. 算定の方法」の(6)の表 8 より、月額 17,668 円と推計した。

合計 8,903 円 + 31,409 円 + 1,467 円 + 17,668 円 = 59,447 円 (消費税込)

(8) 教育費の算定

幼稚園児（私立、3～5歳児）と小学生（公立、3・4年）の教育費については、「3. 算定の方法」の(7)で述べた方法により試算した。結果は、下表のとおりである。

幼稚園児の教育費（年額、円）

項 目	3歳	4歳	5歳	1年当たりの 支出者平均額
	支出率	支出率	支出率	
学習費総額				298,333
学校教育費 小計				286,333
授業料	100.0	100.0	100.0	209,000
P T A会費	74.9	75.6	74.9	5,000
その他の学校納付金	100.0	98.4	92.9	41,000
学用品・実験実習材料費	92.5	84.8	83.3	15,000
制服	65.1	32.7	23.5	6,333
その他	92.8	88.5	90.6	10,000
学校外活動費 小計				12,000
図書費	71.4	69.3	71.0	12,000

注1)「支出率」とは各経費を支出した者の比率(%)、「支出者平均額」とは各経費を支出した者の平均額である。

2) 制服の支出者平均額は3歳児の額の1/3とした。

3) かばん・雨傘などの通学用品費は、身の回り用品費で計上したので除外

4) 学習机・いす・本棚・補助学習用のパソコン等の物品費は、家具・家事用品、教養娯楽費で計上したので除外

5) 図書費とは、参考書・問題集・辞書・百科事典・学習用パソコンソフト等の購入費

小計 298,333円 ÷ 12カ月 = 24,861円（月額）

小学生の教育費（年額、円）

項 目	第3学年		第4学年		1学年当たりの 支出者平均額
	支出率	支出者平均額	支出率	支出者平均額	
学校教育費 計		26,000		25,000	25,500
修学旅行・遠足・見学費	83.1	2,000	89.1	3,000	2,500
P T A会費	99.0	3,000	99.3	3,000	3,000
その他の学校納付金	84.2	2,000	79.3	2,000	2,000
学用品・実験実習材料費	99.9	16,000	99.8	14,000	15,000
その他	82.4	3,000	85.4	3,000	3,000

注1)「支出率」とは各経費を支出した者の比率(%)、「支出者平均額」とは各経費を支出した者の平均額である。

2) ランドセル・雨傘などの通学用品費は、身の回り用品費で計上したので除外

小計 25,500円 ÷ 12カ月 = 2,125円（月額）

合計 24,861円 + 2,125円 = **26,986円**（消費税込）

(9) 教養娯楽費の算定

教養娯楽用耐久財・書籍・他の刊行物・教養娯楽用品

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考（容量・規格等）
カラーテレビ	49,800	5	1	830	
ビデオ・HDDレコーダー	52,200	5	1	870	HDD
カメラ・デジカメ	12,300	5	1	205	デジカメ
ビデオカメラ	39,800	5	1	663	
プリンター	22,800	5	1	380	
パソコン（ノート）	59,800	4	1	1,246	
単行本・文庫本	1,313	-	月1冊	1,313	調査結果では月2冊だが、保有率43.6%の低さを考慮して、子どもの絵本・月1冊とした。
水着（男性用）	1,900	2	2	121	調査結果では、消費量は1だが、2とした。大人用1、幼児用1
同上（幼児用）	1,000				
水着（女性用）	8,800	2	2	458	調査結果では、消費量は1だが、2とした。大人用1、小学生用1
同上（小学生用）	2,200				
携帯ゲーム機	12,392	5	1	207	ニンテンドー3DS、アダプター付き
ゲームソフト	2,375	3	3	198	
USBメモリ	1,380	2	2	115	16GB
小計				6,606	

消費税込 7,135 円

教養娯楽サービス費の算定は、下記の通り。

- ・日帰り行楽について

30代世帯の生活実態調査結果では、月に1回が最も多く（49.5%）、ついで0回（25.7%）、2～4回が計23.9%、1回の費用は平均8,169円であった。この結果をふまえて、家族で2カ月に1回（年6回）、1回あたりの費用は10,000円で年に60,000円とした（月あたり費用5,000円）。

- ・一泊以上の旅行について

生活実態調査結果では、年に1回ないし2回が同率で最も多く（34%）、ついで0回（11.9%）、4～5回（7%）となっており、1回の費用は平均51,854円であった。この結果をふまえて、家族で年に1.5回（3年に2回）、1回あたりの費用は60,000円で、年に90,000円とした（月あたり費用7,500円）。

- ・休日（余暇）の過ごし方について

生活実態調査結果（3つまでの回答）では、「家事や育児」がもっとも多く（83.2%）、ついで「自宅で休養」（53.5%）、「日帰りの行楽」（46.5%）、「ショッピング」（25.7%）、「友人・知人との交際」（15.8%）、「スポーツなど体力づくり」（14.9%）、「平和運動などの社会活動」（10.9%）、「持ち帰り残業」（10.9%）と続いている（5%未満の回答項目は省略）。「日帰り行楽」以外に、「ショッピング」や「友人・知人との交際」、「スポーツなど体力づくり」、「社会活動」に一定の回答があることを考慮して、2カ月に1回は、いずれかの活動を行っているとして、1回あたりの費用は（2,000円×3人）+（1,000円×幼児1人）=7,000円を計上する（月あたり費用3,500円）。

小計 5,000円+7,500円+3,500円=月額16,000円

NHK受信料+インターネット接続料¹⁴=1,310円+3,000円=月額**4,310円**

合計 7,135円+16,000円+4,310円=**27,445円** (消費税込)

(10) その他の消費支出の算定

1) 理美容用品費

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
ヘアドライヤー	2,280	6	1	32	
歯ブラシ	99	1	4	33	調査結果では、消費量は3だが、4とした。
ヘアブラシ	539	3	1	15	女性用
カミソリ	98	-	月1本	98	女性用
化粧石鹸	377	-	月1本	377	洗顔用石鹸、チューブ
シャンプー	298	-	月1本	298	詰め替え用
リンス・コンディショナー	298	-	月1本	298	詰め替え用
ボディーシャンプー	173	-	月1本	173	詰め替え用
歯磨き	142	-	月1本	142	
化粧クリーム	569	-	月1本	569	
化粧水	572	-	月1本	572	
乳液	550	-	月1本	550	
ファンデーション	1,200	-	月1本	1,200	
口紅	690	-	月1本	690	
小計				5,047	

消費税込 **5,451円**

2) 理美容サービス費

30代世帯モデル(4人)の家族構成は、30代夫婦と小学生(女性)・幼児(男性)だから、「3. 算定の方法」の(9)の2)より、下記のように算定した。

(4,000円+1,000円)÷2ヵ月+(10,000円+2,000円)÷3ヵ月=**6,500円** (月額)

3) 身の回り用品費

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
傘	795 (750)	2	4	171	大人男性用1、大人女性用1、子ども用2
同上 (幼児・小学生用)	1,280				
雨がつば	480	4	2	37	大人用1、小学生用1
同上 (幼児・小学生用)	1,280				
旅行用かばん・スーツケース	8,424 (4,880)	5	2	222	男性用1、女性用1
ショルダーバッグ (男性)	3,440	5	1	57	
ショルダーバッグ (女性)	2,540	5	2	85	

¹⁴ 若年単身モデルのインターネット接続料と若干異なり、30代・40代・50代世帯モデルでは消費税分を含んでいる。

ハンドバッグ	3,390 (3,900)	5	2	122	男性用 1、女性用 1
ショッピングバッグ	1,000	5	2	33	
リュックサック・デイバッグ	3,383 (4,190)	5	2	94	大人男性用 1、小学生用 1
同上 (幼児・小学生用)	2,280				
ランドセル	35,000	6	1	486	使用年数は「基準」では 5 年だが、 実態に合わせて 6 年とした。
財布※	5,082 (6,050)	5	2	186	男性用 1、女性用 1
腕時計 (男性用) ※	14,477	10	1	121	
腕時計 (女性用) ※	13,000	10	1	108	
帽子 (男性用)	1,515	1	4	444	調査結果では消費量は 3 だが、4 とした。大人男性用 1、大人女性用 1、小学生用 1、幼児用 1
同上 (女性用)	2,200				
同上 (小学生用、女)	680				
同上 (幼児用、男)	934				
ハンカチ	432	1	10	360	
小 計				2,525	

注) () 外の価格は男性用、() 内が女性用。

消費税込 **2,727 円**

4) 交際費・その他

「3. 算定の方法」の(9)の4)で計算したように、下記の通りである。

①結婚式やお葬式・法事

年 3 回 (結婚式=1 回、葬式・法事=2 回) 参加、1 回の費用 12,000 円として計 36,000 円

②お中元やお歳暮

贈らないと想定した。

③見舞金、せん別、お年玉

年間 5 回、1 回の費用=4,000 円として計 20,000 円

④賃貸住宅の共益費 (管理費) は、月 3,000 円とした (年間 36,000 円)

⑤忘年会や新年会、歓送迎会

年間 6 回、1 回 4,000 円として計 24,000 円

⑥労働組合費は、月 2,900 円を想定 (年間 34,800 円)

⑦町内会・自治会費：加入していないと想定した。

⑧その他会費として、夫婦で年間 3,000 円×2 人=6,000 円を想定

小計 (36,000 円+20,000 円+36,000 円+24,000 円+34,800 円+6,000 円) ÷ 12 カ月 = **13,067 円** (月額)

5) 自由裁量費

「3. 算定の方法」の(9)の5)で述べたように、夫婦は各々月 6,000 円、幼児・小学生は各々月 3,000 円だから、

小計 6,000 円×2 人+3,000 円×2 人=**18,000 円** (月額)

合計 5,451 円+6,500 円+2,727 円+13,067 円+18,000 円=**45,745 円** (消費税込)

(11) 非消費支出

「3. 算定の方法」の(10)より、

(609,918 円 (社会保険料) + 215,155 円 (所得税・住民税)) ÷ 12 カ月 = **68,756 円** (月額)

(12) 予備費

「3. 算定の方法」の(11)で述べたように、予備費は、消費支出の1割である。

総括表

最低生計費試算結果（30代夫婦と未婚子2人世帯モデル） 月額（円）

地域	愛知県 名古屋市	静岡県 静岡市	北海道 札幌市	新潟県 新潟市	愛知県 名古屋市
調査年	2015年調査	2015年調査	2016年調査	2015年調査	2010年調査
家族構成	30代男性 30代女性 小学生 幼稚園児			35歳男性 33歳女性 9歳女性	
居住面積（賃貸）	42.5 m ²			40 m ²	
A 消費支出（1～10）	374,200	365,108	360,176	330,939	312,458
1 食料	101,184	100,787	103,494	80,805	92,397
2 住居	52,000	51,000	45,000	50,000	63,000
3 光熱・水道	19,961	17,742	18,088	21,016	17,147
4 家具・家事用品	14,858	13,142	12,788	8,717	9,770
5 被服・履物	16,981	11,317	17,070	11,901	12,721
6 保健医療	9,593	7,396	7,687	12,119	9,779
7 交通・通信	59,447	60,503	54,688	60,449	27,036
8 教育	26,986	26,986	26,986	15,333	14,167
9 教養娯楽	27,445	27,610	31,382	29,883	26,694
10 その他	45,745	48,625	42,993	40,716	39,747
B 非消費支出	68,756	68,480	64,671	62,815	68,115
C 予備費	37,400	36,500	36,000	33,000	31,000
最低生計費（税抜き）A+C	411,600	401,608	396,176	363,939	343,458
D 同上（税込み）A+B+C	480,356	470,088	460,847	426,754	411,573
同上（税込み）年額 D×12	5,764,272	5,641,056	5,530,164	5,121,048	4,938,876

注1) 愛知県2015年調査で、食費などを試算する際の小学生は8～9歳の女性、幼稚園児は3～5歳の男性。

2) 予備費＝消費支出×10%（愛知県2015年調査は100円未満切り捨て。各試算で端数処理が異なる）。

3) 非消費支出は、社会保険料（厚生年金＋協会けんぽ＋雇用保険）と税額（所得税＋住民税）の合計である。

4) 勤務先から「通勤手当」が支給される場合は、交通・通信費から月額通勤手当分（愛知県2015年調査では、通勤定期1カ月分の8,903円）を差し引くことになり、愛知県2015年調査の最低生計費（税抜き）は、401,797円に減少する。

5) 小学生と幼稚園児には、児童手当が毎月合計20,000円支給されるので、その分最低生計費の負担は減少する。

4-3. 40代夫婦と未婚子2人世帯モデル

(1) 食料費の算定

40代世帯モデル（40代の夫婦・中学生・小学生の4人家族）の設定で述べたように、中学生は12～14歳（男性）、小学生は8～9歳（女性）として算定する。

「3. 算定の方法」の（1）の表4より、すべて家で食事した（弁当持参を含む）と仮定すれば、家族4人の1カ月の食費は（946.83円＋775.72円＋980.70円＋685.51円）×30日＝101,663円となる。

40代世帯の生活実態調査によると、朝食は「家でしっかり食べる」（77.5%）が最も多く、次いで「家で牛乳やコーヒーなどで済ます」（7.5%）であり、夕食についても「家で家族と食べる」（87.5%）、「家で一人で食べる」（7.5%）という結果であったので、家族4人とも朝食と夕食は家で食べるものとした。

昼食については、「家から弁当持参」（38.8%）が最も多く、次いで「職場の給食を食べる」（26.3%）、「弁当やパンなどを買って職場で食べる」（12.5%）と続いていた。つまり、弁当持参派が約4割と外食派が約6割である。したがって、夫については、弁当持参と外食を半々とし、妻については、専業主婦またはパートという設定から家で食べる（弁当持参を含む）ものとした。中学生と小学生については、名古屋市立の学校に通っているという設定から、給食実施日の昼食は学校給食とし、それ以外は家で食べるものとした。

昼食の外食は、コンビニ弁当を購入するものとし（「3. 算定の方法」の（1）の表5）、生活実態調査結果の外食（昼食）代の平均は1食約503円であったこと、若年単身世帯モデルの昼食代を1食500円としたことを考慮して、1食の費用を500円とした。中学校と小学校の給食のエネルギー量と費用は表5の通りとする。

仕事の後や休日にお酒やお茶を飲んだり会食したり（以下、会食）する回数について、生活実態調査結果では、回答の多い順に、「ほとんどない」（50%）、「月に1～2回程度」（35%）、「月に3～4回程度」（10%）、「週に1～2回程度」（3.8%）となっており、会食1回の平均費用は約4,720円（最頻値は3,000円）であった。ほとんど会食しない回答と月に1回程度以上会食する回答がほぼ半数に分かれていることをふまえて、夫と妻それぞれ月に1回の会食をするものとし、1回の費用を、夫は3,000円、妻は2,000円とした。中学生と小学生の会食は、月に1回で費用は1,000円とした。会食の内容とエネルギー量は「3. 算定の方法」の（1）の表6による。

以上に述べた朝食・昼食・夕食の取り方と外食（コンビニ弁当・学校給食・会食）のエネルギー量・回数・費用をもとに、各家族構成員の1カ月の食料費を算出した。

①夫（40代男性）

家での食事	70,626 kcal	25,234 円	(946.83 円×70,626kcal÷2,650kcal)
昼食（外食）	7,300 kcal	5,000 円	(1 食 730kcal で 500 円、10 食分)
会食（1回）	1,574 kcal	3,000 円	
廃棄分（5%）	3,531 kcal	1,262 円	(946.83 円×3,531kcal÷2,650kcal)
合計	83,031 kcal	34,496 円	

注1)「家での食事」のエネルギー量は、1カ月のエネルギー必要量（40代男性は79,500kcal）から昼食（外食や給食）と会食分を減じたもの。以下、②～④まで同様。

2) 廃棄分（5%）は、「家での食事」のエネルギー量の5%のこと。以下、②～④まで同様。

3)（ ）内の食料費の計算方法は、数値が異なるだけで②～④まで同様のため、以下では省略。

②妻（40代女性）

家での食事	58,966 kcal	22,870 円	
会食（1回）	1,034 kcal	2,000 円	

廃棄分 (5%)	2,948 kcal	1,144 円
合計	62,948 kcal	26,014 円

③中学生 (12~14 歳男性)

家での食事	64,711 kcal	24,409 円
昼食 (給食)	12,437 kcal	4,247 円
会食 (1 回)	852 kcal	1,000 円
廃棄分 (5%)	3,236 kcal	1,220 円
合計	81,236 kcal	30,876 円

㊤中学校給食

年間 182 日、 1 食 280 円・820kcal
 月額 $182 \times 280 \div 12 \div 4,247$ 円
 年間 $820 \times 182 = 149,240$ kcal
 月平均 $149,240 \div 12 \div 12,437$ kcal

④小学性 (8~9 歳女性)

家での食事	40,175 kcal	16,200 円
昼食 (給食)	9,973 kcal	3,800 円
会食 (1 回)	852 kcal	1,000 円
廃棄分 (5%)	2,009 kcal	810 円
合計	53,009 kcal	21,810 円

㊤小学校給食

年間 187 日
 月額 3,800 円、1 食 640kcal
 年間 $640 \times 187 = 119,680$ kcal
 月平均 $119,680 \div 12 \div 9,973$ kcal

1 カ月の食料費 (4 人計) 113,196 円

(2) 住居費の算定

「3. 算定の方法」の(2)で述べたように、民間賃貸住宅(47.5~50 m²、間取り 3DK)の家賃の半数は月額 5 万円台(築 33 年で 5 万円、築 28 年と 34 年で 5.5 万円、築 34 年で 5.7 万円)であった。他方、生活実態調査(名古屋市中住の 40 代世帯)で家賃を回答した者は 4 人と少なく、金額のバラツキが大きいこと、更新料も有額回答した者は 1 人にすぎなかった。以上の点から、ここでは、築年数も考慮して、家賃(3DK で 47.5 m²、築 28 年)を月額 **55,000 円**と想定し、若年単身世帯モデルと同様に更新料はないものとした。

家賃	月	55,000 円 (共益費は、「交際費・その他」の項目で計上)
更新料		0 円
合計		55,000 円

(3) 光熱・水道費の算定

40 代世帯モデルの光熱・水道費は、「3. 算定の方法」の表 7 より、月額 **19,961 円**と推計した。

(4) 家具・家事用品費の算定

家具・家事用品費については、「3. 算定の方法」の(4)で述べた方法にもとづいて、品目・価格・使用年数・消費量等を算定した。

設備機器・家事用耐久財および冷暖房機器

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
温水洗浄便座	39,800	6	1	553	
電子・ガスレンジ	19,800	6	1	275	
自動炊飯器	12,800	6	1	178	5.5 合、IH
電気冷蔵庫	178,000	6	1	2,472	500L

電気掃除機	18,000	6	1	250	
電気洗濯機	36,800	6	1	511	全自動 7 kg
ガステーブル	22,800	6	1	317	2口
カセットコンロ	2,800	6	1	39	
トースター	4,480	6	1	62	
電気アイロン	1,980	6	1	28	
電気ポット	2,680	6	1	37	ケトル、1L
ホットプレート	8,980	6	1	125	
ミシン（電動含む）	19,800	6	1	275	
ルームエアコン	69,800	6	2	1,939	木造 6畳まで 2.2KW
電気ストーブ	4,860	6	1	68	
ホットカーペット	3,990	6	1	55	
扇風機	4,980	6	2	138	45W位
小計				7,321	

注 1) 価格は消費税抜きで、単位は円。

2) 各品目の月価格の合計金額と小計の金額は、端数処理のため必ずしも一致しない。以下同様。

居間・寝室用家具および室内装備品、寝具類

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考（容量・規格等）
整理ダンス（作り付け除く）	14,630	15	1	81	4段チェスト（83×41×88）
洋服ダンス（作り付け除く）	18,800	15	1	104	
カラーボックス（ラック）	1,380	3	2	77	3段タイプ
腰掛机・学習机（椅子含む）	46,112	15	2	512	小学・中学・高校
本箱・本棚	3,685	15	1	20	44×30×94
食器戸棚	29,800	15	1	166	
洋式食卓セット（椅子含む）	49,800	15	1	277	4人掛け
掛（柱）時計	1,289	8	1	13	
目覚まし時計	928	8	2	19	
蛍光灯の傘（照明器具）	16,800	8	5	875	1灯、LED
カーテン	2,980	3	5	414	
座布団	1,289	4	4	107	
敷き布団	4,320	4	4	360	シングル。調査結果では、消費量は3だが、4とした。
掛け布団	3,813	4	4	318	シングル
タオルケット	1,931	2	4	322	
毛布	2,252	3	4	250	
シーツ	1,613	2	4	269	
まくら	677	3	4	75	
布団カバー	1,940	2	4	323	
まくらカバー	350	2	4	58	
小計				4,642	

家事雑貨

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考（容量・規格等）
ごはん茶わん	193	2	5	40	
湯飲み茶碗	276	2	5	58	
どんぶり	431	2	4	72	
コーヒー（ティー）カップ	203	2	5	42	マグカップタイプ
吸い物わん	221	2	5	46	
盛り皿・盛りばち（洋）	433	2	4	72	
スープ皿	384	2	4	64	
パン・ケーキ皿	137	2	5	29	
グラタン皿	357	2	4	60	
盛り皿（和皿）	722	2	2	60	
中皿（和皿）	290	2	5	60	
小皿（和皿）	251	2	5	52	
コップ	128	2	8	43	ガラス製
スプーン	125	5	7	15	
フォーク	94	5	6	9	
ナイフ	270	5	3	14	
水筒	1,149	5	4	77	
きゅうす	1,029	2	1	43	
砂糖入れ	874	5	1	15	2個セット
しょうゆ差し	399	5	1	7	
弁当箱（ランチャー）	1,226	5	4	82	調査結果では、消費量は3だが、4とした。
タッパー	243	5	5	20	
盆	1,254	5	1	21	
大なべ	1,380	5	1	23	20～22 cm
中なべ	952	5	1	16	両手持ち蓋あり
小なべ	864	5	1	14	16～18 cm
フライパン	658	5	2	22	
やかん	1,475	5	1	25	2.5L
米びつ（ハイザー）	656	5	1	11	10 kg～12 kg
水切りかご・ざる	598	4	1	12	直径 21 センチ
ボール	598	5	3	30	
台所用はかり	1,009	5	1	17	
包丁・ナイフ	1,543	5	3	77	包丁
まな板	825	5	2	28	
たわし	138	1	1	12	スポンジタイプ
おろし器	445	5	1	7	
はし・菜ばし	145	5	4	10	はし。調査結果では、消費量は3だが、4とした。
しゃもじ	248	5	2	8	
ふきん	398	1	4	44	3枚入り

フライ返し	193	5	1	3	
泡立て器	237	5	1	4	
物干しざお	598	5	2	20	2.2m～4m に伸縮
ポリバケツ・ゴミ入れ	1,480	5	2	49	ポリバケツ形
くずかご	448	5	4	30	
洗濯用バケツ・かご	674	5	1	11	
タオル	290	1	15	363	
バスタオル	648	1	6	324	
電球 (LED)	1,280	8	3	40	40 形
蛍光灯 (非 LED)	580	3	4	32	30 形と 32 形の 2 本セット
裁縫箱	3,140	5	1	52	
裁ちばさみ	1,750	5	1	29	
アイロン台	853	5	1	14	
ドライバー	198	15	1	1	セット
金づち	639	15	1	4	
空気入れ	963	5	1	16	
鉢・プランタン	260	5	3	13	
玄関マット	1,798	5	1	30	
懐中電灯	460	5	2	15	
傘立て	1,316	5	1	22	
下駄箱 (作り付けを除く)	9,074	15	1	50	
バスマット	677	2	2	56	
洗面器	294	5	1	5	
小 計				2,539	

家事用消耗品

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
ポリ袋	127	-	月 5 袋	64	45L×10 (可燃・不燃用)
ラップ	98	-	月 1 箱	98	
ティッシュペーパー (箱)	198	-	月 2 箱	79	5 箱
トイレトペーパー	291	-	月 5 個	121	12 ロール
台所洗剤	93	-	月 1 本	93	
トイレ用洗剤	171	-	月 1 本	171	
洗濯用洗剤	214	-	月 1 本	214	
漂白剤	137	-	月 1 本	137	600 ml
小 計				977	

合計 15,479 円 (消費税込 16,717 円)

(5) 被服及び履物費の算定

被服及び履物費については、「3. 算定の方法」の(4)で述べた方法にもとづいて、品目・価格・使用年数・消費量等を算定した。

被服・履物（男性）

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考（容量・規格等）
背広※	11,862	4	2	494	夏物除く
礼服※	22,800	5	1	380	
ジャケット（替上着）※	16,395	4	2	683	ダウンジャケット（スーツにも対応）
替ズボン（ジーンズ含む）	2,030	4	4	169	
半ズボン	2,485	2	3	311	
パーカー	2,505	2	2	209	
ワイシャツ	1,945	2	4	324	
長袖シャツ	1,965	2	5	409	
半袖シャツ	2,185	2	5	455	
ポロシャツ	2,465	2	3	308	
セーター・カーディガン	2,975	3	2	165	
シャツ（合・冬）	990	1	4	330	下着・肌着（ヒートテック）
シャツ（夏）	990	1	4	330	下着・肌着
Tシャツ	917	2	10	382	
ジャージ	4,850	2	2	404	
トレーナー	3,465	2	2	289	
パンツ・ブリーフ	990	1	10	825	調査結果では、消費量は7だが、50代にそろえて10とした。
スリッパ	448	1	1	37	
サンダル	1,620	2	1	68	
靴※	9,296	2	3	1,162	
運動靴・スニーカー	2,850	2	2	238	
靴下	315	2	10	131	
手袋	1,310	1	2	218	
ネクタイ※	3,045	2	5	634	
マフラー	1,191	2	2	99	
バンド・ベルト	1,371	2	2	114	
小計				9,170	

注)品目名に※印のついた物は、標準価格で算定した。以下同様。

被服・履物（女性）

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考（容量・規格等）
アンサンブル※	43,000	5	1	717	礼服も兼ねる
ワンピース※	6,900	4	2	288	冬物
オーバーコート※	15,000	4	2	625	
ジャケット※	9,900	4	2	413	スーツのような形
スカート	1,000	3	5	132	調査結果では、消費量は4だが、50代にそろえて5とした。大人用3、小学生用2
同上（小学生用）	880				

スラックス	2,445	4	5	231	ジーンズ含む。調査結果では、消費量は2だが、50代にそろえて5とした。大人用3、小学生用2
ズボン・Gパン（小学生用）	1,880				
ジャンパー	5,404	4	2	159	ジャケットブルゾン、大人用1、小学生用1
同上（小学生用）	2,232				
ブラウス	1,490	3	3	124	
Tシャツ・ポロシャツ	980	2	8	260	Tシャツ、大人用4、小学生用4
同上（小学生用）	580				
長袖・半袖シャツ	1,980	2	5	413	
セーター・カーディガン	1,980	3	5	260	大人用2、小学生用3
同上（小学生用）	1,800				
スリッパ・キャミソール	1,200	2	4	200	
パンティー	1,390	1	10	679	調査結果では、消費量は8だが、50代にそろえて10とした。大人用5、小学生用5、小学生用の価格は2枚セット
パンツ（小学生用）	480				
ブラジャー	3,140	2	5	654	
シャツ（肌着）	1,200	1	5	273	大人用2、小学生用3、小学生用の価格は2枚セット
同上（小学生用）	580				
パジャマ（夏）	2,390	2	2	178	大人用1、小学生用1
同上（小学生用）	1,880				
パジャマ（冬）	2,450	2	2	196	大人用1、小学生用1
同上（小学生用）	2,262				
ジャージ	3,600	2	2	312	大人用1、小学生用1
同上（小学生用）	3,880				
トレーナー	3,370	2	3	245	大人用1、小学生用2
同上（小学生用）	1,258				
スリッパ	398	1	1	33	
サンダル	2,900	2	2	242	
靴・ブーツ※	5,896	2	4	983	ロングブーツ
運動靴・スニーカー	3,440	2	2	223	大人用1、小学生用（22cm）1
同上（小学生用）	1,900				
パンティストッキング	500	1	5	208	
ソックス	333	2	10	110	大人用5、小学生用5、小学生用の価格は3足セット
同上（小学生用）	580				
手袋	700	1	2	117	調査結果では、消費量は1だが、2とした。
ベルト	1,495	2	2	125	
エプロン	1,200	1	2	200	
小計				8,597	

クリーニング代

背広（2）・アンサンブル（1）・ワンピース（2）・オーバーコート（女性用、2）の計7着分のクリーニ

ング代（1着 1,050円）を想定した。

1,050円×7着÷12カ月≒月額 613円

合計 18,380円（消費税込 19,850円）

（6）保健医療費の算定

生活実態調査の結果によれば、40代世帯の平均医療費は月額 7,000円であった。

保健医療用品

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考（容量・規格等）
体重計	1,179	6	1	16	
救急箱・救急セット	2,950	5	1	49	ケース（1,350）+薬（約 1,600）
小計				66	

消費税込で 71円

合計 7,000円+71円=7,071円（消費税込）

（7）交通・通信費の算定

交通費の算定は、「3. 算定の方法」の（6）で述べたように、夫の通勤は市営地下鉄を利用するものとし、通勤のための交通費（全額本人負担と想定）を、地下鉄2区間の通勤定期代（1カ月当たり 8,903円）とした。

また、40代世帯モデルでは普通自動車1台（2,000ccクラス、使用済み年数を7年、使用年数を6年）の所有を想定したので、その費用を下記のように算定した。

自動車関係費：普通乗用車（40代世帯モデル）

費目	金額（円）	備考	6年間の金額（円）	1カ月当たりの額（円）
車両価格（車検基本料込み）	1,000,000		1,000,000	13,889
税・保険料（①～⑥）の計	245,320		921,920	12,804
①消費税（8%、取得時）	80,000		80,000	—
②取得税（3%、取得時）	30,000		30,000	—
③自動車税（毎年）	45,000		270,000	—
④重量税（1年分）	16,400	2年分 32,800円の1/2	98,400	—
⑤自賠責保険料（1年分）	13,920	2年分 27,840円の1/2	83,520	—
⑥任意保険料（年額）	60,000	夫婦2名を対象	360,000	—
整備費用（⑦～⑪）の計			320,476	4,451
⑦車検（2年ごと）	13,000	6年間で2回	26,000	—
⑧上記の消費税（8%）	1,040	同上	2,080	—
⑨印紙代	1,100	同上	2,200	—
⑩部品・消耗品の交換費用		*詳細は下表を参照	268,700	—
⑪上記の消費税（8%）			21,496	—
駐車場代（月額）	4,813		—	4,813
ガソリン代（月額）	10,083		—	10,083
合計				46,040

注1) 7年落ち(2009年に初回登録、7万km走行)の中古普通乗用車(2000ccクラス)を購入後6年使用する(車検直前に手放す)。

- 2) Webサイトで条件に合った中古車は23台で、価格(消費税と車検基本料金込み)の最低が49.8万円、最高が243.5万円、平均が123.2万円、安い方から3割程度の価格は約100万円(消費税抜き)。2016年6月調査。
- 3) 消費税率は8%で不変とした。
- 4) 任意保険の契約内容は、対人賠償無制限、対物賠償無制限、免責金額=車対車免ゼロ、搭乗者傷害=1,000万円で20等級とした。
- 5) 車検と印紙代については、Webサイトで調べた最低価格を採用した。2016年6月調査。
- 6) ガソリン代については、生活実態調査(40代世帯)より、自家用車を保有している世帯(バイクを保有している世帯を除く、集計数48)の自家用車1台当たりの月平均額を求めた。

部品・消耗品の交換費用

費目	交換時期	部品代 (円)	工賃 (円)	交換回数/6年	6年間の 金額(円)
エンジンオイル	10,000 kmごと	3,000	1,000	6	24,000
オイルフィルター	10,000 kmごと	1,200	1,000	6	13,200
バッテリー交換	4年間に1回	12,000	1,000	2	26,000
冷却水交換	10万kmごと	5,000	2,000	1	7,000
スパークプラグ	10万kmごと	8,000	2,000	1	10,000
ヘッドライトバルブ	切れたら	2,000	2,000	1	4,000
タイヤ交換	4万kmごと	50,000	6,000	2	112,000
ブレーキフルード	車検時	3,000	1,500	2	9,000
フロントブレーキパッド	40,000 kmごと	9,000	4,000	2	26,000
リアブレーキシュー	40,000 kmごと	8,000	4,000	2	24,000
ワイパーブレードラバー	年1回	2,000	700	5	13,500
合計					268,700

注1) 部品・消耗品の交換費用については、整備工場2社に問い合わせ設定した。2016年6月調査。

2) 部品交換時に12カ月点検を含むものとした。

3) 購入後6年間の走行距離を64,662kmとし、以下のようにして算定した。

上表(自動車関係費)の月額平均ガソリン代(10,083円)を2015年10月時点のガソリン価格(123.5円/l)で除したものに、燃費(普通乗用車:11km/l)を乗じ、それを12倍することによって1年間の走行距離(10,777km)を算定し、これを6倍した。

1カ月分の自動車関係費 46,040円(消費税込)

さらに、移動手段(交通用具)として自転車とヘルメットがある。

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
自転車(大人用)	17,800	2	2	1,287	大人用1、小学生用1
同上(小学生用)	13,076				
ヘルメット	2,569	3	2	143	小学生用、使用年数は、スポーツ器具とみなして3年
小計				1,429	

消費税込で1,544円

40代世帯モデルの通信費は、「3. 算定の方法」の(6)の表8より、月額**17,668円**と推計した。

合計 8,903円+46,040円+1,544円+17,668円=**74,155円** (消費税込)

(8) 教育費の算定

小学生(公立、3・4年)と中学生(公立、1~3年)の教育費については、「3. 算定の方法」の(7)により試算した。小学生の教育費は、30代家族と同様で、月額**2,125円**、中学生の教育費は、下表のとおりである。

中学生の教育費(年額、円)

項目	第1学年 支出率	第2学年 支出率	第3学年 支出率	1学年当たりの 支出者平均額
学習費総額				424,333
学校教育費 小計				119,333
修学旅行・遠足・見学費	79.0	89.9	82.2	27,000
学級・児童会・生徒会費	88.8	87.0	89.3	5,000
P T A会費	100.0	100.0	100.0	4,000
その他の学校納付金	84.3	81.8	80.1	5,000
学用品・実験実習材料費	99.7	98.0	97.8	20,000
教科外活動費	92.9	87.9	78.5	38,000
制服	94.9	35.6	39.0	15,333
その他	80.9	57.2	70.0	5,000
学校外活動費 小計				305,000
図書費	68.5	64.5	77.9	13,000
学習塾費	60.6	65.3	84.3	292,000

注1) 「支出率」とは各経費を支出した者の比率(%)、「支出者平均額」とは各経費を支出した者の平均額である。

2) 制服の支出者平均額は第1学年の額の1/3とした。

3) かばん・雨傘などの通学用品費は、身の回り用品費で計上したので除外

4) 学習机・いす・本棚・補助学習用のパソコン等の物品費は、家具・家事用品、教養娯楽費で計上したので除外

5) 図書費とは、参考書・問題集・辞書・百科事典・学習用パソコンソフト等の購入費

小計 424,333円÷12カ月≒**35,361円** (月額)

合計 2,125円+35,361円=**37,486円** (消費税込)

(9) 教養娯楽費の算定

教養娯楽用耐久財・教養娯楽用品

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
カラーテレビ	49,800	5	1	830	
DVD (BD)プレイヤー	5,980	5	1	100	ブルーレイ込み
カメラ・デジカメ	12,300	5	1	205	デジカメ
ビデオカメラ	39,800	5	1	663	

プリンター	22,800	5	1	380	
パソコン（ノート）	59,800	4	1	1,246	
水着（男性用）	1,900	2	2	158	
水着（女性用）	8,800	2	2	458	調査結果では、消費量は1だが、2とした。大人用1、小学生用1
同上（小学生用）	2,200				
携帯ゲーム機	12,392	5	1	207	ニンテンドー3DS、アダプター付き
ゲームソフト	2,375	3	6	396	
USBメモリ	1,380	2	2	115	16GB
小計				4,758	

消費税込で **5,138 円**

教養娯楽サービス費の算定は、下記の通り。

・日帰り行楽について

40代世帯の生活実態調査結果では、月に0回が最も多く（50%）、ついで1回（31.3%）、2～4回が計17.6%、1回の費用は平均11,071円であった。この結果をふまえて、家族で2カ月に1回、1回あたりの費用は11,000円とした（月あたり費用**5,500円**）。

・一泊以上の旅行について

生活実態調査結果では、年に1回が最も多く（37.5%）、ついで2回（27.5%）、3回以上が計14%、1回の費用は平均63,571円であった。この結果をふまえて、家族で年に1.5回（3年に2回）、1回あたりの費用は63,000円で、年に94,500円とした（月あたり費用**7,875円**）。

・休日（余暇）の過ごし方について

生活実態調査結果（3つまでの回答）では、「自宅で休養」が最も多く（69.6%）、ついで「家事や育児」（54.4%）、「ショッピング」（35.4%）、「日帰り行楽」（31.6%）、「スポーツなど体力づくり」（17.7%）、「社会活動（平和・組合・地域活動を含む）」（13.9%）、「友人・知人との交際」（8.9%）、「映画などの鑑賞」（6.3%）、「その他の趣味」（6.3%）、「持ち帰り残業」（7.6%）であった（5%未満の回答項目は省略）。「日帰り行楽」以外に、「ショッピング」・「スポーツなど体力づくり」・「社会活動」・「友人・知人との交際」・「映画などの鑑賞」に一定の回答があることを考慮して、月に1回は、いずれかの活動を行っている想定し、1人2,000円×4人＝**8,000円**を計上する。

小計 5,500円＋7,875円＋8,000円＝月額 **21,375円**

NHK受信料＋インターネット接続料＝1,310円＋3,000円＝月額 **4,310円**

合計 5,138円＋21,375円＋4,310円＝**30,823円**（消費税込）

(10) その他の消費支出の算定

1) 理美容用品費

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考（容量・規格等）
ヘアドライヤー	2,280	6	1	32	
電気カミソリ	3,816	6	1	53	
歯ブラシ	99	1	4	33	
ヘアブラシ	539	3	2	30	女性用
カミソリ	98	-	月1本	98	女性用

化粧石鹸	377	-	月1本	377	洗顔用石鹸、チューブ
シャンプー	298	-	月1本	298	詰め替え用
リンス・コンディショナー	298	-	月1本	298	詰め替え用
ボディーシャンプー	173	-	月1本	173	詰め替え用
歯磨き	142	-	月1本	142	
化粧クリーム	569	-	月1本	569	
化粧水	572	-	月1本	572	
乳液	550	-	月1本	550	
ファンデーション	1,200	-	月1本	1,200	
口紅	690	-	月1本	690	
小計				5,478	

消費税込 5,916 円

2) 理美容サービス費

40代世帯モデル(4人)の家族構成は、40代夫婦と中学生(男性)・小学生(女性)だから、「3. 算定の方法」の(9)の2)より、下記のように算定した。

(4,000円+2,000円)÷2カ月+(10,000円+2,000円)÷3カ月=7,000円(月額)

3) 身の回り用品費

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
傘	795(750)	2	5	204	大人男性(中学生を含む)用2、大人女性用1、小学生用2
同上(小学生用)	1,280				
雨がっぱ	480	4	2	37	大人用1、小学生用1
同上(小学生用)	1,280				
旅行用かばん・スーツケース	8,424(4,880)	5	2	222	男性用1、女性用1
ショルダーバッグ(男性)	3,440	5	2	115	
ショルダーバッグ(女性)	2,540	5	2	85	
ハンドバッグ	3,390(3,900)	5	2	122	男性用1、女性用1
ショッピングバッグ	1,000	5	2	33	
リュックサック・デイバッグ	3,383(4,190)	5	2	94	中学生(男性)用1、小学生用1
同上(小学生用)	2,280				
通学用カバン	3,900	5	1	65	
ランドセル	35,000	6	1	486	使用年数は「基準」では5年だが、実態に合わせて6年とした。
財布※	5,082(6,050)	5	4	371	男性用2、女性用2
腕時計(男性用)※	14,477	10	2	153	2つめの腕時計は最低価格(3,909)で計算
腕時計(女性用)※	13,000	10	1	108	
帽子(男性用)	1,515	1	5	549	大人男性(中学生を含む)用2、大人女性用1、子ども
同上(女性用)	2,200				

同上（小学生用、女）	680				（小学生）女性用 2
ハンカチ	432	1	10	360	
小計				3,004	

注）（ ）外の価格は男性用、（ ）内が女性用。

消費税込 **3,244 円**

4) 交際費・その他

「3. 算定の方法」の（9）の4）で計算したように、下記の通りである。

①結婚式やお葬式・法事

年 3 回（結婚式＝1 回、葬式・法事＝2 回）参加、1 回の費用 17,000 円として計 51,000 円

②お中元やお歳暮

年間 4 軒、1 軒の費用 2,500 円として計 10,000 円

③見舞金、せん別、お年玉

年間 6 回、1 回の費用＝5,000 円として計 30,000 円

④賃貸住宅の共益費（管理費）は、月 3,000 円とした（年間 36,000 円）

⑤忘年会や新年会、歓送迎会

年間 6 回、1 回 5,000 円として計 30,000 円

⑥労働組合費は、月 3,400 円を想定（年間 40,800 円）

⑦町内会・自治会費として、年間 3,000 円（月額 250 円）

⑧その他会費として、夫婦で年間 3,000 円×2 人＝6,000 円を想定

小計（51,000 円＋10,000 円＋30,000 円＋36,000 円＋30,000 円＋40,800 円＋3,000 円＋6,000 円）÷
12 カ月＝**17,233 円**（月額）

5) 自由裁量費

「3. 算定の方法」の（9）の5）で述べたように、夫婦は各々月 6,000 円、小・中学生は各々月 3,000 円だから、

小計 6,000 円×2 人＋3,000 円×2 人＝**18,000 円**（月額）

合計 5,916 円＋7,000 円＋3,244 円＋17,233 円＋18,000 円＝**51,393 円**（消費税込）

(11) 非消費支出

「3. 算定の方法」の（10）より、

（741,223 円（社会保険料）＋285,555 円（所得税・住民税））÷12 カ月＝**85,566 円**（月額）

(12) 予備費

「3. 算定の方法」の（11）で述べたように、予備費は、消費支出の 1 割である。

総括表

最低生計費試算結果（40代夫婦と未婚子2人世帯モデル）

月額（円）

地域	愛知県 名古屋市	新潟県 新潟市	静岡県 静岡市	愛知県 名古屋市	首都圏 さいたま市
調査年	2015年調査	2015年調査	2015年調査	2010年調査	2008年調査
家族構成	40代男性 40代女性 中学生 小学生			43歳男性 40歳女性 13歳男性 9歳女性	
居住面積（賃貸）	47.5㎡	50㎡	47.5㎡	50㎡	
A 消費支出（1～10）	425,652	439,873	402,750	399,076	422,614
1 食料	113,196	112,600	113,089	124,512	123,794
2 住居	55,000	56,000	53,000	65,000	66,667
3 光熱・水道	19,961	22,686	18,474	20,183	20,183
4 家具・家事用品	16,717	11,143	13,947	10,927	12,804
5 被服・履物	19,850	15,827	16,736	13,878	24,173
6 保健医療	7,071	8,900	9,544	11,235	11,235
7 交通・通信	74,155	76,141	62,995	31,630	32,747
8 教育	37,486	46,027	37,486	42,667	42,667
9 教養娯楽	30,823	40,111	26,408	33,694	38,035
10 その他	51,393	50,438	51,071	45,350	50,309
B 非消費支出	85,566	90,324	81,408	85,761	99,038
C 予備費	42,500	43,900	40,200	40,000	42,000
最低生計費（税抜き）A+C	468,152	483,773	442,950	439,076	464,614
D 同上（税込み）A+B+C	553,718	574,097	524,358	524,837	563,652
同上（税込み）年額 D×12	6,644,616	6,889,164	6,292,296	6,298,044	6,763,824

- 注1) 愛知県2015年調査で、食費などを試算する際の中学生は12～14歳の男性、小学生は8～9歳の女性
- 2) 予備費＝消費支出×10%（愛知県2015年調査は100円未満切り捨て。各試算で端数処理が異なる。）
- 3) 非消費支出は、社会保険料（厚生年金＋協会けんぽ＋雇用保険）と税額（所得税＋住民税）の合計である。
- 4) 勤務先から「通勤手当」が支給される場合は、交通・通信費から月額通勤手当分（愛知県2015年調査では、通勤定期代1カ月分の8,903円）を差し引くことになり、愛知県2015年調査の最低生計費（税抜き）は、458,349円に減少する。
- 5) 中学生と小学生には、児童手当が毎月合計20,000円支給されるので、その分最低生計費の負担は減少する。

4-4. 50代夫婦と未婚子2人世帯モデル

(1) 食料費の算定

50代世帯モデル（50代の夫婦・大学生・高校生の4人家族）の設定で述べたように、大学生は18～21歳（男性）、高校生は15～17歳（女性）として算定する。

「3. 算定の方法」の（1）の表4より、すべて家で食事した（弁当持参を含む）と仮定すれば、家族4人の1カ月の食費は（916.53円＋761.63円＋958.69円＋871.79円）×30日＝105,259円となる。

50代世帯の生活実態調査によると、朝食は「家でしっかり食べる」（72.5%）が最も多く、次いで「家で牛乳やコーヒーなどで済ます」（13.0%）であり、夕食についても「家で家族と食べる」（84.1%）、「家で一人で食べる」（11.6%）という結果であったので、家族4人とも朝食と夕食は家で食べるものとした。

昼食については、「家から弁当持参」（40.6%）が最も多く、次いで「職場の給食を食べる」（24.6%）、「弁当やパンなどを買って職場で食べる」（20.3%）と続いていた。つまり、弁当持参派が約4割と外食派が約5割強である。したがって、夫については、弁当持参と外食を半々とし、妻については、専業主婦またはパートという設定から家で食べる（弁当持参を含む）ものとした。大学生については、名古屋市内の大学に通っているという設定から、学食を利用するものとした。高校生については、家から弁当を持参するものとした。

昼食の外食は、コンビニ弁当を購入するものとし（「3. 算定の方法」の（1）の表5）、生活実態調査結果の外食（昼食）代の平均は1食約503円であったこと、若年単身世帯モデルの昼食代を1食500円としたことを考慮して、1食の費用を500円とした（大学の学食は、15%引きで425円とした）。

仕事の後や休日にお酒やお茶を飲んだり会食したり（以下、会食）する回数について、生活実態調査結果では、回答の多い順に、「ほとんどない」（46.4%）、「月に1～2回程度」（33.3%）、「月に3～4回程度」（14.5%）、「週に1～2回程度」（2.9%）となっており、会食1回の平均費用は約3,534円（最頻値は3,000円）であった。ほとんど会食しない回答と月に1回程度以上会食する回答がほぼ半数に分かれていることをふまえて、夫と妻それぞれ月に1回の会食をするものとし、1回の費用を、夫は3,000円、妻は2,000円とした。大学生の会食は、若年単身者（男性）世帯を参考にして、月に1回で費用は2,500円とした。高校生の会食は、月に1回で費用は1,000円とした。会食の内容とエネルギー量は「3. 算定の方法」の（1）の表6による。

以上に述べた朝食・昼食・夕食の取り方と外食（コンビニ弁当・学食・会食）のエネルギー量・回数・費用をもとに、各家族構成員の1カ月の食料費を算出した。

①夫（50代男性）

家での食事	64,626 kcal	24,176 円	(916.53円×64,626kcal÷2,450kcal)
昼食	7,300 kcal	5,000 円	(1食730kcalで500円、10食分)
会食	1,574 kcal	3,000 円	
廃棄分（5%）	3,231 kcal	1,209 円	(916.53円×3,231kcal÷2,450kcal)
合計	76,731 kcal	33,385 円	

注1) 「家での食事」のエネルギー量は、1カ月のエネルギー必要量（50代男性は73,500kcal）から昼食（外食や給食）と会食分を減じたもの。以下、②～④まで同様。

2) 廃棄分（5%）は、「家での食事」のエネルギー量の5%のこと。以下、②～④まで同様。

3) ()内の食料費の計算方法は、数値が異なるだけで②～④まで同様のため、以下では省略。

②妻（50代女性）

家での食事	55,966 kcal	22,434 円
会食	1,034 kcal	2,000 円

廃棄分 (5%)	2,798 kcal	1,122 円
合計	59,798 kcal	25,556 円

③大学生 (18～21 歳男性)

家での食事	63,556 kcal	22,993 円
昼食	14,600 kcal	8,500 円
会食	1,344 kcal	2,500 円
廃棄分 (5%)	3,178 kcal	1,150 円
合計	82,678 kcal	35,143 円

注 4) 昼食の学食代 (425 円×20 日 = 8,500 円) は、県内大学の HP や公式 Facebookなどを参考にした。N 大「おろしトンカツ定食」= 450 円、A 大「まぐろたたき丼」= 475 円、M 大「焼肉丼」= 420 円、AG 大「唐揚げ定食」= 430 円、AK 大「日替わりランチ」= 410 円等を参考して、社会人の昼食代 500 円からは 15%引きで 425 円と想定した。

④高校生 (15～17 歳女性)

家での食事	68,148 kcal	25,831 円
会食	852 kcal	1,000 円
廃棄分 (5%)	3,407 kcal	1,292 円
合計	72,407 kcal	28,122 円

1 カ月の食料費 (4 人計) 122,206 円

(2) 住居費の算定

「3. 算定の方法」の (2) で述べたように、民間賃貸住宅 (50～55 m²、間取り 3DK) の家賃の半数は月額 5～6 万円台であった。他方、生活実態調査 (名古屋市在住の 50 代世帯) で家賃を回答した者は 5 人と少なく、金額のバラツキが大きいこと、更新料も回答した者は 1 人 (0 円) にすぎなかった。以上の点から、ここでは、築年数も考慮して、家賃 (3DK で 51 m²、築 29 年) を月額 **59,000 円**と想定し、若年単身世帯モデルと同様に更新料はないものとした。

家賃	月	59,000 円 (共益費は、「交際費・その他」の項目で計上)
更新料		0 円
合計		59,000 円

(3) 光熱・水道費の算定

50 代世帯モデルの光熱・水道費は、「3. 算定の方法」の (3) の表 7 より、月額 **20,399 円**と推計した。

(4) 家具・家事用品費の算定

家具・家事用品費については、「3. 算定の方法」の (4) で述べた方法にもとづいて、品目・価格・使用年数・消費量等を算定した。

設備機器・家事用耐久財および冷暖房機器

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
温水洗浄便座	39,800	6	1	553	

電子・ガスレンジ	19,800	6	1	275	
自動炊飯器	12,800	6	1	178	5.5合、IH
電気冷蔵庫	178,000	6	1	2,472	500L
電気掃除機	18,000	6	1	250	
電気洗濯機	36,800	6	1	511	全自動 7 kg
ガステーブル	22,800	6	1	317	2口
カセットコンロ	2,800	6	1	39	
トースター	4,480	6	1	62	
電気アイロン	1,980	6	1	28	
電気ポット	2,680	6	1	37	ケトル、1L
ホットプレート	8,980	6	1	125	
ミシン（電動含む）	19,800	6	1	275	
ルームエアコン	69,800	6	2	1,939	木造 6畳まで 2.2KW
電気こたつ	13,797	6	1	192	
電気ストーブ	4,860	6	1	68	
扇風機	4,980	6	2	138	45W位
小計				7,459	

注 1) 価格は消費税抜きで、単位は円。

2) 各品目の月価格の合計金額と小計の金額は、端数処理のため必ずしも一致しない。以下同様。

居間・寝室用家具および室内装備品、寝具類

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考（容量・規格等）
整理ダンス（作り付け除く）	14,630	15	2	163	4段チェスト（83×41×88）
洋服ダンス（作り付け除く）	18,800	15	1	104	
カラーボックス（ラック）	1,380	3	3	115	3段タイプ
腰掛机・学習机（椅子含む）	46,112	15	1	256	小学・中学・高校
本箱・本棚	3,685	15	1	20	44×30×94
食器戸棚	29,800	15	1	166	
洋式食卓セット（椅子含む）	49,800	15	1	277	4人掛け
掛（柱）時計	1,289	8	2	27	
目覚まし時計	928	8	2	19	
蛍光灯の傘（照明器具）	16,800	8	4	700	1灯、LED
カーテン	2,980	3	5	414	
座布団	1,289	4	5	134	
こたつ布団・カバー	5,980	3	1	166	
花瓶	980	5	2	33	
敷き布団	4,320	4	4	360	シングル
掛け布団	3,813	4	4	318	シングル
タオルケット	1,931	2	4	322	
毛布	2,252	3	4	250	
シーツ	1,613	2	5	336	
まくら	677	3	4	75	
布団カバー	1,940	2	4	323	

まくらカバー	350	2	4	58	
小 計				4,636	

家事雑貨

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
ごはん茶わん	193	2	5	40	
湯飲み茶碗	276	2	5	58	
どんぶり	431	2	5	90	
コーヒー (ティー) カップ	203	2	5	42	マグカップタイプ
吸い物わん	221	2	5	46	
盛り皿・盛りばち (洋)	433	2	5	90	
スープ皿	384	2	5	80	
パン・ケーキ皿	137	2	5	29	
グラタン皿	357	2	4	60	
盛り皿 (和皿)	722	2	3	90	
中皿 (和皿)	290	2	5	60	
小皿 (和皿)	251	2	5	52	
コップ	128	2	10	53	ガラス製
スプーン	125	5	8	17	
フォーク	94	5	5	8	
ナイフ	270	5	5	23	
水筒	1,149	5	3	57	
きゅうす	1,029	2	1	43	
砂糖入れ	874	5	1	15	2個セット
しょうゆ差し	399	5	1	7	
弁当箱 (ランチャー)	1,226	5	3	61	
タッパー	243	5	5	20	
盆	1,254	5	2	42	
大なべ	1,380	5	1	23	20~22 cm
中なべ	952	5	1	16	両手持ち蓋あり
小なべ	864	5	1	14	16~18 cm
フライパン	658	5	1	11	
やかん	1,475	5	1	25	2.5L
米びつ (ハイザー)	656	5	1	11	10 kg~12 kg
洗いおけ	487	5	1	8	
水切りかご・ざる	598	4	2	25	直径 21 センチ
ボール	598	5	3	30	
台所用はかり	1,009	5	1	17	
包丁・ナイフ	1,543	5	3	77	包丁
まな板	825	5	2	28	
すり鉢・すりこぎ	859	5	1	14	
たわし	138	1	1	12	スポンジタイプ
おろし器	445	5	1	7	

はし・菜ばし	145	5	4	10	はし
しゃもじ	248	5	2	8	
ふきん	398	1	5	55	3枚入り
フライ返し	193	5	1	3	
泡立て器	237	5	1	4	
物干しざお	598	5	2	20	2.2m～4mに伸縮
ポリバケツ・ゴミ入れ	1,480	5	1	25	ポリバケツ形
くずかご	448	5	4	30	
洗濯用バケツ・かご	674	5	1	11	
ホース	2,111	5	1	35	
タオル	290	1	15	363	
バスタオル	648	1	6	324	
電球（非LED）	180	1	3	45	40形
蛍光灯（非LED）	580	3	3	24	30形と32形の2本セット
裁縫箱	3,140	5	1	52	
裁ちばさみ	1,750	5	1	29	
アイロン台	853	5	1	14	
ドライバー	198	15	1	1	セット
のこぎり	1,410	15	1	8	
金づち	639	15	1	4	
スコップ	629	5	1	10	
空気入れ	963	5	1	16	
鉢・プランタン	260	5	5	22	
玄関マット	1,798	5	1	30	
懐中電灯	460	5	2	15	
傘立て	1,316	5	1	22	
下駄箱（作り付けを除く）	9,074	15	1	50	
バスマット	677	2	2	56	
洗面器	294	5	1	5	
小計				2,692	

家事用消耗品

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考（容量・規格等）
ポリ袋	127	-	月5袋	64	45L×10（可燃・不燃用）
ラップ	98	-	月1箱	98	
ティッシュペーパー（箱）	198	-	月2箱	79	5箱
トイレトペーパー	291	-	月5個	121	12ロール
台所洗剤	93	-	月1本	93	
トイレ用洗剤	171	-	月1本	171	
洗濯用洗剤	214	-	月1本	214	
漂白剤	137	-	月1本	137	600ml
小計				977	

合計 15,764 円（消費税込 17,025 円）

（５）被服及び履物費の算定

被服及び履物費については、「３．算定の方法」の（４）で述べた方法にもとづいて、品目・価格・使用年数・消費量等を算定した。

被服・履物（男性）

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考（容量・規格等）
背広※	11,862	4	3	741	夏物除く
礼服※	22,800	5	1	380	
オーバーコート※	15,102	4	1	315	
ジャケット※	16,395	4	2	683	スーツにも対応
替ズボン（ジーンズ含む）	2,030	4	5	211	
半ズボン	2,485	2	3	311	
パーカー	2,505	2	2	209	
ワイシャツ	1,945	2	5	405	
長袖シャツ	1,965	2	5	409	
半袖シャツ	2,185	2	5	455	
ポロシャツ	2,465	2	4	411	
セーター・カーディガン	2,975	3	3	248	
シャツ（合・冬）	990	1	5	413	下着・肌着（ヒートテック）
シャツ（夏）	990	1	5	413	下着・肌着
Tシャツ	917	2	5	191	
ジャージ	4,850	2	2	404	
トレーナー	3,465	2	2	289	
パンツ・ブリーフ	990	1	10	825	
スリッパ	448	1	2	75	
サンダル	1,620	2	2	135	
靴※	9,296	2	3	1,162	
運動靴・スニーカー	2,850	2	2	238	
靴下	315	2	10	131	
手袋	1,310	1	2	218	
ネクタイ※	3,045	2	5	634	
マフラー	1,191	2	2	99	
バンド・ベルト	1,371	2	2	114	
小計				10,119	

注)品目名に※印のついた物は、標準価格で算定した。以下同様。

被服・履物（女性）

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考（容量・規格等）
喪服一式※	298,000	10	1	2,483	夏冬一式
ゆかた	14,800	2	1	617	
アンサンブル※	43,000	5	1	717	礼服も兼ねる

ワンピース※	6,900	4	2	288	冬物
オーバーコート※	15,000	4	2	625	
ジャケット※	9,900	4	2	413	スーツのような形
スカート	1,000	3	5	139	
スラックス	2,445	4	5	255	ジーンズ含む
ジャンパー	5,404	4	2	225	
ブラウス	1,490	3	4	166	
Tシャツ・ポロシャツ	980	2	7	286	
長袖・半袖シャツ	1,980	2	5	413	
セーター・カーディガン	1,980	3	5	275	
スリッパ・キャミソール	1,200	2	5	250	
パンティー	1,390	1	10	1,158	
ブラジャー	3,140	2	5	654	
シャツ (肌着)	1,200	1	5	500	
パジャマ (夏)	2,390	2	2	199	
パジャマ (冬)	2,450	2	2	204	
ジャージ	3,600	2	2	300	
トレーナー	3,370	2	2	281	
スリッパ	398	1	2	66	
サンダル	2,900	2	2	242	
靴・ブーツ※	5,896	2	4	983	ロングブーツ
運動靴・スニーカー	3,440	2	2	287	
パンティストッキング	500	1	5	208	
ソックス	333	2	10	139	
スカーフ	1,440	2	2	120	
手袋	700	1	2	117	
ベルト	1,495	2	2	125	
エプロン	1,200	1	2	200	
小計				12,935	

クリーニング代

背広 (3)・アンサンブル (1)・ワンピース (2)・オーバーコート (2) の計 8 着分のクリーニング代 (1 着 1,050 円) を想定した。

1,050 円×8 着÷12 カ月=月額 700 円

合計 23,754 円 (消費税込 25,654 円)

(6) 保健医療費の算定

生活実態調査の結果によれば、50 代世帯の平均医療費は月額 11,164 円であった。

保健医療用品

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
----	----	------	-----	-----	-------------

体重計	1,179	6	1	16	
救急箱・救急セット	2,950	5	1	49	ケース (1,350) +薬 (約 1,600)
小計				66	

消費税込で **71 円**

合計 11,164 円 + 71 円 = **11,235 円** (消費税込)

(7) 交通・通信費の算定

交通費の算定は、「3. 算定の方法」の(6)で述べたように、夫の通勤は市営地下鉄を利用するものとし、通勤のための交通費(全額本人負担と想定)を、地下鉄2区間の通勤定期代(1カ月当たり**8,903**円)とした。

また、高校生の通学のための交通費は、地下鉄2区間の通学定期代として1カ月**4,590**円、大学生のそれは、地下鉄5区間の通学定期代として1カ月**6,017**円とした。

1カ月分の通勤費および通学費 19,510 円

また、50代世帯モデルでは普通自動車1台(2,000ccクラス、使用済み年数を7年、使用年数を6年)の所有を想定したので、その費用を下記のように算定した。

自動車関係費：普通乗用車(50代世帯モデル)

費目	金額(円)	備考	6年間の金額(円)	1カ月当たりの額(円)
車両価格(車検基本料込み)	1,000,000		1,000,000	13,889
税・保険料(①～⑥)の計	275,320		1,101,920	15,304
①消費税(8%、取得時)	80,000		80,000	—
②取得税(3%、取得時)	30,000		30,000	—
③自動車税(毎年)	45,000		270,000	—
④重量税(1年分)	16,400	2年分 32,800 円の 1/2	98,400	—
⑤自賠責保険料(1年分)	13,920	2年分 27,840 円の 1/2	83,520	—
⑥任意保険料(年額)	90,000	夫婦2名+長男	540,000	—
整備費用(⑦～⑪)の計			313,780	4,358
⑦車検(2年ごと)	13,000	6年間で2回	26,000	—
⑧上記の消費税(8%)	1,040	同上	2,080	—
⑨印紙代	1,100	同上	2,200	—
⑩部品・消耗品の交換費用	*詳細は下表を参照		262,500	—
⑪上記の消費税(8%)			21,000	—
駐車場代(月額)	4,813		—	4,813
ガソリン代(月額)	8,304		—	8,304
合計				46,668

注1) 7年落ち(2009年に初回登録、7万km走行)の中古普通乗用車(2000ccクラス)を購入後6年使用する(車検直前に手放す)。

2) Webサイトで条件に合った中古車は23台で、価格(消費税と車検基本料込み)の最低が49.8万円、最高が243.5万円、平均が123.2万円、安い方から3割程度の価格は約100万円(消費税抜き)。2016年6月調査。

3) 消費税率は8%で不変とした。

- 4) 任意保険の契約内容は、対人賠償無制限、対物賠償無制限、免責金額＝車対車免ゼロ、搭乗者傷害＝1,000 万円で 20 等級とした。
- 5) 車検と印紙代については、Web サイトで調べた最低価格を採用した。2016 年 6 月調査。
- 6) ガソリン代については、生活実態調査（50 代世帯）より、自家用車を保有している世帯（バイクを保有している世帯を除く、集計数 36）の自家用車 1 台当たりの月平均額を求めた。

部品・消耗品の交換費用

費 目	交換時期	部品代 (円)	工賃 (円)	交換回 数/6 年	6 年間の 金額 (円)
エンジンオイル	10,000 km ごと	3,000	1,000	5	20,000
オイルフィルター	10,000 km ごと	1,200	1,000	5	11,000
バッテリー交換	4 年間に 1 回	12,000	1,000	2	26,000
冷却水交換	10 万 km ごと	5,000	2,000	1	7,000
スパークプラグ	10 万 km ごと	8,000	2,000	1	10,000
ヘッドライトバルブ	切れたら	2,000	2,000	1	4,000
タイヤ交換	4 万 km ごと	50,000	6,000	2	112,000
ブレーキフルード	車検時	3,000	1,500	2	9,000
フロントブレーキパッド	40,000 km ごと	9,000	4,000	2	26,000
リアブレーキシュー	40,000 km ごと	8,000	4,000	2	24,000
ワイパーブレードラバー	年 1 回	2,000	700	5	13,500
合 計					262,500

注 1) 部品・消耗品の交換費用については、整備工場 2 社に問い合わせ設定した。2016 年 6 月調査。

2) 部品交換時に 12 カ月点検を含むものとした。

3) 購入後 6 年間の走行距離を 53,256km とし、以下のようにして算定した。

上表（自動車関係費）の月額平均ガソリン代（8,304 円）を 2015 年 10 月時点のガソリン価格（123.5 円/l）で除したものに、燃費（普通乗用車：11km/l）を乗じ、それを 12 倍することによって 1 年間の走行距離（8,876km）を算定し、これを 6 倍した。

1 カ月分の自動車関係費 46,668 円（消費税込）

交通用具

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考（容量・規格等）
自転車（大人用）	17,800	2	2	1,483	

消費税込で **1,602 円**

50 代世帯モデルの通信費は、「3. 算定の方法」の（6）の表 8 より、月額 **18,135 円** と推計した。

合計 19,510 円 + 46,668 円 + 1,602 円 + 18,135 円 = 85,915 円（消費税込）

（8）教育費の算定

高校生（公立、1～3 年）と大学生（私立、1～4 年、自宅通学生）の教育費については、「3. 算定の方法」の（7）で述べた方法により試算した。結果は、下記のとおりである。

高校生の教育費（年額、円）

項 目	第1学年	第2学年	第3学年	1学年当たりの 支出者平均額
	支出率	支出率	支出率	
学校教育費 計				199,000
修学旅行・遠足・見学費	74.1	93.0	49.1	42,000
学級・児童会・生徒会費	98.6	98.5	98.2	13,000
P T A会費	100.0	100.0	100.0	7,000
その他の学校納付金	100.0	96.5	97.3	29,000
教科書費・教科書以外の図書費	97.0	89.4	84.9	23,000
学用品・実験実習材料費	99.5	93.9	94.0	17,000
教科外活動費	87.5	82.7	71.0	49,000
制服	93.3	39.1	28.8	19,000

注1) 「支出率」とは各経費を支出した者の比率(%)、「支出者平均額」とは各経費を支出した者の平均額である。

2) 制服の支出者平均額は第1学年の額の1/3とした。

3) かばん・雨傘などの通学用品費は、身の回り用品費で計上したので除外

小計 199,000円÷12カ月≒16,583円（月額）

大学生の教育費は、日本学生支援機構『平成26(2014)年度学生生活調査』を用いた。大学昼間部に自宅から私立大学に通う学生の教育にかかる費用は、以下のとおりである。なお、入学金（1年分相当額）を授業料に対する入学料の比率（1年分として7.55%）により加算している。

授業料+入学金（1年分相当額）=1,108,088円（1,030,300円×1.0755）

その他学校納付金=157,600円

修学費=49,100円

課外活動費=30,000円

小計 1,344,788円÷12カ月≒112,066円（月額）

合計 16,583円+112,066円=128,649円

（9）教養娯楽費の算定

教養娯楽用耐久財・書籍・他の刊行物・教養娯楽用品

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考（容量・規格等）
カラーテレビ	49,800	5	2	1,660	
DVD（BD）プレイヤー	5,980	5	1	100	ブルーレイ込み
カメラ・デジカメ	12,300	5	1	205	デジカメ
プリンター	22,800	5	1	380	
パソコン（ノート）	59,800	4	1	1,246	
日刊新聞	2,857	-	1	2,857	
文庫本・単行本	1,335	-	1	1,335	
水着（男性用）	1,900	2	2	158	

水着（女性用）	8,800	2	2	733	
USBメモリ	1,380	2	2	115	16GB
小計			2	8,789	

消費税込で **9,492 円**

教養娯楽サービス費の算定は、下記の通り。

・日帰り行楽について

50代世帯の生活実態調査では、月に0回が最も多く（56.5%）、ついで1回（29%）、2～4回が計13%、1回の費用は平均10,241円であった。この結果をふまえて、家族で3カ月に1回、1回あたりの費用は10,000円とした（月あたり費用**3,333円**）。

・1泊以上の旅行について

生活実態調査では、年に1回が最も多く（36.2%）、ついで0回（31.9%）、2回以上が計30.3%、1回の費用は平均63,182円であった。この結果をふまえて、家族で年に1回、1回あたりの費用は63,000円で、月あたり費用**5,250円**とした。

・休日（余暇）の過ごし方について

生活実態調査結果（3つまでの回答）では、「自宅で休養」が最も多く（68.1%）、ついで「ショッピング」（34.8%）、「家事や育児」（29%）、「社会活動（平和・組合・地域活動を含む）」（23.2%）、「日帰り行楽」（20.3%）、「友人・知人との交際」（17.5%）、「スポーツなど体力づくり」（14.5%）などと続く。「日帰り行楽」以外に、「ショッピング」・「スポーツなど体力づくり」・「社会活動」・「友人・知人との交際」に一定の回答があることを考慮して、月に1回は、いずれかの活動を行っている想定し、1人2,000円×4人=**8,000円**を計上する。

小計 3,333円+5,250円+8,000円=月額 **16,583円**

NHK受信料+インターネット接続料=1,310円+3,000円=月額 **4,310円**

合計 9,492円+16,583円+4,310円=**30,385円**（消費税込）

(10) その他の消費支出の算定

1) 理美容用品費

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考（容量・規格等）
ヘアドライヤー	2,280	6	1	32	
電気カミソリ	3,816	6	1	53	
カミソリ	518	-	月1本	518	男性用（ホルダー+替刃13個）
カミソリ	98	-	月2本	196	女性用
歯ブラシ	99	1	月4本	396	
ヘアブラシ	539	3	2	30	女性用
化粧石鹸	377	-	月1本	377	洗顔用石鹸、チューブ
シャンプー	298	-	月1本	298	詰め替え用
リンス・コンディショナー	298	-	月1本	298	詰め替え用
ボディーシャンプー	173	-	月1本	173	詰め替え用
歯磨き	142	-	月1本	142	

化粧水	572	-	月1本	572	
乳液	550	-	月1本	550	
ファンデーション	1,200	-	月1本	1,200	
口紅	690	-	月1本	690	
小計				5,525	

消費税込 **5,967 円**

2) 理美容サービス費

50代世帯モデルの理美容サービス費については、「3. 算定の方法」の(9)の2)より、50代男性は1回4,000円で2カ月に1回の利用(月当たり2,000円)、50代女性は1回10,000円で3カ月に1回の利用とした(同3,333円)。なお、大学生(男性)は1回4,000円として2カ月に1回の利用(同2,000円)、高校生(女性)は1回4,000円で2カ月に1回の利用とした(同2,000円)。

小計 2,000円+3,333円+2,000円+2,000円=月額 **9,333 円**

身の回り用品

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
傘(男性)	795	2	3	99	
傘(女性)	750	2	2	63	
雨がっぱ	480	4	2	20	
旅行用かばん・スーツケース(男性)	8,424	5	1	140	
旅行用かばん・スーツケース(女性)	4,880	5	1	81	
ショルダーバッグ(男性)	3,440	5	2	115	
ショルダーバッグ(女性)	2,540	5	2	85	
ハンドバッグ(男性)	3,390	5	1	57	
ハンドバッグ(女性)	3,900	5	1	65	
ショッピングバッグ	1,000	5	2	33	
リュックサック・デイバッグ(男性)	3,383	5	1	56	
リュックサック・デイバッグ(女性)	4,190	5	1	70	
通学用カバン	3,900	5	1	65	
財布(男性)※	5,082	5	2	169	
財布(女性)※	6,050	5	2	202	
腕時計(男性用)※	14,477	10	1	121	
腕時計(男性)	3,909	10	1	33	大学生が使用
腕時計(女性用)※	13,000	10	1	108	
腕時計(女性)	3,500	10	1	29	高校生が使用
ネクタイピン	926	5	2	31	
イヤリング・ピアス	1,250	10	3	31	
帽子(男性)	1,515	1	2	253	
帽子(女性)	2,200	1	2	367	
ハンカチ	432	1	10	360	
小計				2,563	

消費税込 **2,865 円**

4) 交際費・その他

「3. 算定の方法」の(9)の4)で計算したように、下記の通りである。

①結婚式やお葬式・法事

年3回(結婚式=1回、葬式・法事=2回)参加、1回の費用20,000円として計60,000円

②お中元やお歳暮

年間6軒、1軒の費用3,000円として計18,000円

③見舞金、せん別、お年玉

年間7回、1回の費用=6,000円として計42,000円

④賃貸住宅の共益費(管理費)は、月3,000円とした(年間36,000円)

⑤忘年会や新年会、歓送迎会

年間6回、1回6,000円として計36,000円

⑥労働組合費は、月3,700円を想定(年間44,400円)

⑦町内会・自治会費として、年間3,000円(月額250円)

⑧その他会費として、年間3,000円×2人=6,000円を想定

小計(60,000円+18,000円+42,000円+36,000円+36,000円+44,400円+3,000円+6,000円)÷
12カ月=20,450円(月額)

5) 自由裁量費

「3. 算定の方法」の(9)の5)で述べたように、夫婦と高校生・大学生は各々月6,000円だから、
小計 6,000円×4人=24,000円(月額)

合計 5,967円+9,333円+2,865円+20,450円+24,000円=62,615円(消費税込)

(11) 非消費支出

「3. 算定の方法」の(10)より、

(1,009,723円(社会保険料)+156,966円(所得税・住民税))÷12カ月=97,224円(月額)

(12) 予備費

「3. 算定の方法」の(11)で述べたように、予備費は、消費支出の1割である。

総括表

最低生計費試算結果（50代夫婦と未婚子2人世帯モデル） 月額（円）

地域	愛知県 名古屋市	静岡県 静岡市	北海道 札幌市	新潟県 新潟市	首都圏 さいたま市
調査年	2015年調査	2015年調査	2016年調査	2015年調査	2008年調査
家族構成	50代男性 50代女性 大学生男性 高校生女性			50代男性 50代女性 大学生女性 高校生男性	53歳男性 50歳女性 20歳男性 16歳女性
居住面積（賃貸）	50 m ²				
A 消費支出（1～10）	563,083	518,641	554,705	573,557	582,887
1 食料	122,206	87,597	122,891	90,349	135,811
2 住居	59,000	55,000	58,000	56,000	66,667
3 光熱・水道	20,399	19,319	19,247	22,548	22,448
4 家具・家事用品	17,025	16,603	16,695	12,180	12,804
5 被服・履物	25,654	23,754	20,142	15,742	28,831
6 保健医療	11,235	11,370	8,882	12,138	13,776
7 交通・通信	85,915	58,100	89,359	76,124	46,760
8 教育	128,649	73,458	128,724	123,225	140,341
9 教養娯楽	30,385	25,994	30,945	29,769	41,951
10 その他	62,615	51,263	59,820	44,356	73,498
11 仕送り	—	96,183	—	91,126	—
B 非消費支出	97,224	94,845	93,029	105,187	110,625
C 予備費	56,300	51,800	55,400	57,300	57,000
最低生計費（税抜き）A+C	619,383	570,441	610,105	630,857	639,887
D 同上（税込み）A+B+C	716,607	665,286	703,134	736,044	750,512
同上（税込み）年額 D×12	8,599,284	7,983,432	8,437,608	8,832,528	9,006,144

- 注1) 愛知県 2015年調査で、食費などを試算する際の大学生は18～21歳の男性、高校生は15～17歳の女性
 2) 予備費＝消費支出×10%（愛知県 2015年調査は100円未満切り捨て。各試算で端数処理が異なる。）
 3) 非消費支出は、社会保険料（厚生年金＋協会けんぽ＋雇用保険）と税額（所得税＋住民税）の合計である。
 4) 勤務先から「通勤手当」が支給される場合は、交通・通信費から月額通勤手当分（愛知県 2015年調査では、通勤定期代1カ月分の8,903円）を差し引くことになり、愛知県 2015年調査の最低生計費（税抜き）は、609,580円に減少する。

おわりに—今回の試算結果をどうみるか

(1) 前回調査や他の調査との比較

若年単身（25歳男性・女性、名古屋市在住）世帯については、**月額約22万7,000円、年額約270万円の生計費（税込み）が必要**であることが明らかになった。

前回調査（2010年）とは若干であるが分析方法に異なる部分があるので、単純に比較することはできない。また、2015年よりも前に実施された他の地域調査との比較についても同様である（ただし、2015年および2016年調査についてはほぼ同じ分析方法を用いている）。しかしながら、どの調査も基本的には同じ「マーケット・バスケット方式（全物量積み上げ方式）」による試算であり、比較が可能と考えてよいだろう。

前回調査と比較すると、税抜きの最低生計費は低くなったが、税込みでは若干上回る結果となった。また、他の地域の調査結果と比較すると、静岡市や新潟市の結果や2008年のさいたま市の結果よりは低かったものの、その他の地域よりは高い結果が出た。ちなみに、サンプル数が少ないので参考値ではあるが、自家用車を所有させた豊橋市や釧路市も名古屋市の結果を上回っている。

今回の調査から言えることの第一は、「現在の最低賃金額はあまりにも低すぎる」ということである。試算結果を時給に換算すると（中央最賃審議会が用いている月173.8時間労働の所定内労働時間）、男性＝1,306円/時間、と女性＝1,307円/時間になった。愛知県の最低賃金額は845円/時間（2016年10月時点）であり、約460円の隔りがある。これは法律上最も長い労働時間で見積もったうえでの比較なので、一般労働者の平均的な労働時間で比較すればさらに両者間の格差は広がる。やはり、最低賃金は低いと言わざるをえない。

第二に言えることは、「最低生計費は全国どこでもほぼ同水準である」という結論である。若者がきちんとした生活をするためには、全国どこでも月額約22～24万円（税・社会保険料込み）が必要であることが分かる。年額に換算すると約270～300万円前後である。自家用車の所有の有無や家賃の違いなどで、地域ごとの差はあるが、少なくとも最低賃金のような地域間格差はない（表9参照）。

表9 各地の最低生計費および最低賃金の比較

	1か月分の生計費(税込、円)	静岡＝100としたときの最低生計費の比較	備考(調査時期)	2016年度の最低賃金額(円)	東京都(932円)＝100としたときの最低賃金の比較
北海道札幌市	224,983	91.2	2016年	786	84.3
北海道釧路市	245,459	99.5		786	84.3
青森県青森市	216,083	87.6		716	76.8
秋田県秋田市	216,944	88.0		716	76.8
岩手県盛岡市	228,664	92.7		716	76.8
山形県山形市	220,284	89.3		717	76.9
宮城県仙台市	221,091	89.6		748	80.3
福島県福島市	221,972	90.0		726	77.9
新潟県新潟市	242,005	98.1	2015年	753	80.8
静岡県静岡市	246,659	100.0		807	86.6
愛知県名古屋市	226,945	92.0		845	90.7
愛知県豊橋市	237,260	96.2		845	90.7

注) 各市ともすべて25歳男性単身世帯の最低生計費で比較した

全国どこに住んだとしても生計費はそれほど変わらないのに、最低賃金では大きな格差が生じている。2016年10月時点で最賃が最も高い東京都と、最低の県（宮崎県、沖縄県）との差は218円である。ほかに隣接する自治体間で比較すると、神奈川県と静岡県は123円、大阪府と和歌山県は130円の差がある。同じ仕事内容なのに、「隣の町のコンビニで働けば時給が100円以上も違う」、「都会に行けば月給が30,000円以上も高い」ということであれば、人口（とくに、若者）は、どんどん賃金の低い地方から高い地方に流出していくだろう。地域の労働力が減少することは、消費購買力も低下することを意味し、やがては地域の活力が失われていく。そうして魅力をなくした地方から都市部へさらに人口が流出するという悪循環が生まれる。

この地域間格差問題は、現在の最低賃金のランク設定によって、ますます深刻になっている。安倍政権は「全国加重平均で1,000円」を目標に掲げている。ところが、全国加重平均で1,000円を達成しても、地方における最低賃金の低水準問題は解決しないし、それどころか地域間格差は拡大してしまうのだ。それは、A~Dの4ランクに分けて中央最賃審から地方最賃審へ引き上げの目安が提示されているが、引き上げ額は人口の多い都市部であるAランクでは高く、人口の少ない地方であるC・Dランクでは低くなる傾向があるからである。このような仕組みが温存されたままで、仮に加重平均で1,000円まで引き上げられたとしても、最低賃金の地域間格差はさらに拡大する。この地域間格差問題を解決するためには、現行のランク制度をいち早く廃止し、全国一律最低賃金制度を実現させなければならない。

30代夫婦と未婚子2人世帯については、未婚子に幼稚園児を追加して未婚子2人と想定したため、未婚子1人で算定している前回の2010年調査や他の地域調査との比較は困難である。おおまかには、**30代夫婦+未婚子2人で、月額約48万円、年額約570万円の生計費（税込み）が必要**であることが明らかになった。

試算にあたって、夫の年収は412万円という設定にしたので、社会保障給付（たとえば、児童手当は年間24万円支給される）でも埋められないこの不足分については、妻の収入か借金で補うか、もしくは消費支出の費目を削って、「健康で文化的な生活」を犠牲にするかのどちらかであろう。経済的には、妻が就労するというのが合理的な選択かもしれないが、子どもを保育園に通わせた場合に希望した保育園に入園できるなどの条件が整っていなければならないだろう。いずれにしろ、年収と最低生計費とのギャップは150万円以上あり、「健康で文化的な生活」を犠牲にしている層があるといえよう。このことについては、後述する。

あえて2010年調査と比較すれば、交通費と教育費の違いが特徴的である。自家用車の所有を認めたことでプラス約32,000円、幼稚園児については私立に通わせたことでプラス約12,000円、それぞれ大きな増大要因となった。さらに、2015年新潟調査の結果と比較すると、新潟の30代夫婦+未婚子1人で、月額約42.6万円、年額約512万円（税込み）の生計費であり、子ども1人分の差が表れていると言えるだろう。

40代夫婦と未婚子2人世帯については、月額約55万円、年額約660万円の生計費（税込み）が必要であることが明らかになった。

この世帯モデルについては、家族構成が比較的似通っているため、2010年調査や2015年新潟調査との比較が可能である（40代夫婦+未婚子2人の総括表を参照）。2010年調査と比較すると、年額で約34万円生計費（税込み）が増えている。これは、食料費（夫の昼食の半分が弁当持参になったためマイナス4,000円など）や住居費（熱田区から中川区に居住地を変更したためマイナス10,000円。なお、これはどの年代でも同じ）等で生計費が減ったものの、交通費で自家用車を所有させたことによりプラス30,000円となったほか、家具・家事用品費や被服費などがそれぞれ6,000円程度増えた等がその要因である。さらに、2015年新潟調査の結果と比較すると、新潟の40代夫婦+未婚子2人では、月額約57.4万円、年額約690万円の生計費（税込み）であり、今回の結果よりも高くなっている。これは、30代と

同じく新潟では自家用車を2台所有させたことや、日帰り行楽や1泊以上の旅行にかかる費用の差などによる。

50代夫婦と未婚子2人世帯については、月額約71万円、年額約860万円の生計費（税込み）が必要であることが明らかになった。

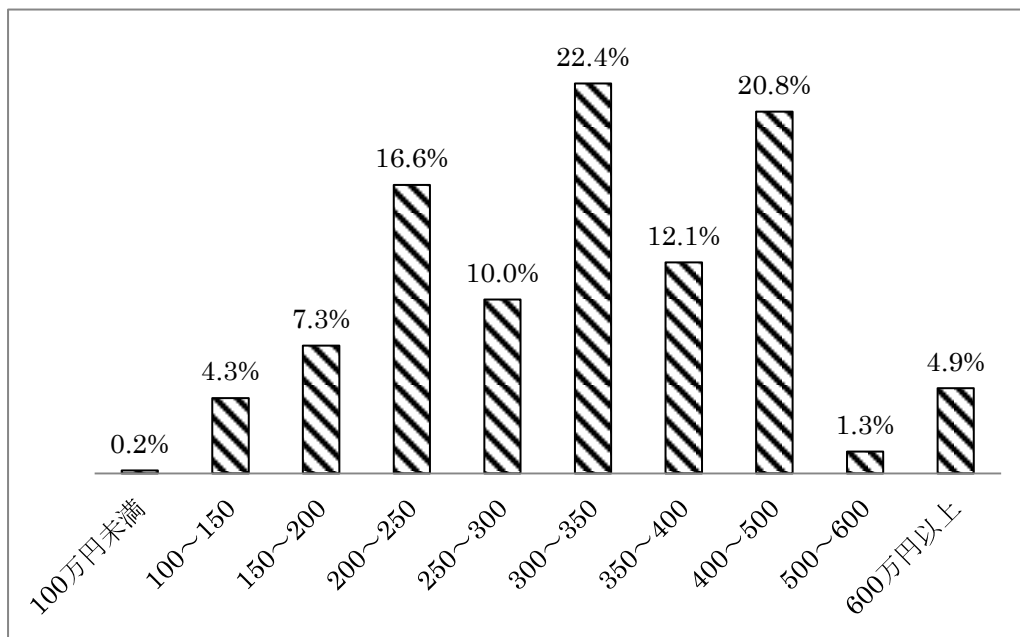
前回の2010年調査でこのモデルの算定は行っていないため、2015年の新潟調査や2015年静岡調査、2008年首都圏調査等と比較する（50代夫婦+未婚子2人の総括表を参照）。年額で比較すると、新潟＝約883万円、静岡＝約798万円、首都圏＝約900万円（それぞれ税込み）となっている。この世帯モデルでは大学生が含まれているが、地元の大学に通わせるか、首都圏にある大学に通わせるか、また私立大学に通わせるか、国公立大学に通わせるか等の設定の違いによって生じた差である。いずれにしろ、大学に進学させることは、生計費に大きな影響を及ぼしていることは共通している。なお、新潟や静岡の食料費が低い、これは大学生の未婚子が首都圏にある大学に進学したと想定しているため、3人分の食料費で算出しているためである。

（2）生計費未達の層

上記の生計費（税込み）に満たないレベルで暮らしている層は、どれくらい存在するのだろうか。総務省『全国消費実態調査』の結果を用いて、推計してみよう（図1～4）。

図1は、単身世帯のうち勤労者で29歳以下の年間収入分布状況をみたものである。年収250万円未満は28.4%であり、**少なくとも3割近くが今回の試算結果（年額約270万円）を下回っている**ことになる。

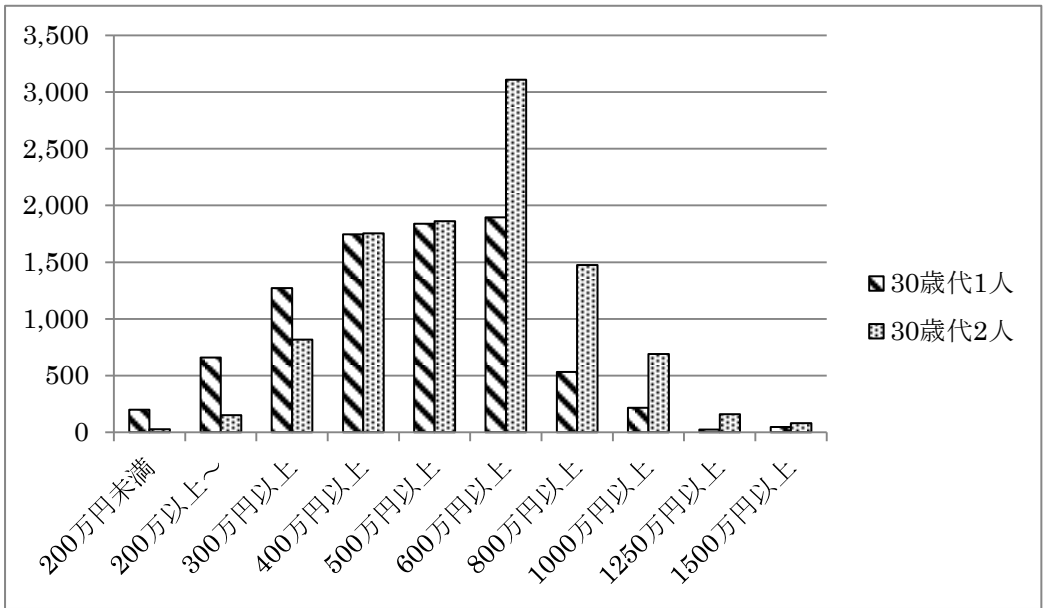
図1 29歳以下、単身世帯うち勤労者世帯の年収分布



（資料）総務省、平成26年全国消費実態調査

図2は、世帯主が30歳代の勤労者世帯における年間収入分布状況をみたものである。有業人員が1人世帯、2人世帯ともに最頻分布帯は年収600～800万円であった。とくに、有業人員が2人だと、この年収帯で著しく増えている。年収の区切りが100万円刻みなので詳細までは不明であるが、有業人員1名の30代世帯で年収500万円未満の割合は46%、同じく2名で27.2%である。**有業人員1名の30代世帯では、少なくとも半数近くが今回の試算結果（年額約570万円）を下回っている**ことになる。

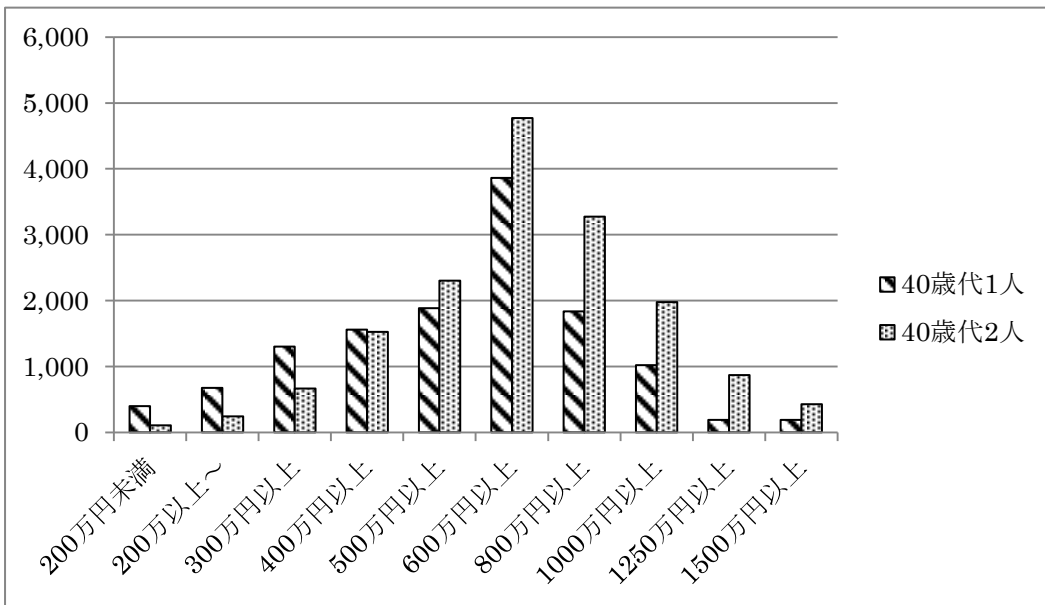
図2 世帯主が30歳代勤労者世帯の年間収入階級別世帯分布（有業人員別）



（資料）総務省、平成26年全国消費実態調査

図3は、世帯主が40歳代の勤労者世帯における年間収入分布状況をみたものである。有業人員が1人世帯、2人世帯ともに最頻分布帯は年収600～800万円であった。この層の多さが際立っている。有業人員1名の40代世帯で年収600万円未満の割合は45.1%、同じく2名で29.9%である。**有業人員1名の40代世帯では、少なくとも半数近くが、有業人員2名の40代世帯では、少なくとも3割が、それぞれ今回の試算結果（年額約660万円）を下回っている。**

図3 世帯主が40歳代勤労者世帯の年間収入階級別世帯分布（有業人員別）

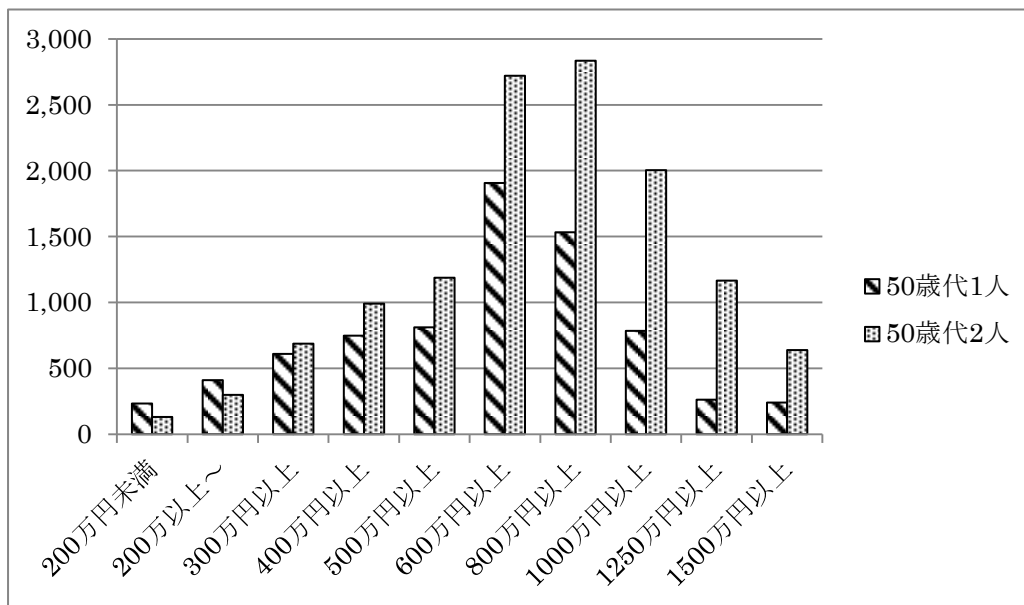


（資料）総務省、平成26年全国消費実態調査

図4は、世帯主が50歳代の勤労者世帯における年間収入分布状況をみたものである。有業人員が1人世帯では年収600万円以上800万円未満が、2人世帯では年収800万円以上1000万円未満が、それぞ

れ最頻分布帯であった。有業人員が1人か2人かで、かなり年収に格差が生じているようである。有業人員1名の50代世帯で年収800万円未満の割合は62.6%、同じく2名で47.5%である。**有業人員1名の50代世帯では、少なくとも6割以上が、有業人員2名の50代世帯では、少なくとも約5割が、それぞれ今回の試算結果（年額約860万円）を下回っていることになる。**

図4 世帯主が50歳代勤労者世帯の年間収入階級別世帯分布（有業人員別）



（資料）総務省、平成26年全国消費実態調査

子どものいる世帯では、年代が上がるほどに生計費未満の層が増大する傾向がある。年代が上がるにつれて子どもの教育費など生計費は上昇していくが、収入はそれに見合うほど上昇しないがために、生計費とのギャップがますます拡大していくのである。前述したように、このギャップを埋めるために妻が就労したり、子どもがアルバイトしたり、あるいは奨学金を借りたりしている。

（3）生活保護費や標準生計費との比較

ここでは、社会保障における最低生活費の基準となっている生活保護や、公務員のみならず、人勸準拠の多い政府関係機関職員、農協職員、社会福祉関係職員、私立学校職員、私立病院職員など、非常に多くの労働者に影響を及ぼしている標準生計費との比較を行ってみよう。

表10 生活保護基準（名古屋市）との比較 月額（円）

	生活扶助 （第1類）	生活扶助 （第2類）	児童養育加 算	教育扶助等	住宅扶助	生活保護基 準	最低生計費 （消費支出）
25歳単身	38,430	40,800	0	0	48,000	127,230	163,083(男性) 163,213(女性)
30代夫婦＋ 未婚子2人	108,380	61,620	20,000	4,840	59,000	253,840	374,200
40代夫婦＋ 未婚子2人	116,870	61,620	20,000	13,580	59,000	271,070	425,652
50代夫婦＋ 未婚子2人	119,970	61,620	0	10,600	59,000	251,190	563,083

表 10 は、今回の試算結果と生活保護基準との比較である。実際には、この生活保護基準額に勤労控除や医療控除などが加わるため、単身世帯で 15,000～20,000 円程度、子どものいる世帯で 40,000 円程度基準額が上がる可能性がある。それでも各年代で、最低生計費との大きなギャップが存在する。

表 11 標準生計費（名古屋市）との比較（単身世帯） 月額（円）

	2015 年調査 愛知県（名古屋市）		愛知県の標準生計費 （2015 年）
	25 歳男性	25 歳女性	1 人
	賃貸アパート 1K25 m ²		
A 消費支出（1～10）	163,083	163,213	107,210
1 食費	38,457	31,711	28,410
2 住居費	45,000	45,000	住居関係費（40,300 円） には、住居、光熱・水道、 家具・家事用品が含まれる
3 光熱・水道	7,510	6,551	
4 家具・家事用品	3,480	3,600	
5 被服・履物	8,426	8,406	4,330
6 保健医療	2,186	5,016	雑費Ⅰ（23,390 円）には、 保健医療、交通・通信、教育、 教養娯楽が含まれる
7 交通・通信	19,062	18,872	
8 教育	—	—	
9 教養娯楽	17,745	17,764	雑費Ⅱ（10,780 円）には、 諸雑費、こづかい、交際費、 仕送り金が含まれる
10 その他	21,217	26,293	
B 予備費	16,300	16,300	—
最低生計費（A+B）	179,383	179,513	107,210

表 12 標準生計費（名古屋市）との比較（子どものいる世帯） 月額（円）

	2015 年調査 愛知県（名古屋市）			名古屋市の標準生計費 （2015 年）
	30 代 4 人	40 代 4 人	50 代 4 人	4 人
居住面積（賃貸）	42.5 m ²	47.5 m ²	50 m ²	
A 消費支出（1～10）	374,200	425,652	563,083	199,810
1 食費	101,184	113,196	122,206	58,810
2 住居費	52,000	55,000	59,000	住居関係費（39,620 円）には、住居、光 熱・水道、家具・家事用品が含まれる
3 光熱・水道	19,961	19,961	20,399	
4 家具・家事用品	14,858	16,717	17,025	
5 被服・履物	16,981	19,850	25,654	8,860
6 保健医療	9,593	7,071	11,235	雑費Ⅰ（64,260 円）には、保健医療、交 通・通信、教育、教養娯楽が含まれる
7 交通・通信	59,447	74,155	85,915	
8 教育	26,986	37,486	128,649	
9 教養娯楽	27,445	30,823	30,385	雑費Ⅱ（28,260 円）には、諸雑費、こづ かい、交際費、仕送り金が含まれる
10 その他	45,745	51,393	62,615	

B予備費	37,400	42,500	56,300	—
最低生計費 (A + B)	411,600	468,152	619,383	199,810

表 11 および表 12 は、今回の試算結果と名古屋市の標準生計費との比較である。最低生計費とのギャップが大きいことが分かる。もはや“標準”とは到底言えない生計費であり、何かを我慢しなければ生活を送れないレベルである。

(4) 民事再生法最低生計費との比較

2001 年、「民事再生法の一部を改正する法律」が施行された。この法改正により、「個人民事再生」が可能となった。「個人民事再生」とは、継続または反復して収入のある人が、今ある財産を処分せずに、借金の支払責任を軽減してもらう裁判上の手続である。この「個人民事再生」の手続は、「小規模個人再生手続」と「給与所得者等再生手続」という 2 つの手続に分かれている。

「個人民事再生」手続が成功した場合には、手続終了後の原則 3 年間で、法律が定める「最低弁済額」以上の金額を分割で返済することにより、全ての債務（借金等）の支払責任が免除されることになるが、「給与所得者等再生手続」における「最低弁済額」の基準には、「最低弁済額は、法律で定められた可処分所得の 2 年分の合計額以上であること」という内容が含まれている（241 条 2 項）。この法律で定められた可処分所得の 2 年分の合計額とは、収入から所得税・住民税・社会保険料および政令が定めた最低限の生活を維持するための費用を引いた金額の 2 年分のことである（241 条 3 項「一年分の費用の額は、再生債務者及びその扶養を受けるべき者の年齢及び居住地域、当該扶養を受けるべき者の数、物価の状況その他一切の事情を勘案して政令で定める」）。この政令（民事再生法第二百四十一条第三項の額を定める政令）には、最低限の生活を維持するための費用（＝最低生計費）の計算方法が示されている。これにより求められる名古屋市における若年単身世帯および 40 代夫婦と子ども 2 人からなる世帯の最低生計費は、表 13～14 のとおりである。

表 13 民事再生法による最低生計費（名古屋市在住 20 代単身世帯）との比較 月額（円）

個人別生活費(食費・被服費など)	41,583
世帯別生活費(家具・光熱費など)	43,917
住居費	35,833
冬季特別生活費	1,333
勤労必要経費	46,250
合計	168,917
最低生計費(若年単身世帯・男性)	163,083
最低生計費(若年単身世帯・女性)	163,213

表 14 民事再生法による最低生計費（名古屋市在住 40 代夫婦・13 歳子・9 歳子の 4 人世帯）との比較 月額（円）

個人別生活費(食費・被服費など)	169,667
世帯別生活費(家具・光熱費など)	58,583
住居費	46,583
冬季特別生活費	2,250

勤労必要経費	46,250
合計	323,333
最低生計費(40代夫婦と子ども2人)	425,652

今回の試算結果と比較すると、若年単身世帯については、消費支出でほぼ同水準、これに予備費を加えるとその分だけ上回る。つまり、民事再生法で規定されているところの最低生計費は、われわれの試算結果に近い水準に達している。しかし先述のとおり、生活保護基準や標準生計費は低く抑えられており、同じ国が定めた基準にもかかわらず、それらに整合性がないのである。

また、40代世帯については、消費支出でも10万円以上の乖離がみられる。とはいえ、生活保護基準や標準生計費を上回っており、やはり制度間に整合性がみられないのである。民事再生法での最低生計費の算出方法では、交通費や教育費の組み込まれ方、教養娯楽費は含まれているのか否か等が不明であり、今後の分析の課題としたい。

愛知県最低生計費試算結果（20代・30代・40代・50代の各世帯モデル）

月額（円）

生計費結果	名古屋市	名古屋市	名古屋市	名古屋市	名古屋市	豊橋市
	25歳単身 （男性）	25歳単身 （女性）	30代夫婦 と子ども 2人（幼 児・小学生）	40代夫婦 と子ども 2人（中学 生・小学生）	50代夫婦 と子ども 2人（大学 生・高校生）	25歳単身 （男性） 参考値
居住面積（賃貸）	25㎡	25㎡	42.5㎡	47.5㎡	50㎡	25㎡
A消費支出（1～10）	163,083	163,213	374,200	425,652	563,083	172,231
1 食費	38,457	31,711	101,184	113,196	122,206	38,457
2 住居費	45,000	45,000	52,000	55,000	59,000	32,000
3 光熱・水道	7,510	6,551	19,961	19,961	20,399	7,510
4 家具・家事用品	3,480	3,600	14,858	16,717	17,025	3,799
5 被服・履物	8,426	8,406	16,981	19,850	25,654	8,272
6 保健医療	2,186	5,016	9,593	7,071	11,235	2,186
7 交通・通信	19,062	18,872	59,447	74,155	85,915	40,639
8 教育	—	—	26,986	37,486	128,649	—
9 教養娯楽	17,745	17,764	27,445	30,823	30,385	17,521
10 その他	21,217	26,293	45,745	51,393	62,615	21,847
B非消費支出	47,562	47,562	68,756	85,566	97,224	47,829
C予備費	16,300	16,300	37,400	42,500	56,300	17,200
最低生計費（税抜き）A+C	179,383	179,513	411,600	468,152	619,383	189,431
D同上（税込み）A+B+C	226,945	227,075	480,356	553,718	716,607	237,260
同上（税込み）D×12	2,723,340	2,724,900	5,764,272	6,644,616	8,599,284	2,847,120

※①非消費支出とは、税金・社会保険料のこと。

※②予備費とは、個々人の多様性や健康状態などの相違点、その他の修繕・修理代などを考慮して、消費支出の1割分を計上したもの。

付属資料

付属資料 1 生活実態調査結果の概要

1. 若年単身世帯

(1) 基本的属性

雇用形態

	度数	(%)	累積 (%)
正社員	204	94.0	94.0
臨時	3	1.4	95.4
非常勤	3	1.4	96.8
契約	2	0.9	97.7
アルバイト	1	0.5	98.2
常勤パート	3	1.4	99.5
その他	1	0.5	100.0
合計	217	100.0	

勤続年数

	度数	(%)	累積 (%)
～2年	67	30.9	30.9
2～5年	98	45.2	76.0
5～10年	34	15.7	91.7
10～15年	10	4.6	96.3
15～20年	7	3.2	99.5
20～30年	1	0.5	100.0
合計	217	100.0	

業種

	度数	(%)	累積 (%)
建設	1	0.5	0.5
機械	3	1.4	1.8
材製造	1	0.5	2.3
消費	2	0.9	3.2
運輸	13	6.0	9.2
通信	1	0.5	9.7
電気ガス水道	1	0.5	10.1
小売飲食	5	2.3	12.4
医療	9	4.1	16.6
福祉	37	17.1	33.6
教育	30	13.8	47.5
サービス	3	1.4	48.8
国家公務	8	3.7	52.5
地方公務	93	42.9	95.4
その他	10	4.6	100.0
合計	217	100.0	

1か月の賃金（額面、2015年10月）

	度数	(%)	累積 (%)
～10万	8	3.7	3.7
10～15万	16	7.4	11.1
15～20万	61	28.1	39.2
20～25万	74	34.1	73.3
25～30万	34	15.7	88.9
30～35万	17	7.8	96.8
35～40万	7	3.2	100.0
合計	217	100.0	

(2) 食生活について

昼食について

	度数	(%)	累積 (%)
弁当持参	67	30.9	30.9
家で食べる	8	3.7	34.6
買って食べる	64	29.5	64.1
給食	37	17.0	81.1
食堂	18	8.3	89.4
外食・出前	19	8.8	98.2
とらない	3	1.4	99.6
無回答	1	0.4	100.0
合計	217	100.0	

お酒・お茶・会食の回数

	度数	(%)	累積 (%)
ほとんどない	35	16.1	16.1
月に1~2回	77	35.5	51.6
月に3~4回	63	29.0	80.6
週に1~2回	38	17.5	98.1
ほとんど毎日	2	0.9	99.0
無回答	2	0.9	99.0
合計	217	100.0	

*昼食にかかる費用=約 661 円

(4) 移動について

職場までの主な交通手段

	度数	(%)	累積 (%)
徒歩	14	6.5	6.5
自転車	65	30.0	36.5
自家用車	60	27.6	64.1
バイク	5	2.3	66.4
公共交通機関	71	32.7	99.1
無回答	2	0.9	100.0
合計	217	100.0	

自家用車は必要か

	度数	(%)	累積 (%)
必需品	98	45.2	45.2
あれば便利	82	37.8	83.0
なければないでよい	24	11.1	94.1
なくてもよい	11	5.0	99.1
無回答	2	0.9	100.0
合計	217	100.0	

(5) 買い物するところ

洋服などを購入する主な店

	度数	(%)	累積 (%)
近くの商店街	6	2.7	2.7
コンビニ	1	0.5	3.2
ディスカウント	9	4.1	7.3
量販店	63	29.0	36.3
百貨店	26	12.0	48.3
生協	1	0.5	48.8
専門店	91	41.9	90.7
通販	16	7.4	98.1
その他	3	1.4	99.5
無回答	1	0.5	100.0
合計	217	100.0	

(6) 余暇

日帰り行楽の回数 (月間)				一泊以上の旅行回数 (年間)			
	度数	(%)	累積 (%)		度数	(%)	累積 (%)
0回	63	29.0	29.0	0回	29	13.4	13.4
1回	76	35.0	64.0	1回	33	15.2	28.6
2回	46	21.2	85.2	2回	52	24.0	56.6
3回	16	7.4	92.6	3回	46	21.2	73.8
4回	9	4.1	96.7	4回	15	6.9	80.7
5回	1	0.5	97.2	5回	18	8.3	89.0
7回	2	0.9	98.1	6回	9	4.1	93.1
10回以上	1	0.5	98.6	7回	2	0.9	94.0
無回答	3	1.4	100.0	10回以上	11	5.1	99.1
合計	217	100.0		無回答	2	0.9	100.0
				合計	217	100.0	

(7) つき合い

結婚式や葬式・法事への参加

	度数	(%)	累積 (%)
ほとんど参加	141	65.0	65.0
他の費目を節約して参加	26	12.0	77.0
経済的に無理な場合がある	14	6.5	83.4
ほとんどよばれない	26	12.0	95.4
参加しないことにしている	3	1.4	96.8
その他	7	3.2	100.0
合計	217	100.0	

近所付き合い

	度数	(%)	累積 (%)
顔を合わせない	63	29.0	29.0
あいさつ程度	135	62.2	91.2
立ち話はする	7	3.2	94.4
一緒に何かする	1	0.5	94.9
特にない	1	0.5	95.4
無回答	10	4.6	100.0
合計	217	100.0	

(8) その他

くらし向きについて

	度数	(%)	累積 (%)
苦しい	47	21.7	21.7
やや苦しい	86	39.6	61.3
普通	69	31.8	93.1
ややゆとりがある	9	4.1	97.2
ゆとりがある	6	2.8	100.0
合計	217	100.0	

2. あなた（30代）夫婦と未婚子からなる世帯

（1）基本的属性

雇用形態

	度数	(%)	累積 (%)
正社員	98	97.0	97.0
非常勤	1	1.0	98.0
嘱託	1	1.0	99.0
短時間パート	1	1.0	100.0
合計	101	100.0	

1か月の賃金（額面、2015年10月）

	度数	(%)	累積 (%)
無回答	1	1.0	1.0
～10万円	1	1.0	2.0
10～15万円	1	1.0	3.0
15～20万円	5	5.0	7.9
20～25万円	32	31.7	39.6
25～30万円	31	30.7	70.3
30～35万円	21	20.8	91.1
35～40万円	6	5.9	97.0
40～45万円	3	3.0	100.0
合計	101	100.0	

（2）食生活

昼食

	度数	(%)	累積 (%)
弁当持参	40	39.6	39.6
家で食べる	3	3.0	42.6
買って職場で食べる	16	15.8	58.4
職場の給食	27	26.7	85.1
職場の食堂	5	5.0	90.1
外食・出前等	10	9.9	100.0
合計	101	100.0	

お酒・お茶・会食の回数

	度数	(%)	累積 (%)
ほとんどない	37	36.6	36.6
月に1～2回	48	47.5	84.2
月に3～4回	12	11.9	96.0
週に1～2回	4	4.0	100.0
合計	101	100.0	

*昼食（外食）代：一食平均＝約 525 円

*酒・茶・会食代：一回平均＝4,386 円

（3）住生活について

住宅の種類

	度数	(%)	累積 (%)
戸建て持家	67	66.3	66.3
マンション持家	11	10.9	77.2
戸建て借家	4	4.0	81.2
アパ・マン借家	17	16.8	98.0
公営住宅	1	1.0	99.0
社宅・官舎	1	1.0	100.0
合計	101	100.0	

(4) 移動について

職場までの主な交通手段

	度数	(%)	累積 (%)
徒歩	6	5.9	5.9
自転車	26	25.7	31.7
自家用車	48	47.5	79.2
バイク	3	3.0	82.2
公共交通機関	18	17.8	100.0
合計	101	100.0	

自家用車は必要か

	度数	(%)	累積 (%)
生活の必需品	91	90.1	90.1
あれば便利	8	7.9	98.0
なければないでよい	1	1.0	99.0
なくてもよい	1	1.0	100.0
合計	101	100.0	

自家用車・バイクを所有している場合の主な用途 (2つまで回答)

	度数	(%)	累積 (%)
無回答	3	1.6	3.0
通勤	59	31.4	61.4
買物	59	31.4	91.1
病院などへの通院	4	2.1	93.1
子どもの送迎	28	14.9	95.0
ドライブ・娯楽	29	15.4	100.0
仕事	6	3.2	
合計	188	100.0	

*世帯のガソリン代：月額平均=15,862円 (名古屋市在住者のみ月額平均：13,833円)

(5) 買い物するところ

洋服などを購入する主な店

	度数	(%)	累積 (%)
近くの商店街	1	1.0	1.0
ディスカウントショップ	5	5.0	5.9
大手スーパー・量販店	48	47.5	53.5
百貨店	10	9.9	63.4
専門店	22	21.8	85.1
通信・ネット販売	15	14.9	100.0
合計	101	100.0	

(6) 余暇

日帰り行楽の回数 (月間)

	度数	(%)	累積 (%)
無回答	1	1.0	1.0
0回	26	25.7	26.7
1回	50	49.5	76.2
2回	15	14.9	91.1
3回	5	5.0	96.0
4回	4	4.0	100.0
合計	101	100.0	

*一回の平均額：8,169円

一泊以上の旅行回数 (年間)

	度数	%	累積 (%)
無回答	1	1.0	1.0
0回	13	12.9	13.9
1回	34	33.7	47.5
2回	34	33.7	81.2
3回	12	11.9	93.1
4回	2	2.0	95.0
5回	5	5.0	100.0
合計	101	100.0	

*一回の平均額：51,854円

(7) つき合い

結婚式や葬式・法事への参加

	度数	%	累積 (%)
ほとんど参加	75	74.3	74.3
他の費目を節約して参加	15	14.9	89.1
経済的に無理な場合がある	4	4.0	93.1
最近はほとんど呼ばれない	7	6.9	100.0
合計	101	100.0	

(8) その他

現在のくらし向き

	度数	%	累積 (%)
苦しい	16	15.8	15.8
やや苦しい	43	42.6	59.4
普通	41	40.6	99.0
ややゆとりがある	1	1.0	100.0
合計	101	100.0	

3. あなた（40代）夫婦と未婚子からなる世帯

(1) 基本的属性

雇用形態

	度数	%	累積 (%)
正社員	68	85.0	85.0
その他	1	1.3	86.3
臨時	3	3.8	90.0
非常勤	2	2.5	92.5
嘱託	1	1.3	93.8
短時間パート	5	6.3	100.0
合計	80	100.0	

1か月の賃金(額面、2015年10月)

	度数	%	累積 (%)
無回答	1	1.3	1.3
～10万円未満	5	6.3	7.5
50～60万	2	2.5	10.0
10～15万	2	2.5	12.5
15～20万	3	3.8	16.3
20～25万	4	5.0	21.3
25～30万	17	21.3	42.5
30～35万	20	25.0	67.5
35～40万	16	20.0	87.5
40～45万	8	10.0	97.5
45～50万	2	2.5	100.0
合計	80	100.0	

(2) 食生活

昼食

	度数	%	累積 (%)
無回答	1	1.3	1.3
弁当持参	31	38.8	40.0
家で食べる	4	5.0	45.0
買って職場で食べる	10	12.5	57.5
職場の給食	21	26.3	83.8
職場の食堂	5	6.3	90.0
外食・出前等	8	10.0	100.0
合計	80	100.0	

お酒・お茶・会食の回数

	度数	%	累積 (%)
無回答	1	1.3	1.3
ほとんどない	40	50.0	51.3
月に1～2回程度	28	35.0	86.3
月に3～4回程度	8	10.0	96.3
週に1～2回程度	3	3.8	100.0
合計	80	100.0	

*昼食（外食）代：一食平均＝約 503 円

*酒・茶・会食代：一回平均＝4,720 円

(3) 住生活について

住宅の種類

	度数	%	累積 (%)
戸建て持家	58	72.5	72.5
マンション持家	12	15.0	87.5
戸建て借家	3	3.8	91.3
アパ・マン借家	4	5.0	96.3
社宅・官舎	1	1.3	97.5
公団・公社の賃貸	2	2.5	100.0
合計	80	100.0	

(4) 移動について

職場までの主な交通手段

	度数	%	累積 (%)
無回答	1	1.3	1.3
徒歩	2	2.5	3.8
自転車	13	16.3	20.0
自家用車	49	61.3	81.3
バイク	2	2.5	83.8
公共交通機関	11	13.8	97.5
その他	1	1.3	98.8
非該当	1	1.3	100.0
合計	80	100.0	

自家用車は必要か

	度数	%	累積 (%)
無回答	1	1.3	1.3
生活の必需品	69	86.3	87.5
あれば便利	8	10.0	97.5
なければないでよい	1	1.3	98.8
なくてもよい	1	1.3	100.0
合計	80	100.0	

自家用車・バイクを所有している場合の主な用途（2つまで回答）

	度数	%	累積 (%)
通勤	54	37.5	
買物	37	25.7	
病院などへの通院	2	1.4	
子どもの送迎	27	18.8	
ドライブ・娯楽	22	15.3	
仕事	2	1.4	
回答数計	144	100.0	

*世帯のガソリン代：月額平均＝約 17,000 円

(5) 買い物するところ

洋服などを購入する主な店

	度数	%	累積 (%)
無回答	1	1.3	1.3
近くの商店街	3	3.8	5.0
その他	1	1.3	6.3
ディスカウントショップ	4	5.0	11.3
大手スーパー・量販店	41	51.3	62.5
百貨店	6	7.5	70.0
専門店	17	21.3	91.3
通販・ネット販売	7	8.8	100.0
合計	80	100.0	

(6) 余暇

日帰り行楽の回数（月間）

	度数	%	累積 (%)
無回答	1	1.3	1.3
0回	40	50.0	51.3
1回	25	31.3	82.5
2回	10	12.5	95.0
3回	3	3.8	98.8
4回	1	1.3	100.0
合計	80	100.0	

*一回の平均額：11,071 円

一泊以上の旅行回数（年間）

	度数	%	累積 (%)
無回答	1	1.3	1.3
0回	16	20.0	21.3
10回以上	1	1.3	22.5
1回	30	37.5	60.0
2回	22	27.5	87.5
3回	7	8.8	96.3
4回	1	1.3	97.5
5回	1	1.3	98.8
6回	1	1.3	100.0
合計	80	100.0	

*一回の平均額：63,571 円

(7) つき合い

結婚式や葬式・法事への参加

	度数	%	累積 (%)
ほとんど参加	55	68.8	68.8
他の費目を節約して参加	11	13.8	82.5
経済的に無理な場合がある	2	2.5	85.0
最近ほとんど呼ばれない	11	13.8	98.8
その他	1	1.3	100.0
合計	80	100.0	

(8) その他

現在の暮らし向き

	度数	%	累積 (%)
苦しい	20	25.0	25.0
やや苦しい	33	41.3	66.3
普通	25	31.3	97.5
ややゆとりがある	2	2.5	100.0
合計	80	100.0	

4. あなた（50代）夫婦と未婚子からなる世帯

(1) 基本的属性

雇用形態

	度数	%	累積 (%)
正社員	59	85.5	85.5
非常勤	1	1.4	87.0
嘱託	2	2.9	89.9
契約	1	1.4	91.3
常勤パート	2	2.9	94.2
短時間パート	4	5.8	100.0
合計	69	100.0	

1か月の賃金(額面、2015年10月)

	度数	%	累積 (%)
無回答	2	2.9	2.9
～10万円未満	5	7.2	10.1
50～60万円	3	4.3	14.5
60～70万円	1	1.4	15.9
10～15万	4	5.8	21.7
15～20万	7	10.1	31.9
20～25万	5	7.2	39.1
25～30万	8	11.6	50.7
30～35万	5	7.2	58.0
35～40万	10	14.5	72.5
40～45万	9	13.0	85.5
45～50万	10	14.5	100.0
合計	69	100.0	

(2) 食生活

昼食

	度数	%	累積 (%)
無回答	1	1.4	1.4
弁当持参	28	40.6	42.0
家で食べる	2	2.9	44.9
買って職場で食べる	14	20.3	65.2
職場の給食	17	24.6	89.9
職場の食堂	3	4.3	94.2
外食・出前等	4	5.8	100.0
合計	69	100.0	

お酒・お茶・会食の回数

	度数	%	累積 (%)
無回答	1	1.4	1.4
ほとんどない	32	46.4	47.8
月に1～2回程度	23	33.3	81.2
月に3～4回程度	10	14.5	95.7
週に1～2回程度	2	2.9	98.6
ほとんど毎日	1	1.4	100.0
合計	69	100.0	

*昼食(外食)代:一食平均=約488円

*酒・茶・会食代:1回平均=3,534円

(3) 住生活について

住宅の種類

	度数	%	累積 (%)
戸建て持家	52	75.4	75.4
マンション持家	11	15.9	91.3
戸建て借家	1	1.4	92.8
アパ・マン借家	1	1.4	94.2
公営住宅	1	1.4	95.7
公団・公社の賃貸	3	4.3	100.0
合計	69	100.0	

(4) 移動について

職場までの主な交通手段

	度数	%	累積 (%)
無回答	1	1.4	1.4
徒歩	3	4.3	5.8
自転車	9	13.0	18.8
自家用車	41	59.4	78.3
バイク	4	5.8	84.1
公共交通機関	10	14.5	98.6
非該当	1	1.4	100.0
合計	69	100.0	

自家用車は必要か

	度数	%	累積 (%)
無回答	1	1.4	1.4
生活の必需品	58	84.1	85.5
あれば便利	7	10.1	95.7
なければならないでよい	2	2.9	98.6
なくてもよい	1	1.4	100.0
合計	69	100.0	

自家用車・バイクを所有している場合の主な用途 (2つまで回答)

	度数	%	累積 (%)
無回答	14	10.1	10.1
通勤	48	34.8	44.9
買物	42	30.4	75.3
病院などへの通院	7	5.1	80.4
子どもの送迎	6	4.3	84.7
ドライブ・娯	12	8.7	93.4
仕事	7	5.1	98.5
その他	2	1.4	100.0
回答数計	138	100.0	

*世帯のガソリン代：月額平均約 20,000 円

(5) 買い物するところ

洋服などを購入する主な店

	度数	%	累積 (%)
無回答	1	1.4	1.4
近くの商店街	4	5.8	7.2
大手スーパー・量販店	50	72.5	79.7
百貨店	3	4.3	84.1
生協	2	2.9	87.0
専門店	7	10.1	97.1
通販・ネット販売	2	2.9	100.0
合計	69	100.0	

(6) 余暇

日帰り行楽の回数 (月間)

	度数	%	累積 (%)
無回答	1	1.4	1.4
0回	39	56.5	58.0
1回	20	29.0	87.0
2回	6	8.7	95.7
3回	1	1.4	97.1
4回	2	2.9	100.0
合計	69	100.0	

一泊以上の旅行回数 (年間)

	度数	%	累積 (%)
無回答	1	1.4	1.4
0回	22	31.9	33.3
1回	25	36.2	69.6
2回	12	17.4	87.0
3回	3	4.3	91.3
4回	5	7.2	98.6
5回	1	1.4	100.0
合計	69	100.0	

*一回の平均額 : 10,241 円

*一回の平均額 : 63,182 円

(7) つき合い

結婚式や葬式・法事への参加

	度数	%	累積 (%)
ほとんど参加	54	78.3	78.3
他の費目を節約して参加	5	7.2	85.5
経済的に無理な場合がある	1	1.4	87.0
最近ほとんど呼ばれない	8	11.6	98.6
その他	1	1.4	100.0
合計	69	100.0	

(8) その他

現在の暮らし向き

	度数	%	累積 (%)
無回答	1	1.4	1.4
苦しい	13	18.8	20.3
やや苦しい	24	34.8	55.1
普通	27	39.1	94.2
ややゆとりがある	4	5.8	100.0
合計	69	100.0	

付属資料2 価格調査結果について（参考として核家族世帯のみ掲載）

愛知県最低生計費試算（核家族世帯：名古屋）のための価格調査票（平成28年6月、消費税抜きの価格）、計228品目

2016/8/22

大分類	品目	最低価格	最多・標準価格	最高価格	備考(容量・1袋の中の数量など)	使用年数	備考(世帯)
1. 家事用耐久財	温水洗浄便座	39,800	47,800	57,800	TOTO	6	30・40・50
	電子・ガスレンジ	19,800	24,800	28,800		6	30・40・50
	自動炊飯器	12,800	16,800	32,800	5.5合 IH	6	30・40・50
	電気冷蔵庫	178,000	198,000	238,000	500L	6	30・40・50
	電気掃除機	18,000	24,800	38,000		6	30・40・50
	電気洗濯機	36,800	58,800	99,800	全自動7kg	6	30・40・50
	ガステーブル	22,800	29,800	59,800	2口	6	30・40・50
	カセットコンロ	2,800	3,980	5,680		6	40・50
	トースター	4,480	4,980	8,980		6	30・40・50
	電気アイロン	1,980	3,800	5,680		6	30・40・50
	電気ポット	2,680	6,600	9,980	ケトル 1雫	6	30・40・50
	ホットプレート	8,980	12,800	13,800		6	30・40・50
	ミシン(電動含む)	19,800	23,800	29,800		6	40・50
2. 冷暖房用機器	ルームエアコン	69,800	108,000	188,000	木造6畳まで2.2	6	30・40・50
	電気ストーブ	4,860	6,458	21,380		6	40・50
	電気こたつ	13,797	18,426	27,686		6	50
	ホットカーベット	3,990	5,490	7,399		6	30・40
	扇風機	4,980	10,800	23,800	45W位	6	30・40・50
3. 居間・寝室用家具	整理ダンス(作り付け除く)	14,630	16,480		4段チェスト(83×41×88)	15	30・40・50
	洋服ダンス(作り付け除く)	18,800	22,900	35,900	標準・最高(ネット価格)	15	30・40・50
	カラーボックス(ラック)	1,380	1,730	1,780	3段タイプ	3	30・40・50
	ソファ	27,592	36,850	55,370		8	30
	腰掛机・学習机(椅子含む)	46,112	59,800		小学・中学・高校	15	30・40・50
	本箱・本棚	3,685	5,537	13,703	最低値(44×30×94)	15	30・40・50
	食器戸棚	29,800	49,800		家具センター	15	30・40・50
	洋式食卓セット(椅子含む)	49,800	52,800	69,800	食卓セット(イス含む)4人掛け	15	30・40・50
	掛(柱)時計	1,289	2,880	13,792		8	30・40・50
目覚まし時計	928	2,704	3,734		8	30・40・50	
4. 室内装飾品	蛍光灯の傘(照明器具)	16,800	23,800	26,800	1灯 LED	8	30・40・50
	カーテン	2,980	5,320	11,490		3	30・40・50
	座布団	1,289	1,684	2,980		4	40・50
	こたつ布団・カバー	1990+3990	6,490	3990+5990	掛け・敷きセット	3	50
	花瓶	980	2,380	2,380		5	50
5. 寝具類	敷き布団	4,320	7,920	16,311	シングル	4	30・40・50
	掛け布団	3,813	6,586	13,526	シングル	4	30・40・50
	タオルケット	1,931	2,619	5,488		2	30・40・50
	毛布	2,252	4,980	5,320		3	30・40・50
	シーツ	1,613	2,380	3,280		2	30・40・50
	まくら	677	1,088	2,630		3	30・40・50
	布団カバー	1,940	2,701	5,152		2	30・40・50
	まくらカバー	350	550	1,048		2	30・40・50
6. 家事雑貨	ごはん茶わん	193	424	498		2	30・40・50
	湯飲み茶碗	276	424	781		2	30・40・50
	どんぶり	431	698	806		2	30・40・50
	コーヒー(ティー)カップ	203	405	795	マグカップタイプ	2	30・40・50
	吸い物わん	221	388	652		2	30・40・50
	盛り皿・盛りばち(洋皿)	433	614	989	洋皿	2	30・40・50
	スープ皿	384	423	907		2	30・40・50
	パン・ケーキ皿	137	450	823		2	30・40・50
	グラタン皿	357	455	1,000		2	30・40・50
	盛り皿(和皿)	722	918			2	40・50
	中皿(和皿)	290	360			2	40・50

大分類	品目	最低価格	最多・標準価格	最高価格	備考(容量・1袋の中の数量など)	使用年数	備考(世帯)
6. 家事雑貨	小皿(和皿)	251	287			2	30・40・50
	コップ	128	339	598	ガラス製	2	30・40・50
	スプーン	125	242	376		5	30・40・50
	フォーク	94	257	425		5	30・40・50
	ナイフ	270	341	533		5	30・40・50
	水筒	1,149	2,513	3,130	所有は女性のみ	5	30・40・50
	きゆうす	1,029	2,120	4,588		2	30・40・50
	砂糖入れ	874	1,608	2,111	2個セット	5	30・40・50
	しょうゆ差し	399	527	804		5	30・40・50
	弁当箱(ランチャー)	1,226	1,513	2,397		5	30・40・50
	タッパー	243	455	798		5	30・40・50
	盆	1,254	1,553			5	30・40・50
	大なべ	1,380	2,630	3,280	20~22cm	5	30・40・50
	中なべ	952	1,446	2,713	両手持ち蓋あり	5	30・40・50
	小なべ	864	1,256	2,275	16~18cm	5	30・40・50
	フライパン	658	1,746	3,280		5	30・40・50
	やかん	1,475	2,136	3,309	2.5L	5	30・40・50
	米びつ(ハイザー)	656	1,430	2,124	米びつ10kg~12kg	5	30・40・50
	洗いおけ	487	978	1,676	ブラ⇒ステンレス	5	50
	水切りかご・ざる	598	698	798	直径21センチ	4	30・40・50
	ボール	598	698	880		5	30・40・50
	台所用はかり	1,009	2,036	2,826		5	30・40・50
	包丁・ナイフ	1,543	2,313	3,981	包丁	5	30・40・50
	まな板	825	1,091	1,380		5	30・40・50
	すり鉢・すりこぎ	859	1,354	2,360		5	50
	たわし	138	314	492	スポンジタイプ	1	30・40・50
	おろし器	445	747	1,463		5	30・40・50
	はし・菜ばし	145	348	789	はし	5	30・40・50
	しゃもじ	248	276	648		5	30・40・50
	ふきん	398	553	570	3枚入り	1	30・40・50
	フライ返し	193	319	725		5	30・40・50
	泡立て器	237	490	899		5	30・40・50
	物干しざお	598	980	1,780	2.2mから4mに伸びるタイプ	5	30・40・50
	ポリバケツ・ゴミ入れ	1,480	1,930	2,239	ポリバケツ形	5	30・40・50
	くずかご	448	1,207	2,327		5	30・40・50
	洗濯用バケツ・かご	674	798	840		5	30・40・50
	ホース	2,111	2,759	4,611	園芸等水撒き用(最低値20cm)	5	50
	タオル	290	649	789		1	30・40・50
	バスタオル	648	1,259	2,753		1	30・40・50
	電球(LED)	1280/2180	1580/2580	2480/3780	40形/60形	8	40
	電球(非LED)	180	380	980	60W 最低値は2個入り	1	30・50
	蛍光灯(非LED)	580	1,600	1,890	30形32形セット	3	30・40・50
	裁縫箱	3,140	3,790	4,300		5	30・40・50
	裁ちばさみ	1,750	2,690	3,190		5	30・40・50
	アイロン台	853	1,885	3,080		5	30・40・50
	ドライバー	198	398	1,280	セット	15	30・40・50
	のこぎり	1,410	1,907	2,018		15	50
金づち	639	1,092	1,462		15	40・50	
スコップ	629	1,092	1,462		5	50	
空気入れ	963	1,422	3,025		5	30・40・50	
鉢・プランタン	260	380	584		5	30・40・50	
玄関マット	1,798	2,773	5,480		5	40・50	

大分類	品目	最低価格	最多・標準価格	最高価格	備考(容量・1袋の中の数量など)	使用年数	備考(世帯)
6. 家事雑貨	懐中電灯	460	685	1,442		5	30・40・50
	傘立て	1,316	2,870	4,024		5	40・50
	下駄箱(作り付けを除く)	9,074	11,851	21,111		15	40・50
	バスマット	677	980	1,480		2	30・40・50
	洗面器	294	524	598		5	30・40・50
7. 家事用消耗品	ポリ袋	127	155		45L×10(可燃・不燃)、資源95円	-	30・40・50
	ラップ	98	152	251		-	30・40・50
	ティッシュペーパー(箱)	198	268	598	5箱/5箱/3箱	-	30・40・50
	トイレトペーパー	291	349	463	12ロール	-	30・40・50
	台所洗剤	93	161	245		-	30・40・50
	トイレ用洗剤	171	219	345		-	30・40・50
	洗濯用洗剤	214	297	321		-	30・40・50
	漂白剤	137	238		最低値(600ml)	-	30・40・50
8. 被服・履物(男性)	背広※	8,217	11,862	27,212	夏物:2593円	4	30・40・50
	礼服※	15,800	22,800	29,395		5	30・40・50
	オーバーコート※	7,515	15,102	32,323		4	50
	ジャケット(替上着)※	6,400	16,395	39,990	ダウンジャケット(スーツにも対応)	4	30・40・50
	替ズボン(ジーンズ含)	2,030	3,110	10,584		4	30・40・50
	半ズボン	2,485	3,435	5,990		2	30・40・50
	パーカー	2,505	3,005	4,545		2	30・40・50
	ワイシャツ	1,945	2,497	5,045		2	30・40・50
	長袖シャツ	1,965	3,005	7,135		2	30・40・50
	半袖シャツ	2,185	3,990	6,490		2	30・40・50
	ポロシャツ	2,465	2,965	5,515		2	30・40・50
	セーター・カーディガン	2,975	4,125	7,500		3	30・40・50
	シャツ(合・冬)	990	1,280		下着・肌着(ヒートテック)	1	30・40・50
	シャツ(夏)	990	1,280		下着・肌着	1	30・40・50
	Tシャツ	917	1,000	1,900		2	30・40・50
	ジャージ	4,850	7,344	7,344		2	30・40・50
	トレーナー	3,465	4,903	8,190		2	30・40・50
	パンツ・ブリーフ	990	1,170	2,574		1	30・40・50
	スリッパ	448	648	1,230		1	30・40・50
	サンダル	1,620	2,700	4,212		2	30・40・50
	靴※	5,106	9,296	20,380		2	30・40・50
	運動靴・スニーカー	2,850	4,556	13,792		2	30・40・50
靴下	315	426	959		2	30・40・50	
手袋	1,310	1,715	8,862		1	30・40・50	
ネクタイ※	1,422	3,045	4,345		2	30・40・50	
マフラー	1,191	2,505	6,162		2	30・40・50	
バンド・ベルト	1,371	1,965	4,990		2	30・40・50	
9. 被服・履物(女性)	喪服一式(和服)※	183,333	298,000	398,000	セット ※標準価格は店頭調査	10	50
	ゆかた	14,800				2	50
	アンサンブル※	33,000	43,000	66,000	礼服も兼ねる	5	30・40・50
	ワンピース※	5,800	6,900	9,900	冬物	4	30・40・50
	オーバーコート※	7,900	15,000	20,000		4	30・40・50
	ジャケット※	5,900	9,900	15,900	スーツのような形	4	30・40・50
	スカート	1,000	5,800			3	30・40・50
	スラックス	2,445	3,990		ジーンズ含む	4	30・40・50
	ジャンパー	5,404	7,150	18,480	ジャケットブルゾン	4	30・40・50
	ブラウス	1,490	3,390			3	30・40・50
	Tシャツ・ポロシャツ	980	1,980		Tシャツ	2	30・40・50
	長袖・半袖シャツ	1,980	2,980	6,980		2	30・40・50

大分類	品目	最低価格	最多・標準価格	最高価格	備考(容量・1袋の中の数量など)	使用年数	備考(世帯)	
9. 被服・履物(女性)	セーター・カーディガン	1,980	3,980	7,980		3	30・40・50	
	スリッパ・キャミソール	1,200	2,200	5,300	有名ブランド	2	30・40・50	
	パンティー	1,390	1,750	2,400	有名ブランド	1	30・40・50	
	ブラジャー	3,140	4,400	5,500	有名ブランド	2	30・40・50	
	シャツ(肌着)	1,200	2,000			1	30・40・50	
	パジャマ(夏)	2,390	3,390	4,940		2	30・40・50	
	パジャマ(冬)	2,450	3,390			2	30・40・50	
	ジャージ	3,600	5,000	10,000		2	30・40・50	
	トレーナー	3,370	3,675	7,980		2	40・50	
	スリッパ	398	598	980		1	30・40・50	
	サンダル	2,900	3,900	10,450		2	30・40・50	
	靴・ブーツ※	4,900	5,896		ロングブーツ	2	30・40・50	
	運動靴・スニーカー	3,440	5,950	9,150		2	30・40・50	
	パンティストッキング	500	600	1,000		1	30・40・50	
	ソックス	333	500	700		2	30・40・50	
	スカーフ	1,440	3,690	5,440		2	50	
	手袋	700	2,850			1	30・40・50	
	ベルト	1,495	1,900			2	30・40・50	
エプロン	1,200	1,980			1	30・40・50		
学校制服※				幼稚園・中学・高校	3	40・50		
10. 身の回り用品(男女混合)	傘	795(750)	1209(2030)	2900(2280)	男性(女性)	2	30・40・50	
	雨がっぱ	480	2,690	5,390		4	30・40・50	
	旅行用かばん・スーツケース	8424(4880)	15032(7900)	22852(14000)	男性(女性)	5	30・40・50	
	ショルダーバッグ(男性)	3,440	5,082	6,082		5	30・40・50	
	ショルダーバッグ(女性)	2,540	8,800			5	30・40・50	
	ハンドバッグ	3390(3900)			男性(女性)	5	30・40・50	
	ショッピングバッグ	1,000	1,500	2,500		5	30・40・50	
	リュックサック・デイバッグ	3383(4190)	4,045	6,532	男性(女性)	5	30・40・50	
	通学用カバン	3,900	6,400			5	40・50	
	ランドセル	35,000	41,600	55,000		6	30・40	
	財布※	3440(3700)	5082(6050)	7,122	男性(女性)	5	30・40・50	
	腕時計(男性用)※	3,909	14,477	55,338		10	30・40・50	
	腕時計(女性用)※	3,500	13,000	56,000		10	30・40・50	
	ネクタイピン	926	1,852	3,838		5	50	
	イヤリング・ピアス※	500	1,250		女性	10	50	
	帽子(男性)	1,515	2,505	4,045		1	30・40・50	
	帽子(女性)	2,200	4,400			1	30・40・50	
ハンカチ	432(432)	432(540)	540(1000)	男性(女性)	1	30・40・50		
11. 教養娯楽用耐久財	カラーテレビ	49,800	54,800	77,800		5	30・40・50	
	DVD(BD)プレイヤー	5,980	11,800	26,800	ブルーレイ込み	5	40・50	
	ビデオ・HDDレコーダー	52,200	52,200	199,800	HDD	5	30	
	カメラ・デジカメ	12,300	14,880	22,800	デジカメ	5	30・40・50	
	ビデオカメラ	39,800	49,800	74,800		5	30・40	
	プリンター	22,800	24,800	59,980		5	30・40・50	
	パソコン(ノート)	59,800	139,800	225,000		4	30・40・50	
	日刊新聞	2,857			朝刊のみ(中日新聞)	-	50	
	単行本・文庫本	1,335			文学書の平均価格、30代は子どもの絵本(児童書:1313円)、2014年の平均価格	-	30・50	
	水着(男性用)	1,900	2,900	3,900	幼児(1000)	2	30・40・50	
	水着(女性用)	8,800	12,000	13,000	小学生(2200)	2	30・40・50	
	12. その他の用品	携帯ゲーム機	12,392	16,480		ニンテンドー3DS、アダプター付き	5	30・40
		ゲームソフト	2,375	2,580	3,280	新品(標準・最高は中古品)	3	30・40
USBメモリ		1,380	2,180	3,790	16G	2	30・40・50	

大分類	品目	最低価格	最多・標準価格	最高価格	備考(容量・1袋の中の数量など)	使用年数	備考(世帯)
13. 交通用具	自転車	17,800	25,704	74,800	大人用	2	30・40・50
14. 通信機器	スマートフォン	41,040	84,140	132,800	普通/iPhone16ギガ/iPhone		30・40・50
	固定電話機(FAX除く)	8,000	13,200	22,800		6	40・50
15. 理美容用品	ヘアドライヤー	2,280	4,280	16,000		6	30・40・50
	電気カミソリ	3,816	5,980	17,886		6	40・50
	歯ブラシ	99	132	348		1	30・40・50
	ヘアブラシ	539	830	1,090	女性用	3	30・40・50
	カミソリ	98	429	2,570	女性/男女/男性	-	30・40・50
	化粧石鹸	377	408	549	洗顔用石鹸、チューブ	-	なし
	シャンプー	298	545	591	詰め替え	-	30・40・50
	リンス・コンディショナー	298	545	591	詰め替え	-	30・40・50
	ボディシャンプー	173	445	615	詰め替え	-	30・40・50
	歯磨き	142	258	300		-	30・40・50
	化粧クリーム	569	1,410	1,800		-	30・40
	化粧水	572	906(1500)		男性(女性)	-	30・40・50
	乳液	550	1,500		女性	-	30・40・50
	ファンデーション	1,200	1,500		女性	-	30・40・50
	口紅	690	980		女性	-	30・40・50
	体重計	1,179	3,675	5,027		6	30・40・50
救急箱・救急セット	2,950		5,000	ケース(1350)+薬(約1600)	5	30・40・50	

注)価格調査時期に販売の無いものはインターネットでの調査をおこなった。項目の後ろに※のあるものについては標準価格を適用。

大分類	費目	最低価格	最多・標準価格	最高価格	備考(容量・1袋の中の数量など)	備考(世帯)
8. 被服・履物 (子供)	ジャンパー(5歳男)	1,800		4,900	ブルゾン	30・40
	ジャンパー(9歳女)	2,232	2,912	3,500	ブルゾン	30・40
	ズボン・Gパン(5歳男)	1,880	2,880			30・40
	ズボン・Gパン(9歳女)	1,880	2,880			30・40
	ショートパンツ(5歳男)	880	1,280	1,580		30・40
	ショートパンツ(9歳女)	1,880	2,880			30・40
	パーカー(5歳男)	2,280	2,580			30・40
	パーカー(9歳女)	1,580	2,280	2,580		30・40
	Tシャツ(5歳男)	580	880			30・40
	Tシャツ(9歳女)	580	1,280	1,580		30・40
	セーター(5歳男)	1,990				30・40
	セーター・カーディガン(9歳女)	1,800	2,990			30・40
	スカート(9歳女)	880	1,880	2,880		30・40
	ジャージ(5歳男)	3,880	4,580		上下	30・40
	ジャージ(9歳女)	3,880				30・40
	トレーナー(5歳男)	1,280	2,500		最低(薄手長袖)	30・40
	トレーナー(9歳女)	1,258	1,800	2,639		30・40
	パンツ(5歳男)	480	680		2枚セット	30・40
	パンツ(9歳女)	480	580		2枚セット	30・40
	肌着(5歳男)	580	780		2枚セット	30・40
	肌着(9歳女)	580	780		2枚セット	30・40
	パジャマ(夏)5歳男	1,880	2,280			30・40
	パジャマ(夏)9歳女	1,880	2,580			30・40
パジャマ(冬)5歳男	2,000				30・40	
パジャマ(冬)9歳女	2,262	2,499	3,500		30・40	
靴下(5歳男)	580	980		3枚セット	30・40	
靴下(9歳女)	580	200	380	最低値のみ3枚セット	30・40	
運動靴・スニーカー(5歳男)	2,300	2,900	3,300	19cm	30・40	
運動靴・スニーカー(9歳女)	1,900	2,900		22cm	30・40	
11. 教養娯楽用品	水着(5歳男)	1,000				30・40
	水着(9歳女)	2,200			スクールタイプ	30・40
13. 交通用具	自転車(小学・幼児用)	13,076	18,027	25,800		30・40
	ヘルメット(小学・幼児用)	2,569	3,382	4,366		30・40
10. 身の回り用品(男女混合)	傘(5歳・9歳)	1,280	1,500	1,800		30・40
	雨がっぱ(5歳・9歳)	1,280	1,500	1,800		30・40
	リュックサック(5歳)	2,580	2,880			30・40
	リュックサック(9歳)	2,280	2,880	3,880		30・40
	帽子(5歳男)幼稚園帽	934				30・40
帽子(9歳女)キャップ	680	880			30・40	

最低生計費試算の調査へのご協力を

全労連東北陸地方協議会
最低生計費試算調査プロジェクト

◀ 組合員・ご家族のみなさんへ ▶

組合員、ご家族の皆様におかれましては、日々ご健勝のことと存じます。さて、私たちを取り巻く情勢は、消費税率引き上げと物価上昇のもと、景気回復どころか、雇用の不安定化、賃金の低下と消費の減退によって内需が縮小するという悪循環に陥っています。私たちの賃金は、大企業と富裕層に過剰に分配され、働いても貧困から抜け出せない労働者が増えています。

私たちの生活と日本経済を立て直すには、賃金の底上げ、雇用の安定、均等待遇の確立が必要です。全労連の要求である「全国一律制・時給1,000円以上」の最低賃金は、その第一歩となる政策課題です。

ところが政府は、最低賃金を抑制して、地域間格差を広げ、働く貧困層が増えていることを理由に、生活保護や年金を切り下げ始めました。さらに庶民には重税を課し、大企業にはさらなる減税をしようとしています。

こうした誤った政策を止め、貧困の根絶や格差解消をめざすうえで、憲法が保障している「健康で文化的な最低限の生活を営む」ために必要な生計費がいくらなのかを、私たち自身の手で明らかにすることが大切になっています。

最低生計費の試算には、まず、私たちの生活の実態を把握することが必要です。そのために「生活実態調査」と「手持ち財調査」を実施します。この調査を実施するためには、組合員ご本人だけでなく、家計を共にする各世帯のご家族のみなさんの協力が欠かせません。

過去に本調査にご協力いただいた方々からは、「生活を見直す良いきっかけとなった」「必要な生計費がわかり、賃金の要求に迫力が増した」などの声が寄せられています。暮らしを守るための運動に役立つ重要なデータを得るため、この「最低生計費」試算調査へのご協力を、よろしく願いいたします。

※ この冊子には、「生活実態調査」と「手持ち財調査」の2つの調査があります。なお、プライバシーにかかわる内容も含まれますので、記入後は添付の封筒に入れて封をし、組合・団体の担当者にお渡しください。

調査の概要

■ 調査から試算へのプロセス

① 生活実態調査

みなさんの生活を多面的に把握し、最低生計費を検討する際の検討資料とします。

② 手持ち財調査

みなさんが所有している物財を調べ、今の社会にあって、誰もが持っていて当然のもの、必需品と何かを明らかにして、最低限度の生活を営むために必要な物財の保有を決める際の基礎資料とします。

③ 最低生計費の試算

調査を集計し、他の統計なども活用しながら、必要な費目を積み上げて最低生計費を算出します。

1. 調査対象

すべての世帯を対象とします。

2. 最低生計費について

「最低生計費」とは、単なる「生命や肉体の維持」という水準ではなく、現代の「文化的な生活様式」を満たし得る最低限度の社会的再生産の水準です。現在ある住宅・教育などの社会的「生活基盤」や社会保障・社会福祉制度を前提として、その基礎の上に立った消費生活の必要最低限度の「基準」として決めていきます。

3. 調査方法

マーケットバスケット方式（全物量積み上げ方式）で試算を行います。これは、最低生計費の明示する消費生活の内容を、品目別に一つ一つ積み上げていく方法です。これによって最低生計費の内容を具体的に提示することとなり、その当・不当についてみんなで議論し、合意形成をはかることができます。

4. 調査票の回収・集約について

各組合の指示に従って実施してください。

※ 記入した調査票は、依頼された組合・団体に提出してください。

生活実態調査

このアンケートは、最低生計費を算出するための基礎資料とするものです。「手持ち財調査」と合わせてお答えください。最低生計費の算定は、最低賃金要求や年金要求など、社会保障要求の基礎となるものです。

調査された内容については、秘密を守り、調査の目的以外には使用いたしません。ありのままに回答をお願いします。

なお、年金で生活されている方、無職、失業中の方で、質問項目に該当しない場合には、「非該当」を選択してください。記入は、項目右の四角の枠内にご記入ください。

市町村名

調査項目

I 最初に、あなたの現在のお仕事についてうかがいます。

問1. あなたの雇用形態は（1つだけ）。

1. 正規職員・従業員 2. 臨時社員・職員 3. 非常勤社員・職員
4. 派遣社員 5. 嘱託社員 6. 契約・登録社員 7. アルバイト
8. 常勤パート（週30時間以上） 9. 短時間パート（週30時間未満）
10. 個人請負 11. 失業中 12. 無職 13. その他（ ）

問1

問2. あなたの勤続年数は（1つだけ）。

1. 2年未満 2. 2～5年未満 3. 5～10年未満
4. 10～15年未満 5. 10～20年未満 6. 20～30年未満
7. 30年以上 8. 非該当

問2

問3. あなたはこれまでに離職経験が何回ありますか。

1. 1回 2. 2回 3. 3回 4. 4回 5. 5回 6. 6回
7. 7回 8. 8回 9. 9回 10. 10回以上 11. なし

問3

問4. あなたの勤務先の事業所規模は（1つだけ）。

1. 30人未満 2. 30～100人未満 3. 100～300人未満
4. 300～500人未満 5. 500～1,000人未満 6. 1,000人以上
7. 公務 8. 非該当

問4

問5. あなたの勤務先の企業規模は（1つだけ）。

1. 30人未満 2. 30～100人未満 3. 100～300人未満
4. 300～500人未満 5. 500～1,000人未満 6. 1,000人以上
7. 公務 8. 非該当

問5

問6. あなたの勤務先の業種は次のどれですか（1つだけ）。

1. 建設
2. 機械関連製造
3. 材関連製造（木材、紙、プラスチック
窯業、金属）
4. 消費関連製造（食品、衣服、家具、出版・印刷、皮革）
5. 運輸
6. 通信
7. 電気・ガス・水道・熱供給
8. 卸・小売・飲食業
9. 金融・保険・不動産業
10. 医療
11. 福祉
12. 教育
13. その他のサービス業
14. 国家公務員
15. 地方公務員
16. その他（ ）
17. 非該当（年金生活者、無職、失業中）

問6

問7. あなたの勤務先での仕事の内容は次のどれですか（1つだけ）。

1. 現業・技術職（加工・組立・検査・機械操作・建設職人など）
2. 運輸職（各種交通・運輸機械運転手・教習所指導員など）
3. 事務職（事務系のデスクワーク中心）
4. 営業・販売職・サービス職
5. 専門・技術職①（研究・開発、設計、情報処理）
6. 専門・技術職②
（薬剤師、看護師、栄養士、保育士、教員等の資格職）
7. 保安・警備
8. 農林漁業職
9. その他（ ）
10. 非該当

問7

問8. あなたの1か月の賃金（残業・税・保険料込み額面）は、
どれくらいですか（1つだけ）。

1. 10万円未満
2. 10～15万円未満
3. 15～20万円未満
4. 20～25万円未満
5. 25～30万円未満
6. 30～35万円未満
7. 35～40万円未満
8. 40～45万円未満
9. 45～50万円未満
10. 50～60万円未満
11. 60～70万円未満
12. 70万円以上
13. 非該当

問8

問9. あなたの世帯では、何人就労していますか（1つだけ）。

1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人以上
5. いない

問9

問10. あなたの世帯の年間の収入（税・保険料込みで）はどれくらいですか
（1つだけ）。

1. 50万円未満
2. 50万～100万円
3. 100万～150万円未満
4. 150万～200万円未満
5. 200万～250万円未満
6. 250万～300万円未満
7. 300万～350万円未満
8. 350万～400万円未満
9. 400万～450万円未満
10. 450万～500万円未満
11. 500万～600万円未満
12. 600万～700万円未満
13. 700万～800万円未満
14. 800万～900万円未満
15. 900万～1000万円未満
16. 1000万円以上

問10

問11. あなたの仕事をするうえで、自ら負担している用具・道具等がありましたらあげてください。
（たとえば、建設職人の方は**かんな**、運転手の方は**運転用の手袋**、看護師の方は**聴診器**などとなります）

問11

II あなたの性別や年齢、家族などについてうかがいます。

問 12. あなたの性別は？ 1. 男性 2. 女性

問 12

問 13. あなたの年齢は次のどれですか (1つだけ)

1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上

問 13

問 14. あなたの世帯構成は (1つだけ)

1. 独居 2. あなたと親 3. あなたと親と兄弟
4. あなたと親と兄弟夫婦 5. あなたと友達や兄弟
6. あなた夫婦のみ 7. あなた夫婦と未婚子 8. あなたと未婚子
9. あなた夫婦と未婚子と親 10. あなた夫婦と親
11. あなた夫婦と親夫婦 12. あなた夫婦と子ども夫婦と孫
13. その他 ()

問 14

問 15. 世帯人員は、あなたを含めて何人ですか。

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人
6. 6人 7. 7人以上

問 15

問 16. 世帯人員の未婚子について

1. 未就学児童= 人 2. 小学生= 人
3. 中学生= 人 4. 高校生= 人
5. 専門学校生= 人 6. 短大・大学生・大学院生= 人
7. その他= 人

問 16

1	<input type="text"/>
2	<input type="text"/>
3	<input type="text"/>
4	<input type="text"/>
5	<input type="text"/>
6	<input type="text"/>
7	<input type="text"/>

問 17. あなたの子ども (孫) が通っている大学 (大学院を含む)・専門学校はどこに

ありますか (2つまで)。

1. 地元国公立大学 2. 地元私立大学・専門学校
3. 地元以外の国公立大学 4. 地元以外の私立大学・専門
5. 首都圏の国公立大学 6. 首都圏の私立大学・専門学

問 17

<input type="text"/>
<input type="text"/>

学校
校

問 18. あなたの世帯から、大学・大学院・専門学校生の子どもに対し、毎月いくらの仕送りをしていますか。(万円単位で数字をご記入ください。複数に仕送りしている場合は合計額をお書きください)。

問 18

(月額)	<input type="text"/>
	万円

問 19. あなたが住んでいる住宅は、次のどれですか (1つだけ)。

1. 一戸建て持家 2. マンション持家 3. 一戸建て借家
4. マンション・アパート借家 5. 公営住宅 6. 社宅・官舎
7. 公団・公社の賃貸住宅 8. その他 ()

問 19

問 20. 借家・賃貸の場合、家賃は月額どれくらいですか。

- ・家賃 月 () 万 () 千円
- ・駐車場代 月 () 万 () 千円
() カ所
- ・共益費 月 () 千円
- ・更新料 (1年、2年で) 月 () 万 () 千円

	問 20	
家賃	万	千円
駐車場代	万	千円
		カ所
共益費		
更新料	万	千円

Ⅲ あなたの日常生活についてうかがいます。

問 21. 朝食は主にどうしていますか (1つだけ)。

- 1. 家でしっかり食べる
- 2. 家で牛乳やコーヒーなどですます
- 3. 通勤途上および職場で牛乳やコーヒーなどですます
- 4. 通勤途上および職場でパンやそばなどを食べる
- 5. 朝食はとらない
- 6. その他 ()

問 21

問 22. 昼食は主にどうしていますか (1つだけ)。

- 1. 家から弁当持参
- 2. 家で食べる
- 3. 弁当やパンなどを買って職場で食べる
- 4. 職場の給食を食べる
- 5. 職場の食堂で食べる
- 6. 職場外の食堂や喫茶店、出前等を利用する
- 7. 昼食はとらない

問 22

* 外食の場合の昼食代は 1食平均 () 円 昼食代 円

問 23. 夕食は主にどうしていますか (1つだけ)。

- 1. 家で家族と食べる
- 2. 家で一人で食べる
- 3. (帰宅途中等に) 食堂などを利用する
- 4. その他 ()

問 23

問 24. あなたは (仕事が終わった後)、休日にお酒、お茶、会食に行ったりすることがありますか (1つだけ)。

- 1. ほとんどない
- 2. 月に1~2回程度
- 3. 月に3~4回程度
- 4. 週に1~2回程度
- 5. ほとんど毎日

問 24

* お酒・お茶・会食代は 1回平均 () 円 酒・茶・会食代 円

問 25. あなたは休日 (余暇) をどのように過ごしていますか (3つまで)。

- 1. 自宅で休養
- 2. 日帰りの行楽 (ハイキング、ドライブ、遊園地など)
- 3. ショッピング
- 4. 家事や育児
- 5. 介護や看護
- 6. 親戚づきあい
- 7. 社会活動 (平和・組合・地域活動を含む)
- 8. 友人・知人との交際
- 9. 一泊以上の旅行
- 10. 読書
- 11. スポーツなど体力づくり
- 12. 映画などの鑑賞
- 13. 園芸・野菜づくり
- 14. その他の趣味 ()
- 15. けいこ事
- 16. 英会話等の自己啓発
- 17. 持ち帰り残業
- 18. 特に何もしない

問 25

問 26. あなたは月に何回くらい日帰りの行楽をしますか (1つだけ)。

1. 0回 2. 1回 3. 2回 4. 3回 5. 4回 6. 5回
7. 6回 8. 7回 9. 8回 10. 9回 11. 10回以上

問 26

* 1回平均して () 円かかる

日帰りの行楽代

 円

問 27. あなたは年に何回くらい一泊以上の旅行をしますか (1つだけ)。

1. 0回 2. 1回 3. 2回 4. 3回 5. 4回 6. 5回
7. 6回 8. 7回 9. 8回 10. 9回 11. 10回以上

問 27

* 1回平均して () 円かかる

一泊以上の旅行代

 円

問 28. 自宅から職場までの主な交通手段は何ですか (1つだけ)。

1. 徒歩 2. 自転車 3. 自家用車 4. バイク
5. 公共交通機関 (電車・バス等) 6. その他 ()
7. 非該当

問 28

問 29. 自家用車・バイクがある場合、主に何に利用していますか (2つまで)。

1. 通勤 2. 買物 3. 病院などへの通院 4. 子どもの送迎
5. ドライブ・娯楽 6. 仕事 7. その他 ()

問 29

問 30. あなたは自家用車が必要だと思いますか (1つだけ・全員回答)。

1. 生活の必需品 2. あれば便利 3. なければないでよい
4. なくてもよい

問 30

問 31. 自家用車・バイクがある場合、あなたの世帯でガソリン代は月額どれくらいですか。

月 () 万 () 千円

問 31 ガソリン代

 万 千円

問 32. あなたは下着を購入する場合、主にどんなお店を利用しますか (1つだけ)。

1. 近くの商店街のお店 2. コンビニ 3. ディスカウントショップ
4. 大手スーパー・量販店 5. 百貨店 6. 生協 7. 専門店
8. 通信・ネット販売 9. 百円ショップ 10. その他 ()

問 32

問 33. あなたは下着以外の洋服などを購入する場合、主にどんなお店を利用しますか (1つだけ)。

1. 近くの商店街のお店 2. コンビニ 3. ディスカウントショップ
4. 大手スーパー・量販店 5. 百貨店 6. 生協 7. 専門店
8. 通信・ネット販売 9. 百円ショップ 10. その他 ()

問 33

問 34. あなたは電化製品など耐久財を購入するのは、主にはどんなお店ですか (1つだけ)。

1. 近くの商店街のお店 2. コンビニ 3. ディスカウントショップ
4. 大手スーパー・量販店 5. 百貨店 6. 生協 7. 専門店
8. 通信・ネット販売 9. 百円ショップ 10. その他 ()

問 34

問 35. あなたは食糧雑貨を購入するのは、主にはどんなお店ですか（1つだけ）。

1. 近くの商店街のお店 2. コンビニ 3. ディスカウントショップ
4. 大手スーパー・量販店 5. 百貨店 6. 生協 7. 専門店
8. 通信・ネット販売 9. 百円ショップ 10. その他（ ）

問 35

問 36. あなたは、親せきや友人の結婚式やお葬式・法事に参加していますか（1つだけ）。

1. ほとんど参加している 2. 他の費目を節約して参加している
3. 参加したいが経済的に無理な場合がある 4. 最近ほとんど呼ばれる
 ことがない 5. 参加しないことにしている 6. その他（ ）

問 36

問 37. 昨年、結婚式やお葬式・法事に何回くらい参加していますか。

1. 1回 2. 2回 3. 3回 4. 4回 5. 5回 6. 0回

問 37

問 38. 昨年、忘年会や新年会、歓送迎会に何回くらい参加していますか。

1. 1回 2. 2回 3. 3回 4. 4回 5. 5回 6. 0回

問 38

問 39. あなたは、盆暮れのお中元やお歳暮を、親戚やお世話になった人などに送っていますか。

1. 毎年決まって送っている 2. かなり無理をしても送っている
3. 送ってくれる人だけに送っている 4. できるだけ送るようにしているが
 最近では減らしている 5. 送りたいが経済的に無理がある
6. 送らないことにしている 7. その他（ ）

問 39

問 40. 昨年、お中元やお歳暮などを合計何件くらいに贈りましたか。

1. 0軒 2. 1軒 3. 2軒 4. 3軒 5. 4軒 6. 5軒
7. 6軒 8. 7軒 9. 8軒 10. 9軒 11. 10軒以上

問 40

問 41. 昨年、お中元やお歳暮などを1軒あたり送料込みで、平均いくらぐらいで贈りましたか。

1. 1,000円未満 2. 1,000円台 3. 2,000円台
4. 3,000円台 5. 4,000円台 6. 5,000円以上

問 41

問 42. あなたは、家族・親戚などに見舞金、せん別、お年玉をさしあげていますか。

1. 機会があればあげている 2. かなり無理をしてあげている
3. あげたいが経済的に余裕がない 4. 最近ではあげる機会がない
5. あげないことにしている 6. その他（ ）

問 42

問 43. あなたの世帯で医療費（病院での窓口負担や医薬品の購入費）は、月額どれくらいですか。

月（ ）万（ ）千円 問 43 医療費 万 千円

問 44. あなたの世帯で介護サービスの利用料は月額どれくらいですか。

月（ ）万（ ）千円 問 44 介護サービス 万 千円

問 45. あなたが特に現在「負担に思っている」家計支出は何ですか（3つまで）。

1. 食費 2. 家賃・地代 3. 水道・ガス・電気料金 4. 電話代（携帯含む）
5. 自家用車・バイク代 6. 被服費 7. 保険・医療費 8. 教育費
9. 教養娯楽費 10. 交際費 11. 税金 12. 社会保険料
13. 生命保険など民間保険掛金 14. ローン・借金返済 15. 介護サービス
16. その他（ ） 17. 特にない

問 45

問 46. 現在の暮らしについてどう感じていますか（1つだけ）。

1. 苦しい 2. やや苦しい 3. 普通 4. ややゆとりがある
5. ゆとりがある

問 46

--

IV あなたの地域での生活についてうかがいます。

問 47. あなたの近所づきあいの程度は次のどれですか（主なものを1つ）。

1. ほとんど顔を合わせない、または合わせても素通りする
2. あいさつ程度 3. 顔を合わせれば立ち話程度はする
4. 留守の時、声をかけ合い、小包を預かったりする
5. 一緒に何かをしたり、どこかへ行くことがある
6. 自宅または先方の家で話し込む 7. 物や金の貸し借りをすることがある
8. その他（ ）

問 47

--

問 48. あなたの地域などで参加している社会活動は何ですか（あてはまるものすべて）。

1. 町内会・自治会 2. 地域女性会 3. 農協 4. PTA
5. 青少年活動の育成（子ども会など） 6. 保育・学童保育（保護者会）
7. 子育てサロン 8. 子どものための文化活動（地域文庫・子ども劇場など）
9. 公民館活動 10. 地域のボランティア活動 11. 消費者運動（生協など）
12. 障がい者運動（手話・点字・朗読奉仕など） 13. スポーツ団体・クラブ活動
14. 平和運動などの社会活動 15. 教養・趣味・娯楽のサークル
16. その他（ ） 17. 特にない

問 48

最後に、仕事や暮らしのことで、あなたの要望をお聞かせください（どんなことでも、自由にお書きください）

ご協力ありがとうございました。

引き続き、次ページ以降の「手持ち財調査」へのご協力をよろしく申し上げます。

手持ち財調査

調査の目的：この調査は、最低標準生計費を算定するための基礎資料とするものです。それは最低賃金要求や年金要求など社会保障要求の基礎となるものです。
調査された内容については、秘密を守りますので、ありのままにご回答をお願いします。

注意事項：自分の世帯で持っている物には「○印」をつけてください。持っていないものは「空欄」のままで結構です。

- ・「○印」をつけた物については、その持っている数を記入してください。
- ・費目がない物は、() 内に記入し、付け足してください。
- ・記入は、各ページごとに、縦方向に進んでください。
- ・ない、不明な物、該当しない物は、「空欄」にして、次に進んでください。



1	設備機器	○	数量	4	居間・寝室用家具	○	数量	()			
	温水洗浄便座				整理ダンス (作り付け除く)			()			
	()				洋服ダンス (作り付け除く)			()			
2	家事用耐久財	○	数量		鏡台 (ドレッサー)			8	寝具類	○	数量
	電子・ガスレンジ				シングルベッド				敷き布団		
	自動炊飯器				ダブル・セミダブルベッド				掛け布団		
	電気冷蔵庫				ソファベッド				タオルケット		
	電気掃除機				二段ベッド				毛布		
	電気洗濯機				カラーボックス (ラック)				シーツ		
	ガステーブル				()				まくら		
	I Hテーブル				()				布団カバー		
	カセットコンロ				()				マットレス		
	トースター			5	応接・書斎等 家具	○	数量		まくらカバー		
	ミキサー・ジューサー				ソファ				ベッドカバー		
	ガス瞬間湯沸かし器				応接用座卓				()		
	電気アイロン				座り机 (ちゃぶ台)				()		
	電気ポット				腰掛机・学習机 (椅子含む)			9	家事雑貨	○	数量
	ホットプレート				本箱・本棚				茶わん類		
	食器洗浄機				サイドボード・リビングボード				ごはん茶わん		
	浄水器				ベビーチェア				湯飲み茶わん		
	コーヒーメーカー				()				蒸し茶わん		
	ミシン (電動含む)				()				どんぶり		
3	冷暖房用機器	○	数量		()				コーヒー (ティー) カップ		
	ルームエアコン			6	食堂用家具	○	数量		吸い物わん		
	電気ストーブ				食器戸棚				()		
	石油ストーブ				洋式食卓セット (椅子含む)				()		
	ガスストーブ				和式食卓・テーブル				洋皿類	○	数量
	電気こたつ				()				盛り皿・盛りばち		
	ファンヒーター			7	室内装飾品	○	数量		スープ皿		
	ホットカーペット				掛 (柱) 時計				パン・ケーキ皿		
	扇風機				目覚まし時計				果物用ガラス皿		
	空気清浄器				蛍光灯の傘 (照明器具)				グラタン皿		
	加湿器				電気スタンド				()		
	除湿機				じゅうたん (5万円以上)				()		
	()				室内用かご				和皿類	○	数量
	()				カーテン				盛り皿		
	()				座布団				中皿		
	()				こたつ布団・カバー				小皿		
	()				のれん				刺し身皿		
	()				花瓶				大バチ		

中ばち			その他台所用品	○	数量	家庭用工具	○	数量
小ばち			台所用はかり			ドライバー		
角皿			包丁・ナイフ			のこぎり		
()			まな板			金づち		
()			すり鉢・すりこぎ			くぎ抜き		
グラス類	○	数量	たわし			空気入れ		
コップ			おろし器			じょうろ		
()			ふきんかけ			鉢・プランタン		
スプーン・ナイフ類	○	数量	はし・菜ばし			()		
スプーン			しゃもじ			()		
フォーク			ふきん			その他	○	数量
ナイフ			フライ返し			玄関マット		
容器	○	数量	泡立て器			懐中電灯		
水筒			ハンドミキサー			座椅子		
きゅうす			()			傘立て		
氷入れ			()			スコップ		
砂糖入れ			()			買い物かご		
しょうゆ差し			洗濯・掃除用具	○	数量	スリッパ立て		
弁当箱(ランチャー)			物干しざお			下駄箱(作り付けを除く)		
タッパー			ポリバケツ・ゴミ入れ			バスマット		
()			くずかご			洗面器		
()			洗濯用ロープ			()		
盆	○	数量	洗濯用バケツ・かご			()		
盆			ホース			10 家事用消耗品	○	数量
鍋・釜類	○	数量	()			ポリ袋		月 袋
大なべ			()			ラップ		月 箱
中なべ			タオル類	○	数量	チリ紙		月 束
小なべ			タオル			ティッシュペーパー		月 箱
フライパン			バスタオル			トイレットペーパー		月 個
中華なべ			電球・蛍光灯	○	数量	台所洗剤		月 本
やかん			電球(LED)			トイレ用洗剤		月 本
コーヒーポット			電球(非LED)			住宅用洗剤		月 本
()			蛍光灯(LED)			洗濯用洗剤		月 本
調理用容器	○	数量	蛍光灯(非LED)			漂白剤		月 本
米びつ(ハイザー)			裁縫用具	○	数量	防虫剤		月 本
洗いおけ			裁縫箱			殺虫剤		月 本
水切りかご・ざる			裁ちばさみ			トイレ用芳香剤		月 本
ボール			アイロン台			()		
()			()			()		
()			()			()		

11	被服・履物			バンド・ベルト			靴・ブーツ		
	男子・和服	○	数量	()			長靴		
	ゆかた			女子・和服	○	数量	運動靴・スニーカー		
	男子・洋服	○	数量	婚礼用式服一式			駒下駄・ぞうり		
	背広			喪服一式			女子・その他の被服	○	数量
	礼服			訪問着			パンティストッキング		
	オーバーコート			婦人着物			ソックス		
	レインコート			羽織			スカーフ		
	ジャケット (替上着)			帯			手袋		
	替ズボン (ジーンズ含む)			ゆかた			ベルト		
	半ズボン			女子・洋服	○	数量	エプロン		
	パーカー			アンサンブル			()		
	ワイシャツ			ワンピース			()		
	長袖シャツ			オーバーコート			()		
	半袖シャツ			レインコート			()		
	ポロシャツ			ジャケット			()		
	セーター・カーディガン			スカート			()		
	男子・下着類	○	数量	スラックス			()		
	シャツ (合・冬)			ジャンパー			()		
	シャツ (夏)			女子・シャツ・セーター類	○	数量	()		
	Tシャツ			ブラウス			子ども服	○	数量
	ジャージ			Tシャツ・ポロシャツ			学校制服		
	トレーナー			長袖・半袖シャツ			乳児服	○	数量
	パンツ・ブリーフ			セーター・カーディガン			肌着		
	ステテコ			()			オーバーオール		
	パジャマ (夏)			女子・下着	○	数量	ロンパース		
	パジャマ (冬)			ブラスリップ			()		
	男子・はきもの	○	数量	スリッパ・キャミソール			()		
	スリッパ			パンティー			12 身の回り用品	○	数量
	サンダル			ブラジャー			傘		
	靴			ガードル			雨がっぱ		
	長靴			シャツ (肌着)			旅行用かばん・スーツケース		
	運動靴・スニーカー			パジャマ (夏)			ショルダーバッグ (男性)		
	下駄・ぞうり			パジャマ (冬)			ショルダーバッグ (女性)		
	()			ジャージ			ハンドバッグ		
	男子・その他の被服	○	数量	トレーナー			ショッピングバッグ		
	靴下			()			リュックサック・デイバッグ		
	手袋			女子・はきもの	○	数量	通学用カバン		
	ネクタイ			スリッパ			ランドセル		
	マフラー			サンダル			財布		

腕時計 (男性用)			水着 (男性用)			化粧石鹸		月	本
腕時計 (女性用)			水着 (女性用)			シャンプー		月	本
ネクタイピン			()			リンス・コンディショナー		月	本
イヤリング・ピアス			()			ボディーシャンプー		月	本
帽子			その他の用品	○	数量	歯磨き		月	本
ハンカチ			テレビゲーム機			整髪・養毛剤		月	本
()			携帯ゲーム機			化粧クリーム		月	本
()			ゲームソフト			化粧水		月	本
()			電子辞書			乳液		月	本
()			USBメモリ			ファンデーション		月	本
()			切り花 (月の購入額)			口紅		月	本
13 教養娯楽用耐久財	○	数量	鉢植え (月の購入額)			香水・オーデコロン		月	本
カラーテレビ			愛玩動物 (犬・猫)			ヘアスプレー・クリーム		月	本
ラジオ			()			()			
ラジカセ			()			()			
DVD(BD)プレイヤー			()			()			
ビデオ・HDDレコーダー			16 交通用具	○	数量	19 保健医療用品	○	数量	
携帯音楽プレイヤー			軽自動車 (660cc以下)			体重計			
カメラ・デジカメ			小型自動車 (661~2001cc)			血圧計			
ビデオカメラ			普通自動車 (~2000cc以上)			救急箱・救急セット			
プリンター			ミニバイク (125cc以下)			()			
パソコン (デスクトップ)			バイク (125cc以上)			()			
パソコン (ノート)			自転車			()			
ピアノ			ヘルメット						
電子鍵盤装置 (キーボード)			()						
()			17 通信機器	○	数量				
()			携帯電話・PHS						
()			スマートフォン						
14 書籍・他の刊行物	○	数量	固定電話機 (FAX除く)						
日刊新聞		紙	ファクシミリ (FAX)						
単行本・文庫本		月 冊	インターネット接続機器						
辞書・事典			()						
()			()						
15 教養娯楽用品	○	数量	18 理美容用品	○	数量				
スポーツ用品			ヘアドライヤー						
ゴルフ用具一式			電気カミソリ						
スキー・スノーボード一式			歯ブラシ						
テニスラケット			電動歯ブラシ						
野球用グローブ			ヘアブラシ						
野球用バット			カミソリ					月	本

全労連東海北陸地方協議会（全労連東海・北陸ブロック）
最低生計費試算調査プロジェクト

愛労連	〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町 9-7 労働会館東館 3階
	電話 052-871-5433 FAX 052-871-5618
岐阜県労連	〒500-8879 岐阜市徹明通 7-13 岐阜県教育会館 402号
	電話 058-252-3013 FAX 058-253-4996
静岡県評	〒422-8062 静岡市駿河区稲川 2-2-1 コハラサウスサイドビル 7F
	電話 054-287-1293 FAX 054-286-7973
みえ労連	〒514-0015 三重県津市寿町 7-50
	電話 059-223-2615 FAX 059-223-4459
石川県労連	〒920-0856 金沢市昭和町 5-13 石川県平和と労働会館
	電話 076-231-3199 FAX 076-264-2442
富山県労連	〒931-8313 富山市豊田町 1-128-11
	電話 076-433-5850 FAX 076-433-4750
福井県労連	〒910-0856 福井市勝見 3-16-9 辻ビル 2F
	電話 0776-27-3660 FAX 0776-27-3673

付属資料4 実施要綱

愛知「最低生計費」調査実施要綱

ひとりが「生活実態調査」と「手持ち材調査」の2種類をおこないます。

1. 「生活実態調査」および「手持ち材調査」の概要

(1) 調査の目的

最低生計費を算定するための基礎資料を得るもので、働くものの今日の生活様式や社会活動を把握するためのものです。

(2) 調査時期

2015年9月～10月とします。

(3) 調査対象および対象数

愛労連加盟の単産・地域労連を中心とした組合員および組合員の家族、民主団体等を含め、1000人以上とします。

(4) 調査の流れ

- ① 7～8月 職場・地域で議論を
単産・単組・支部段階で、なぜ「調査」を実施するのか、その「必要性」を議論します。
- ② 9～10月 対象者に調査票を配布し、記録をしてもらう
- ③ 10～11月 調査票を回収します。(若年単身者の調査票：最終締め切り 11月6日<金>)
※20～30代の若年単身者についての回収を急ぎ、他の世帯については11月末までとする。
- ④ 11月 ナンバリングおよび入力作業後、クロス集計
- ⑤ 12月 合意形成会議、価格調査、結果をもとに試算へ

2. 調査の結果

(1) 調査結果に基づく価格調査

手持ち材調査をもとに愛労連や単産・単組の役員が分担し、価格調査をおこないます。

(2) 調査結果の活用

①若年単身世帯の調査結果が明らかになるのは1～2月頃です。賃上げ闘争など春闘期のとりくみに活用します。また、社会保障の分野でも最低保障年金制度の確立、生活保護水準の引き上げなどの運動にいかしてきます。

②調査結果をまとめ、職場で学習や討論ができる冊子・リーフなどを作成します。これをもとに行政等との交渉もおこないます。

2015年9月
愛知「最低生計費試算」調査プロジェクトチーム
事務局：愛知県労働組合総連合（愛労連）
名古屋市熱田区沢下町9-7 労働会館東館3階
電話 052-871-5433 FAX052-871-5618

(参考文献)

- 金澤誠一監修（2009）『首都圏最低生計費試算調査報告集』
金澤誠一監修（2010）『東北地方最低生計費試算調査報告集』
金澤誠一監修（2011）『愛知県最低生計費試算調査報告書』
金澤誠一（2012）『最低生計費調査とナショナルミニマム』本の泉社
中澤秀一（2011）「現代版マーケット・バスケット方式による貧困の測定」『貧困研究』明石書店
中澤秀一編著（2012）『これだけは必要だ！静岡県の最低生計費』本の泉社
中澤秀一（2015）「新たな最低生計費調査の実施に向けて」『静岡県労働研究所所報』第28号
中澤秀一（2016）「最低生計費調査から見てきたもの」『月刊全労連2016年6月号』No.232
中澤秀一（2016）「最低生計費調査からみた最賃制度の問題点」『経済2016年10月号』No.253

愛知県最低生計費試算調査プロジェクトチーム

連絡先：愛知県労働組合総連合

〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町 9-7 労働会館東館 3 階

愛知県医療介護福祉労働組合連合会／愛知県国家公務関連労働組合共闘会議／愛知地域労組きずな／全国生協労働組合連合会愛知県協議会／全国福祉保育労働組合東海地方本部／全日本建設交運一般労働組合愛知県本部／全労連・全国一般労働組合愛知地方本部／日本自治体労働組合総連合愛知県本部／愛知労働問題研究所

監修責任者：中澤秀一 静岡県立大学短期大学部准教授